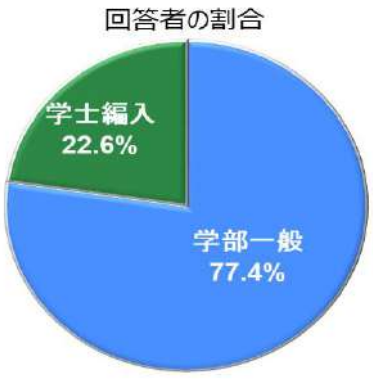
2020年度 卒業時カリキュラム評価アンケート（報告）

（n=106）

1．所属と回答率

	卒業生数	回答数	回答率
学部一般	97	82	84.5%
学士編入	30	24	80.0%
（計）	**127**	**106**	**83.5%**



2．看護学部のカリキュラム全般についてお答えください。

1）看護観を深めるきっかけとなった科目、あるいは看護への動機づけを強めた科目はどれですか？
あてはまるもの全てにチェックしてください。

＜教養科目＞

対人関係論	30
キリスト教概論	29
国際交流演習	10
心理学	10
英語表現法Ⅰ・Ⅱ－S･W	10
キリスト教倫理	9
倫理学	9
教育原理	9
カウンセリング概論	9
英語Ⅰ・Ⅱ	9
選択英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	6
教育方法の研究	5
社会学	5
宗教学	4
自校史と看護史	4
女性学	4
基礎統計学	4
音楽	3
美術	3
法学（日本国憲法）	3
健康科学	3
生徒指導論	3
海外語学演習	3
体育Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	3
哲学	2
文化人類学	2
文学	1
教育制度論	1
情報処理演習	1
生物学	1
物理学	1

＜基礎科目＞

形態機能学	71
形態機能学演習	62
疾病・治療各論	45
生命倫理	44
セクシュアルヘルス	38
生涯発達論Ⅰ・Ⅱ	37
メンタルヘルスと家族	36
病態生理学	34
健康社会学	29
感染症学	28
集団力動論	23
公衆衛生学・疫学	23
薬理学	18
保健統計学	15
栄養学	12
生化学	9

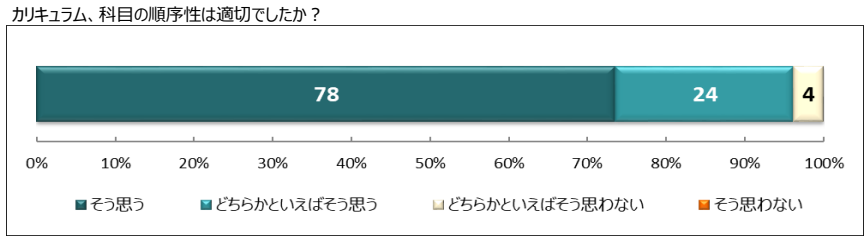
＜専門科目＞

People Centered Care Nursing論	73
看護展開論	73
基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ	61
ヘルスアセスメント方法論	60
エンドオブライフケア論	57
成人看護学Ⅰ・Ⅱ	51
小児看護学Ⅰ・Ⅱ	46
老年看護学Ⅰ・Ⅱ	46
精神看護学Ⅰ・Ⅱ	46
地域・在宅看護学Ⅰ・Ⅱ	46
周産期看護学Ⅰ・Ⅱ	45
看護ゼミナールⅠ・Ⅱ	45
看護管理学	39
公衆衛生看護学	35
看護政策論	31
国際看護学	30
急性・クリティカルケア論	19
周産期看護・ウィメンズヘルス	16
看護リーダーシップ	15
高齢者ヘルスプロモーション	9
教職実践演習（養護教諭）	7
学校保健	6
遺伝看護学	6
養護概説	4
学校における健康支援活動	4

＜実習科目＞

看護展開論実習	77
成人看護学実習（急性期）	77
成人看護学実習（慢性期）	72
老年看護学実習	72
地域・在宅看護学実習	70
小児看護学実習	66
周産期看護学実習	63
精神看護学実習	63
コミュニケーション実習	57
基礎看護技術実習	57
総合実習	56
サービスラーニング	15
卒業実習チームチャレンジ	14
養護実習Ⅰ・Ⅱ	8
課題探究実習	4

2） カリキュラム、科目の順序性は適切でしたか？



※「どちらかといえばそう思わない」と答えた4名の内訳 【学部一般（１）、学士編入（３）】

3） 「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を選択した方、その理由を教えてください。

・一年の時、英語の授業で最初に医療的な学習をした覚えがあるが、医療に関する基礎知識があまりなかったので、授業内容の理解が深まりにくかったかなと思った。（学部一般）

・2年間で卒業するカリキュラム上やむを得ないかも知れないが、形態機能(概論)を終えていないのに疾病(各論)の講義が始まるなど、カリキュラム間の連携が取れていない非効率な科目編成になっている。（学士編入）

・4年後期の科目は前倒しにして、卒論に集中できた方が良かった。特に看護研究法は、卒論執筆が始まる後期よりも前に受講しておくべき科目だと思う。（学士編入）

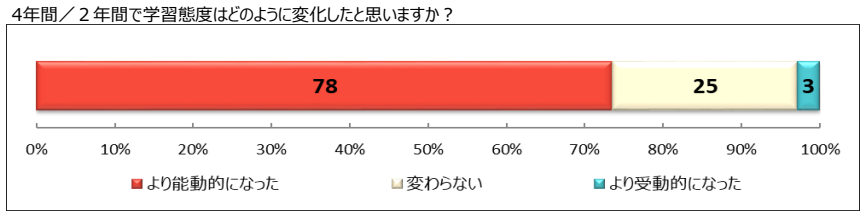
・研究法は、卒業研究を始める前に学ぶと良いと感じました。（学士編入）

・疾病治療各論の前に形態機能学をひと通り学んだ方が理解が深まると思ったため。（学士編入）

3．学習の能動性、学習時間の変化等について

1） 4年間／２年間を通して、能動的な姿勢で（自ら意欲をもって）学習したと思いますか？

2） 4年間／２年間で学習態度はどのように変化したと思いますか？



2020年度 卒業時カリキュラム評価アンケート（報告）

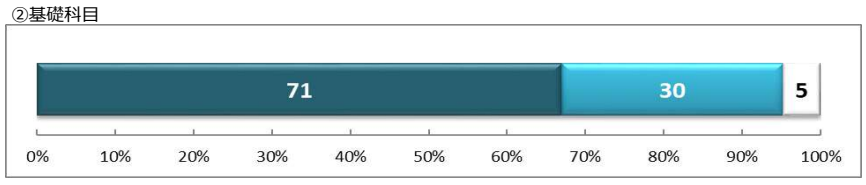
（n=106）

４．次の内容について、現在のあなたがもつ満足度に最も近いものを選んでください。

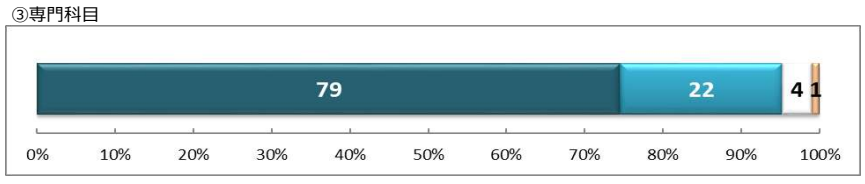
１） 学習内容について

①教養科目

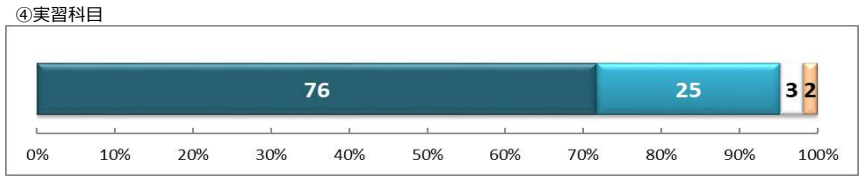
②基礎科目



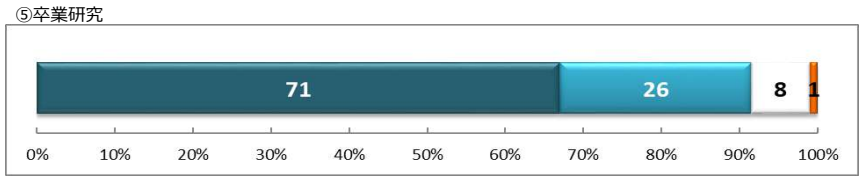
③専門科目



④実習科目



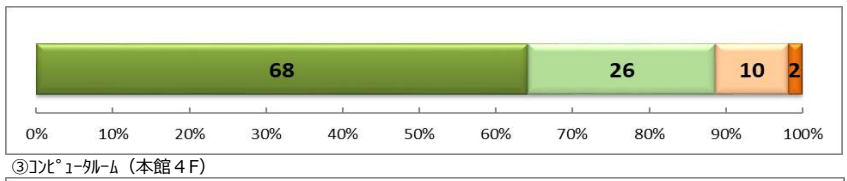
⑤卒業研究



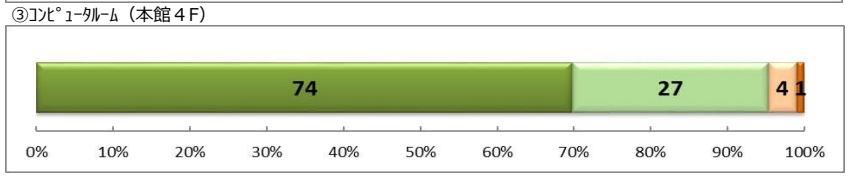
２） 学習環境について

①図書館

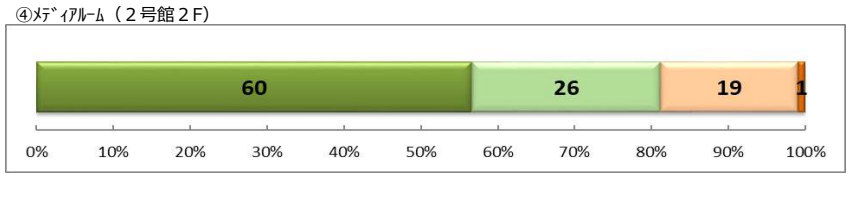
②ﾗｰﾆﾝｸﾞｺﾓﾝｽﾞ（本館３F）



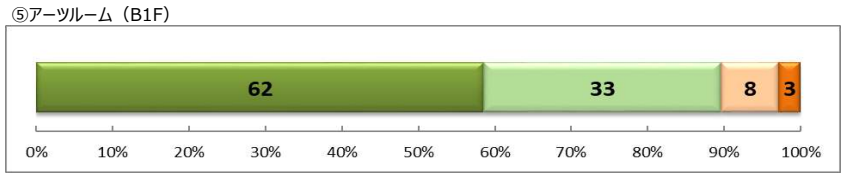
③ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾙｰﾑ（本館４F）



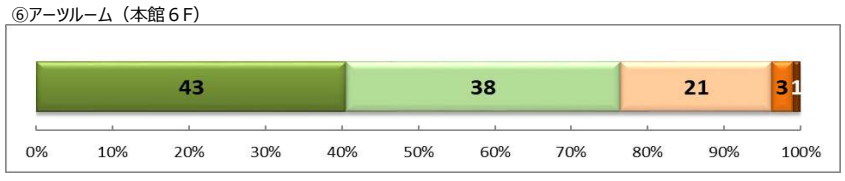
④ﾒﾃﾞｨｱﾙｰﾑ（２号館２F）



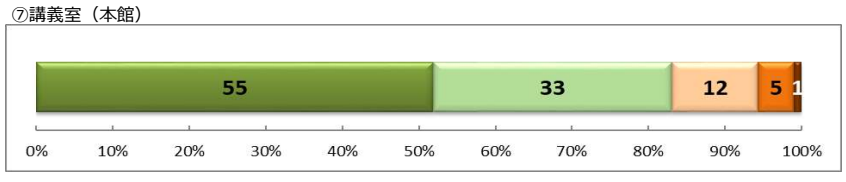
⑤アーツルーム（B1F）



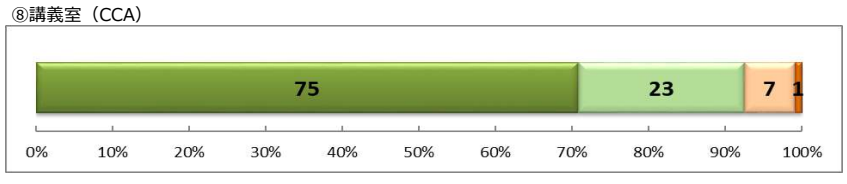
⑥アーツルーム（本館６F）



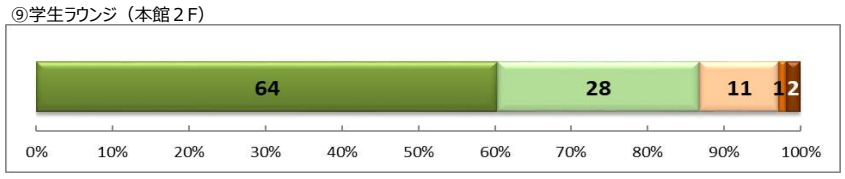
⑦講義室（本館）



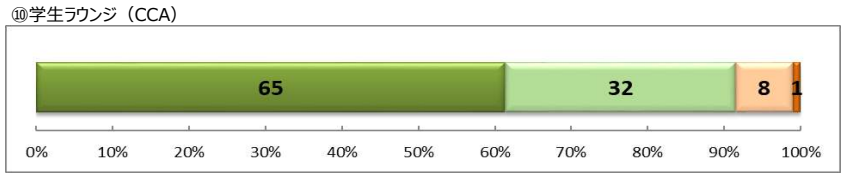
⑧講義室（CCA）



⑨学生ラウンジ（本館２F）

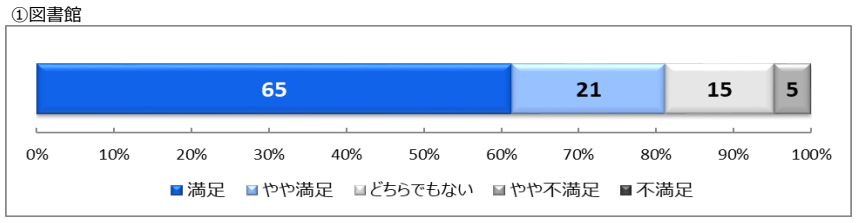


⑩学生ラウンジ（CCA）

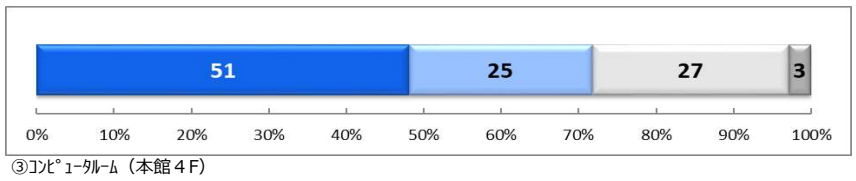


３） 人的支援（サポート体制）について

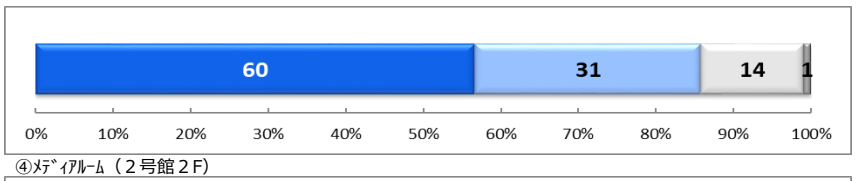
①図書館



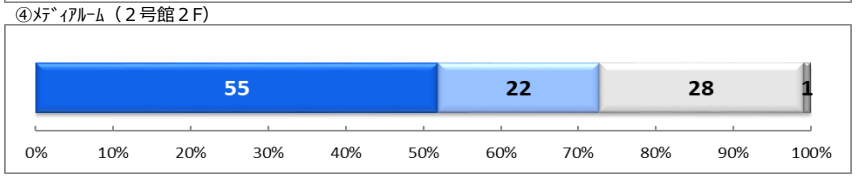
②ﾗｰﾆﾝｸﾞｺﾓﾝｽﾞ（本館３F）



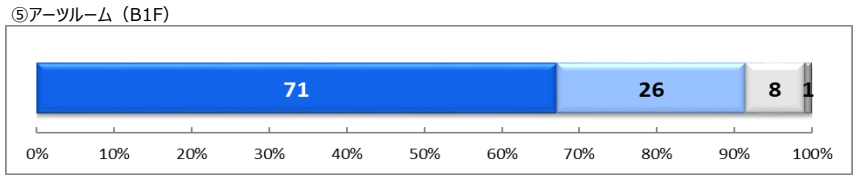
③ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾙｰﾑ（本館４F）



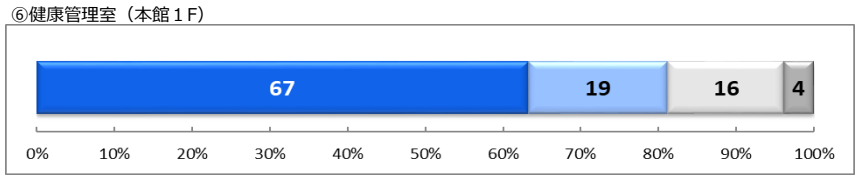
④ﾒﾃﾞｨｱﾙｰﾑ（２号館２F）



⑤アーツルーム（B1F）



⑥健康管理室（本館１F）

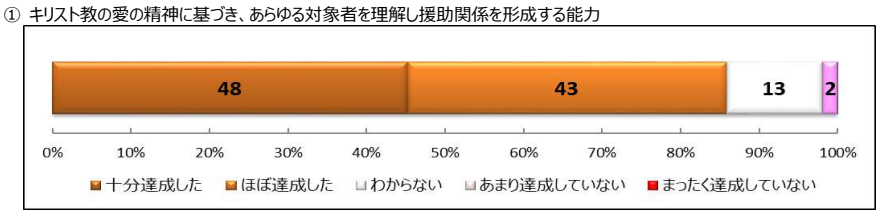


2020年度 卒業時カリキュラム評価アンケート（報告）

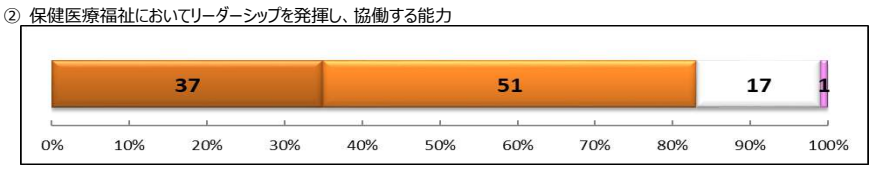
（n=106）

5．看護学部で育成する人材像（ディプロマポリシー）の達成度調査

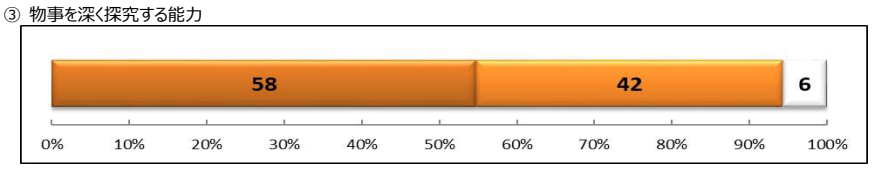
① キリスト教の愛の精神に基づき、あらゆる対象者を理解し援助関係を形成する能力



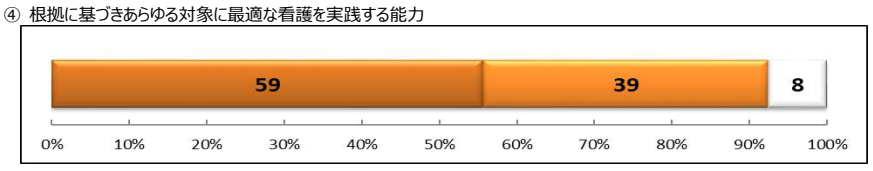
② 保健医療福祉においてリーダーシップを発揮し、協働する能力



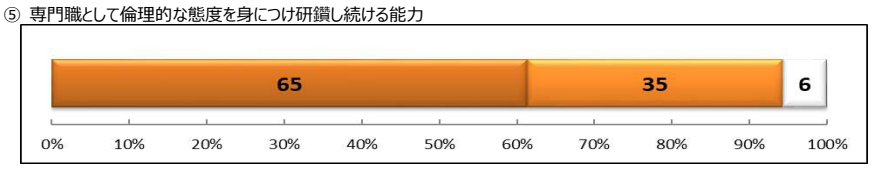
③ 物事を深く探究する能力



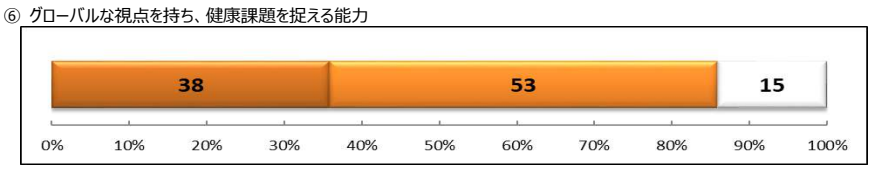
④ 根拠に基づきあらゆる対象に最適な看護を実践する能力



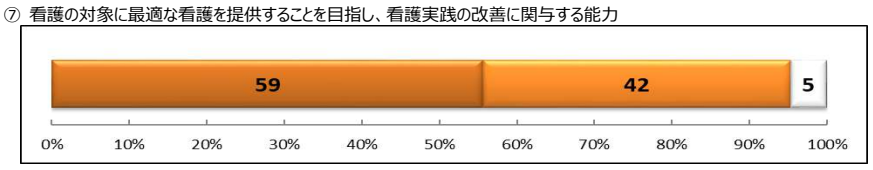
⑤ 専門職として倫理的な態度を身につけ研鑽し続ける能力



⑥ グローバルな視点を持ち、健康課題を捉える能力



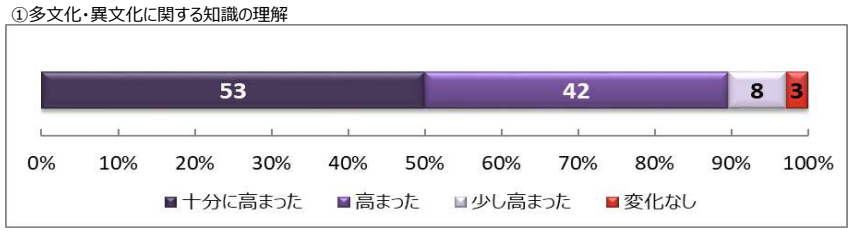
⑦ 看護の対象に最適な看護を提供することを目指し、看護実践の改善に関与する能力



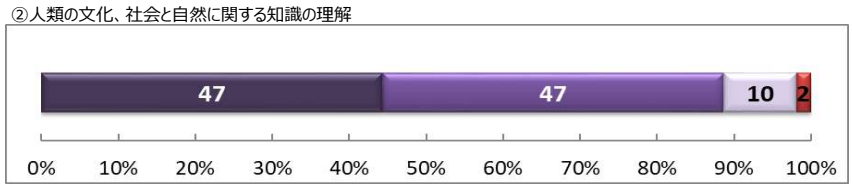
6.卒業時の学士力に関する調査

Ⅰ群　知識・理解

①多文化・異文化に関する知識の理解

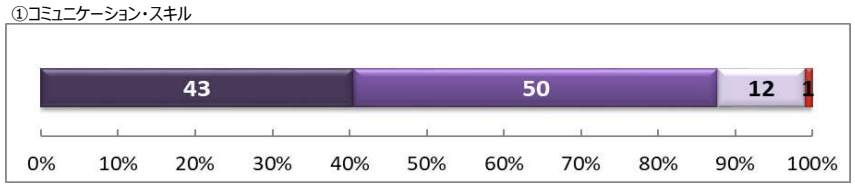


②人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

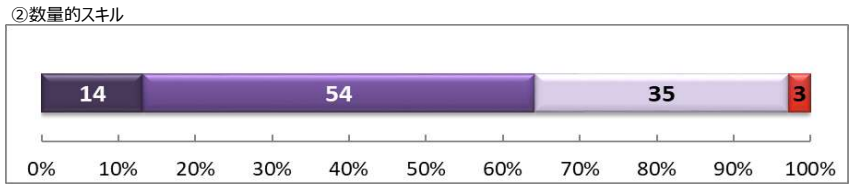


Ⅱ群　汎用的技能

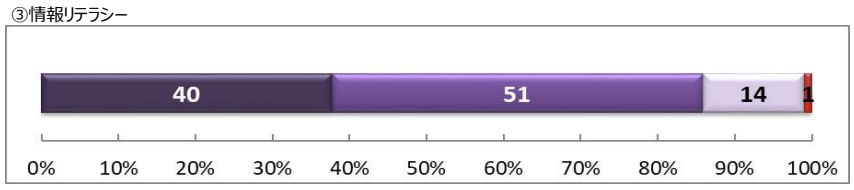
①コミュニケーション・スキル



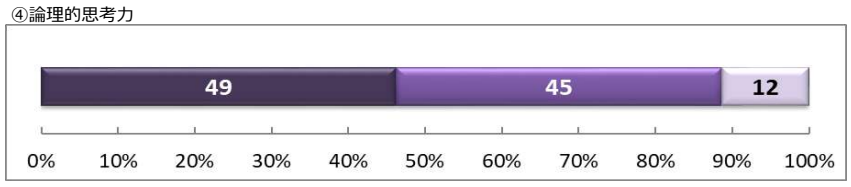
②数量的スキル



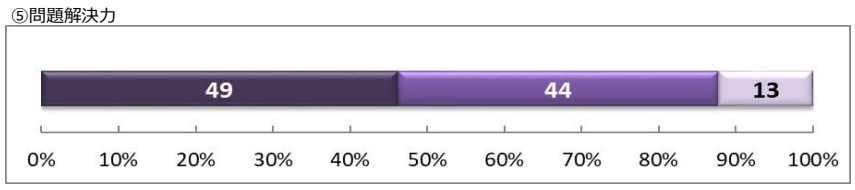
③情報リテラシー



④論理的思考力

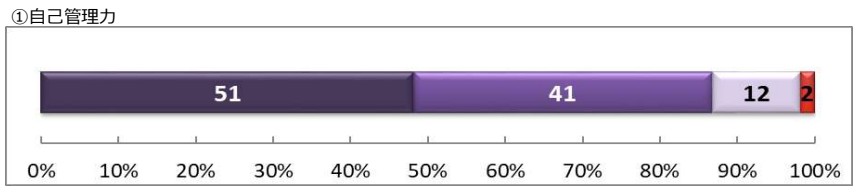


⑤問題解決力

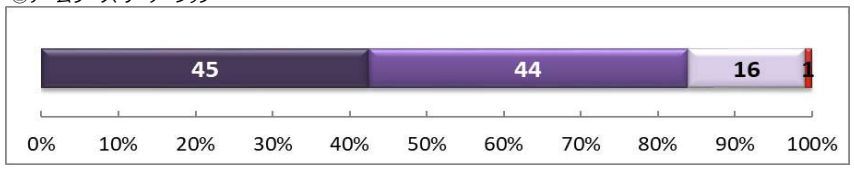


Ⅲ群　態度・志向性

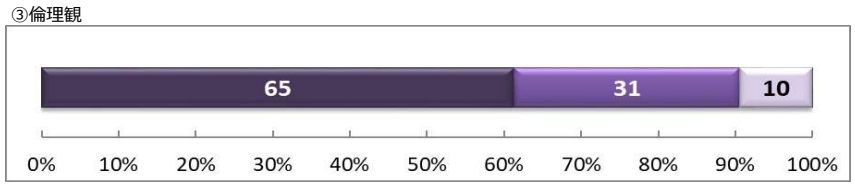
①自己管理力



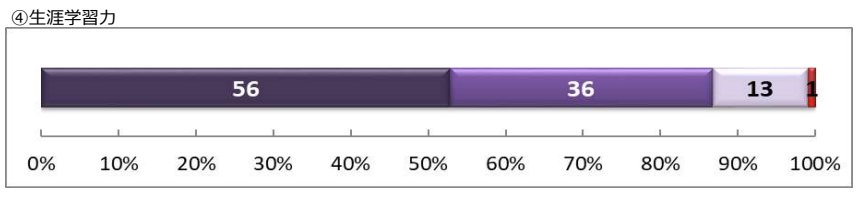
②チームワーク、リーダーシップ



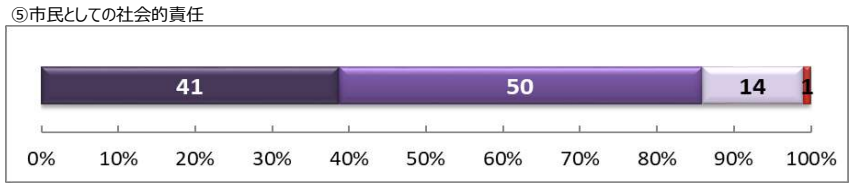
③倫理観



④生涯学習力



⑤市民としての社会的責任



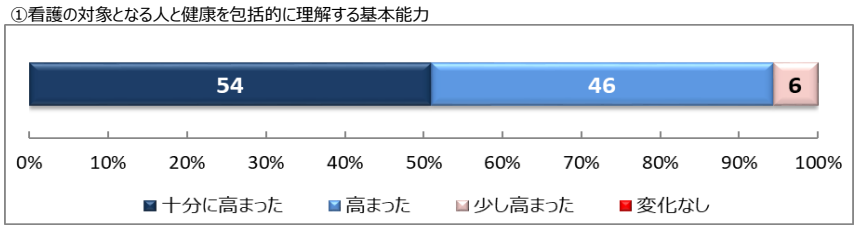
2020年度 卒業時カリキュラム評価アンケート（報告）

（n=106）

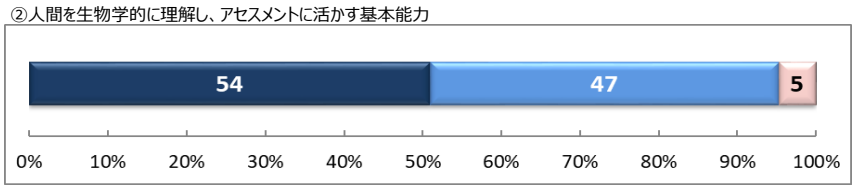
7.卒業時の実践能力に関する調査

Ⅰ群　対象となる人を全人的に捉える基本能力

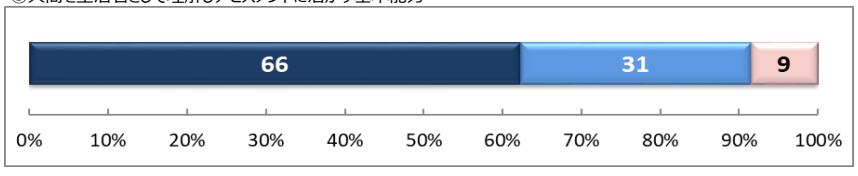
①看護の対象となる人と健康を包括的に理解する基本能力



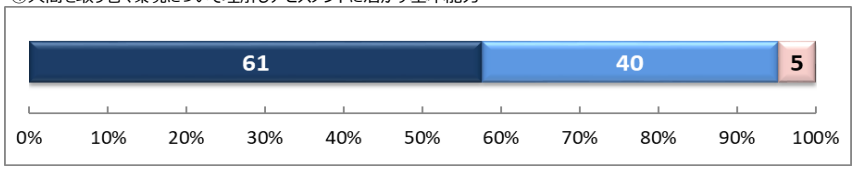
②人間を生物学的に理解し、アセスメントに活かす基本能力



③人間を生活者として理解しアセスメントに活かす基本能力

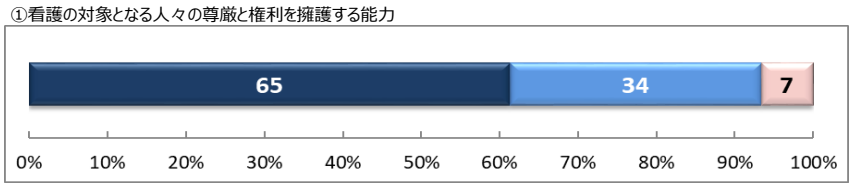


④人間を取り巻く環境について理解しアセスメントに活かす基本能力

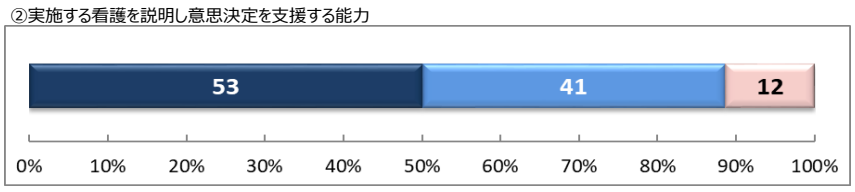


Ⅱ群　ヒューマンケアの基本に関する実践能力

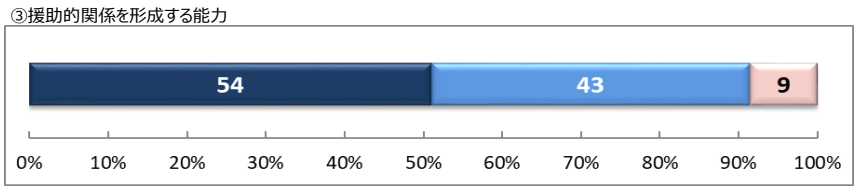
①看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する能力



②実施する看護を説明し意思決定を支援する能力

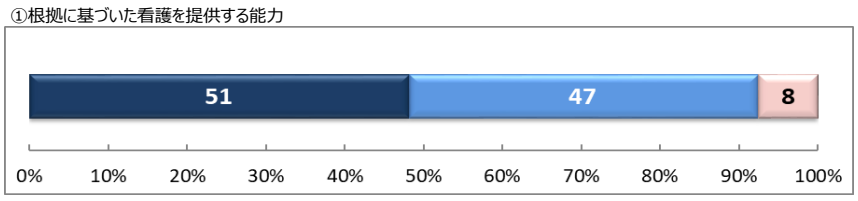


③援助的関係を形成する能力

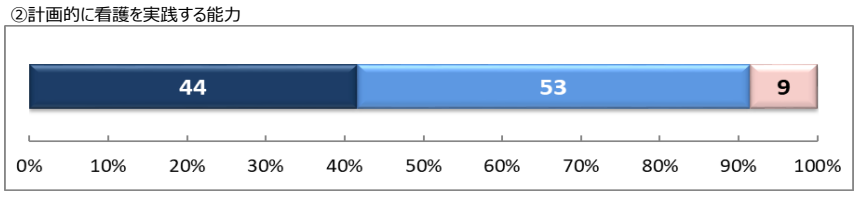


Ⅲ群　根拠に基づき看護を計画的に実践する能力

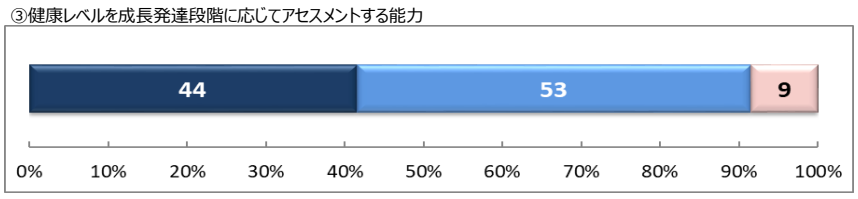
①根拠に基づいた看護を提供する能力



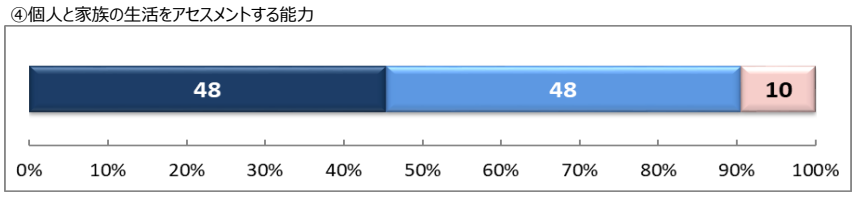
②計画的に看護を実践する能力



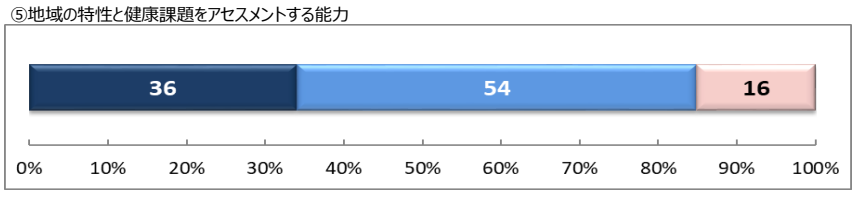
③健康レベルを成長発達段階に応じてアセスメントする能力



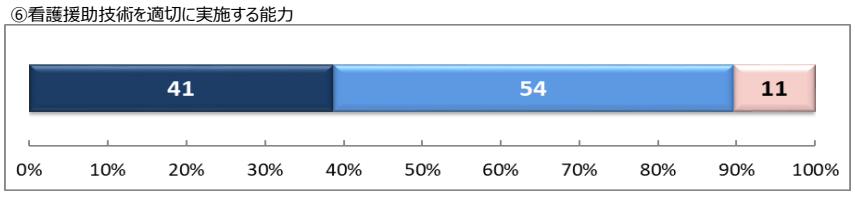
④個人と家族の生活をアセスメントする能力



⑤地域の特性と健康課題をアセスメントする能力

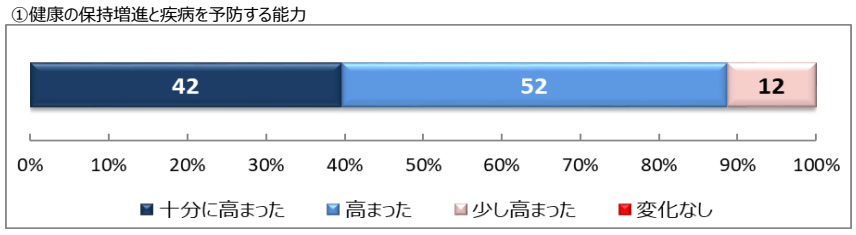


⑥看護援助技術を適切に実施する能力

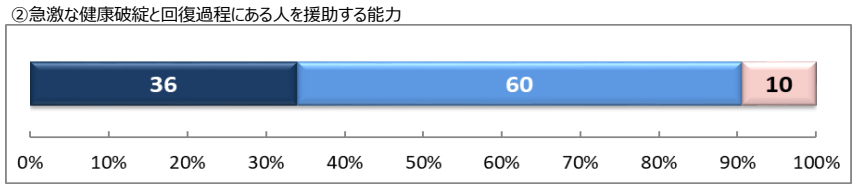


Ⅳ群　特定の健康課題に対応する実践能力

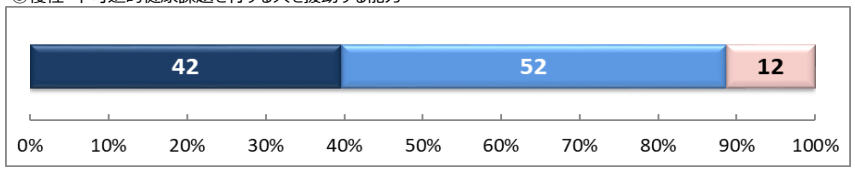
①健康の保持増進と疾病を予防する能力



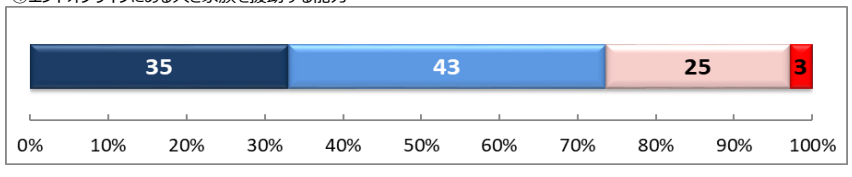
②急激な健康破綻と回復過程にある人を援助する能力



③慢性・不可逆的健康課題を有する人を援助する能力

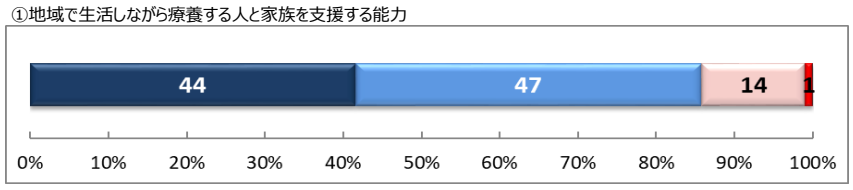


④エンドオブライフにある人と家族を援助する能力

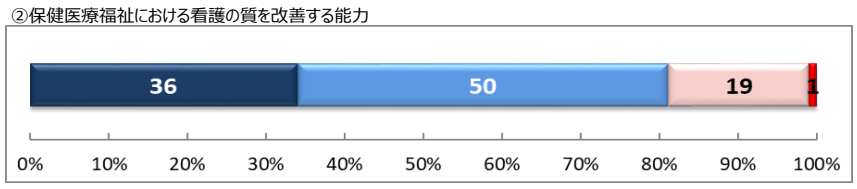


Ⅴ群　多様なケア環境とチーム体制に関する実践能力

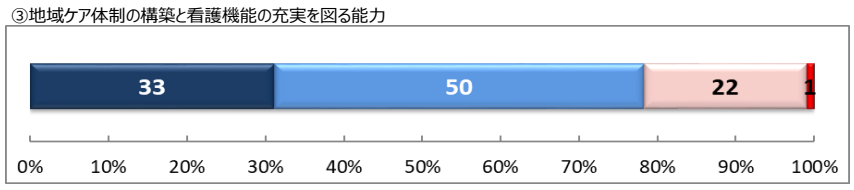
①地域で生活しながら療養する人と家族を支援する能力



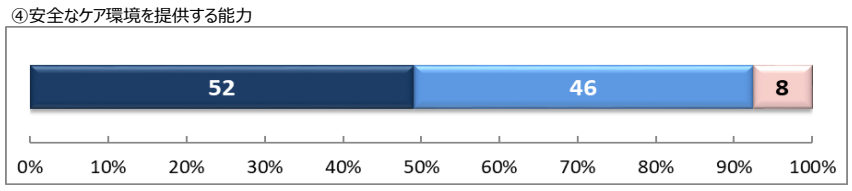
②保健医療福祉における看護の質を改善する能力



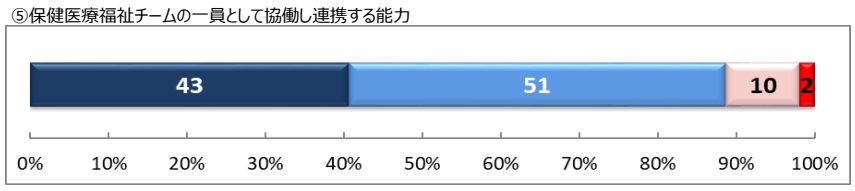
③地域ケア体制の構築と看護機能の充実を図る能力



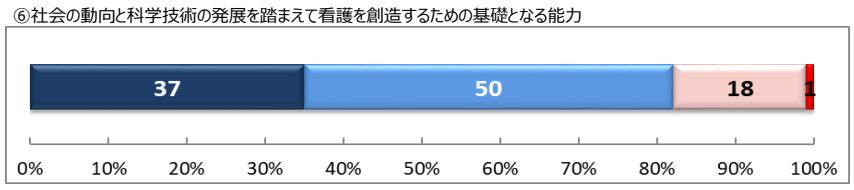
④安全なケア環境を提供する能力



⑤保健医療福祉チームの一員として協働し連携する能力

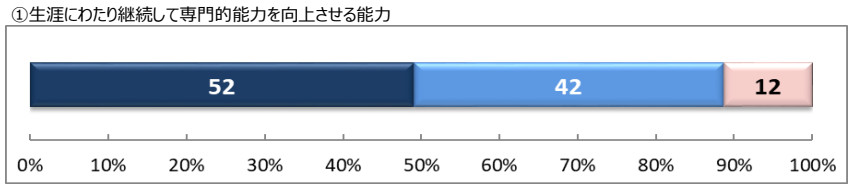


⑥社会の動向と科学技術の発展を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力

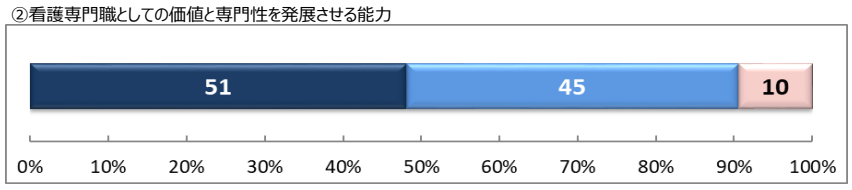


Ⅵ群　専門職者として研鑽し続ける基本能力

①生涯にわたり継続して専門的能力を向上させる能力



②看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力

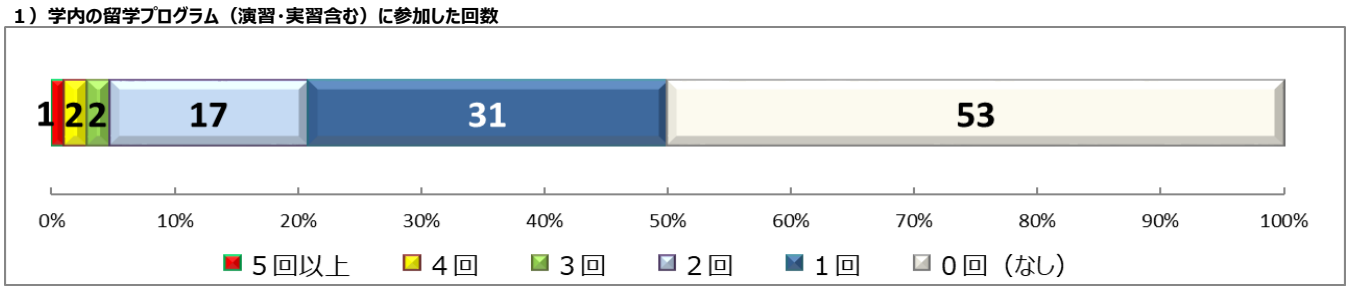


2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

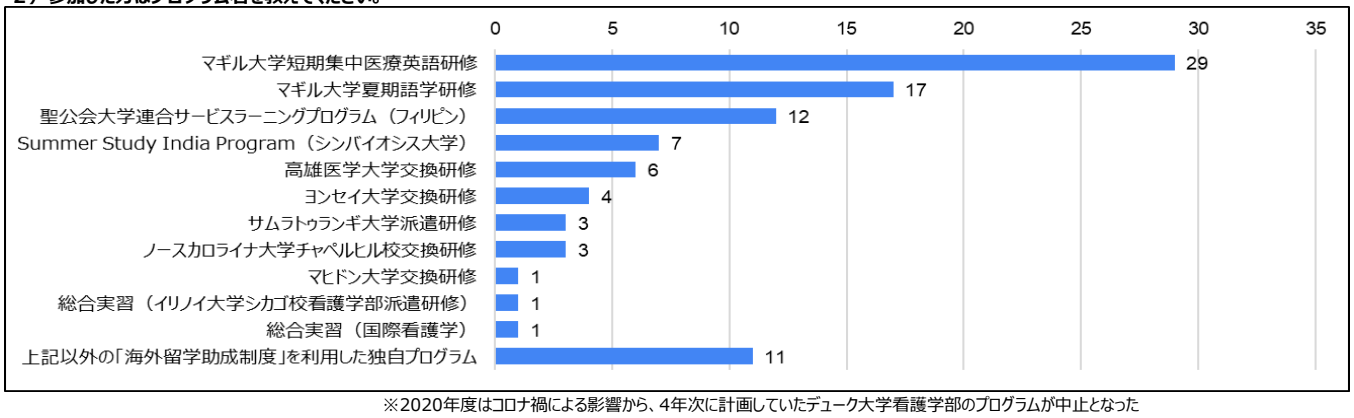
（n=106）

８．卒業時の国際性に関する調査

１）学内の留学プログラム（演習･実習含む）に参加した回数

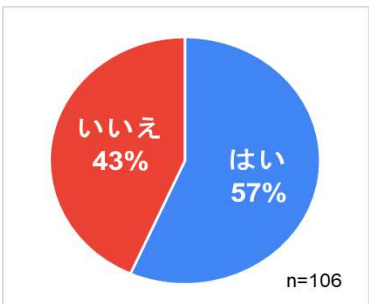


２）参加した方はプログラム名を教えてください。



※2020年度はコロナ禍による影響から、4年次に計画していたデューク大学看護学部のプログラムが中止となった

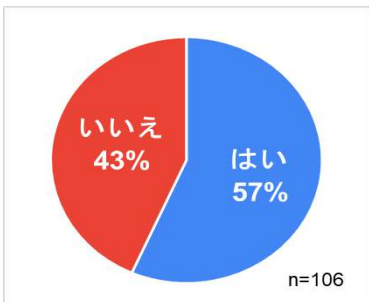
３）上記以外の渡航経験はありますか？



→「はい」と回答した方は渡航時期、国名、期間を教えてください。

1 2019年8月マレーシア 3日、2018年8月シンガポール 3日、2018年9月グアム 4日、2019年8月中国（上海） 3日、2019年1月香港 3日、2019年3月ベトナム 4日
2 2018、フィリピン、3日間、2018、台湾、4日間、2019、韓国、1週間、2019、アメリカ、１週間
3 2017年8月 フィリピン 2020年2月 アメリカ 2020年3月 カナダ
4 2018グアム1週間
5 2017年2月 アメリカ 10日間
6 2017年2月、台湾、1週間、2018年2月、インド・スリランカ、各5日
7 2018/9月フィリピン2週間
8 2018年 香港 3日間
9 2018年2月 アメリカ4日、2019年3月台湾4日、2020年2月 オーストリア1週間
10 2018年3月、ベトナム、5日間2019年9月、オーストラリア、6日間
11 2018年3月、ロサンゼルス、1ヶ月
12 2018年3月台湾 4日、2019年8月韓国 5日、2018年9月ニューヨーク 10日、2018年12月香港 4日、2019年8月フランス 6日、2020年2月ハワイ 4日
13 2018年8月、スイス、3週間2019年8月、オーストリア、2週間
14 2018年8月オーストラリア1週間、2019年3月ネパール2週間
15 2018年9月、グアム、1週間
16 2019.3 韓国 3日
17 2019何8月、ニュージーランド、2週間
18 2019年10月 台湾 3日、2020年1月 イギリスフランス 1週間
19 2019年2月、オーストラリア、10日間
20 2019年2月、韓国/台湾、6日間 2020年2月、イギリス/フランス、1週間
21 2019年3月 韓国 1週間
22 2019年3月、イタリア、1週間
23 2019年3月、ミャンマー、10日間2019年6月、シンガポール、6日間
24 2019年8月 ドイツ2週間 2020年 2月 アメリカ・カナダ 2週間
25 2019年シンガポール2週間 2017年カナダ2週間
26 2020年2月、オーストラリア、1週間
27 2020年3月ハワイ1週間
28 2020年3月フィリピン 4日
29 2018年アメリカ 2週間、2018年韓国 1週間
30 その他（イギリス1週間、イタリア1週間、オーストラリア・周辺国10日間、グアム1週間、シンガポール2週間、オーストラリア１カ月、台湾３日間、インドネシア５日間など）

４）在学中に語学力が向上したと思いますか？



→「はい」と回答した方、具体的なスコアがあれば教えてください。（例：入学時TOEIC400点→4年夏600点）

1 学部2年6月530点 → 学部2年11月655点
2 入学時TOIEC745 → 3年次TOIEC815

５）国内外で留学生・訪日客など外国人と交流があった方はどのような機会があったかご記入ください。

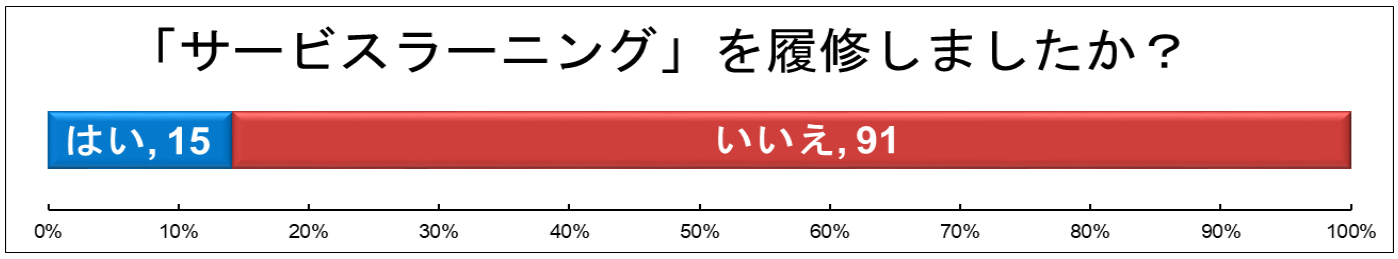
1 留学プログラムで仲良くなった韓国やフィリピンの友人に会いに行き、観光案内をしてもらうなどの交流をした。また、彼らが日本に来た時は、案内や夕食を一緒に食べるなど交流した。
2 聖路加での交流会（授業およびWHAサークル、国際交流委員会主催のイベント）にてマヒドン大学、高雄大学、シンシナティ大学、ヨンセイ大学の学生たちと
3 カノッサ修道女会関連のボランティアでフィリピンへ行き、現地の医療施設の見学やボランティア、DOTSの体験を行った。
4 シンシナティー大学との交流、タイのマヒドン大学との交流。カンボジアにある孤児院から訪れた友達ての交流
5 委員会活動において、韓国からの留学生やタイの留学生などとの交流する機会がありました。
6 大学の留学生(タイ・韓国)がホームステイで家に来た。市の交換留学でドイツ人が家にホームステイしていた。
7 学内の留学生のウェルカムパーティーやフェアウェルパーティーなどでの交流を行った。
8 4年生になってもzoomでマヒドンの学生や、ネイティブの先生と交流してます。
9 国際連携委員会やWHAのサークル活動でタイ、台湾、韓国、アメリカの看護学生との交流をした。
10 聖路加にきた交換留学生(タイ、韓国、台湾)の看護学生のホームステイ受け入れをしました。
11 大学に交換留学として来日した学生とお昼の時間に交流したり、英語の授業で交流があった
12 地域のジャパンフェスティバルのスタッフとして、外国人と関わる機会があった
13 韓国に行った際に、学内に来たヨンセイ大学の学生と交流した。
14 聖路加に来た交換留学生とのランチセッション
15 卒業研究の調査対象として関わりがあった
16 留学先の受け入れをして繋がりを持つことができた。
17 バイト先に来店するお客さんの接客・道案内
18 ボランティアであった留学生
19 学内サークル(WHA)

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

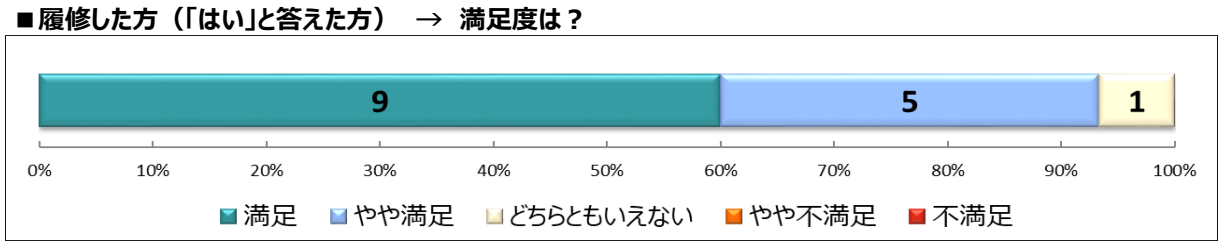
（n=106）

９．カリキュラム２０１５の新設科目に関する調査

（臨床に強い看護職の育成①）



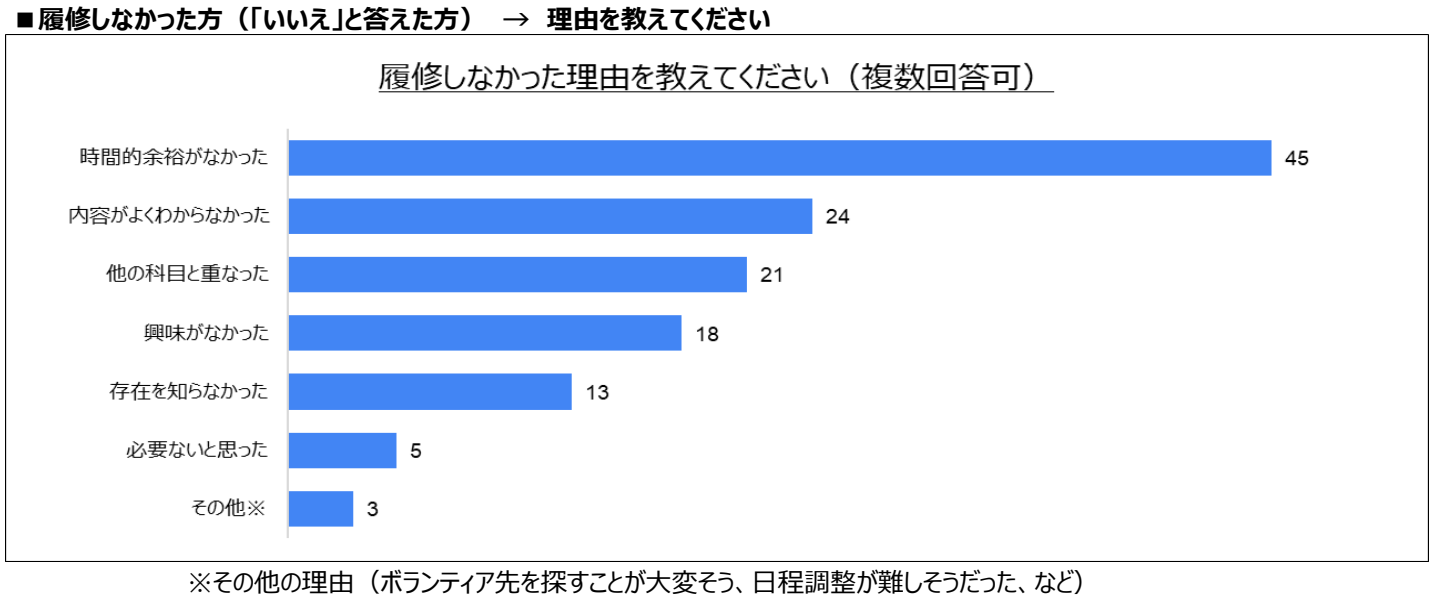
■履修した方（「はい」と答えた方）　→　満足度は？



満足度に対する理由

	満足度	理由
1	満足	フィリピンで行われたサービスラーニングプログラムに参加した。現地の地域の人と留学生と絆を深めながら活動することができた。一方的な支援だけでなく、自分自身も多くを他者から学び、お互いがwinwinな関係性を築くことができたから。
2	満足	ボランティアができて楽しかったです。授業がなければやらなかったと思います。
3	満足	ボランティアの経験をすることが出来た為。
4	満足	ボランティア活動を行うにあたり、その過程やフィードバックを自力で行うということが自分にとって貴重な経験であり、加えて地域のことを知るきっかけとなったため。
5	満足	看護だけでなく幅広い視点からボランティアについて考え、実践し、振り返る機会は貴重な体験であり、体験から得られる学びが多くあったため。
6	満足	選択肢として様々な場所あり、自分の興味あることが体験できて貴重な経験になったと感じているため。
7	満足	濃い人間関係形成ができるし、内容自体も濃かった。ぜひおすすめしたい。
8	満足	（コメントなし）
9	満足	（コメントなし）
10	やや満足	自身で興味のあるボランティアに参加し、サービスラーニングについての知見を深めることが出来たと思うため。
11	やや満足	多国籍な大学生と意見を交わせる場があり良かったと考えるから。
12	やや満足	長期間(泊まり込み、国内)で行きたかったボランティアが、安全な面から行かなかったこと。それ以外は、よかったと思います。
13	やや満足	様々なボランティアに携わることを通して、誰かの為に活動することの喜びを改めて感じることが出来たから。
14	やや満足	（コメントなし）
15	どちらともいえない	（コメントなし）

■履修しなかった方（「いいえ」と答えた方）　→　理由を教えてください



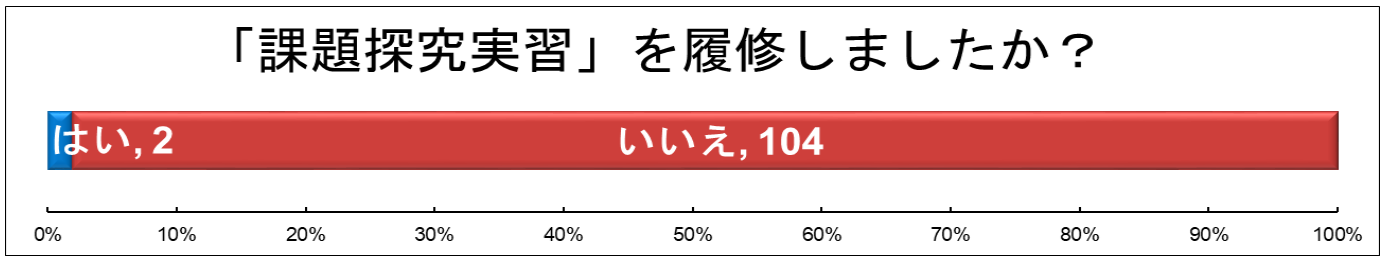
※その他の理由（ボランティア先を探すことが大変そう、日程調整が難しそうだった、など）

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

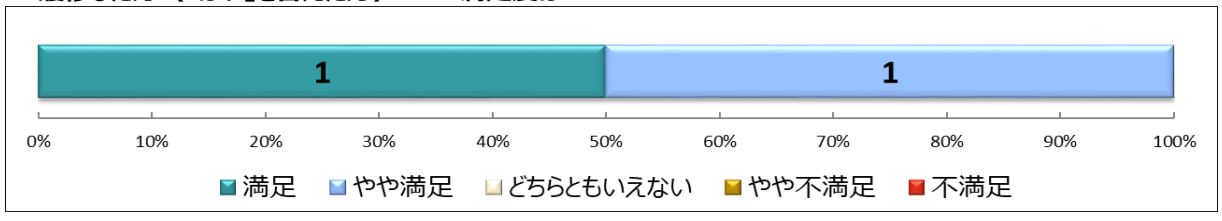
（n=106）

９．カリキュラム２０１５の新設科目に関する調査

（臨床に強い看護職の育成②）



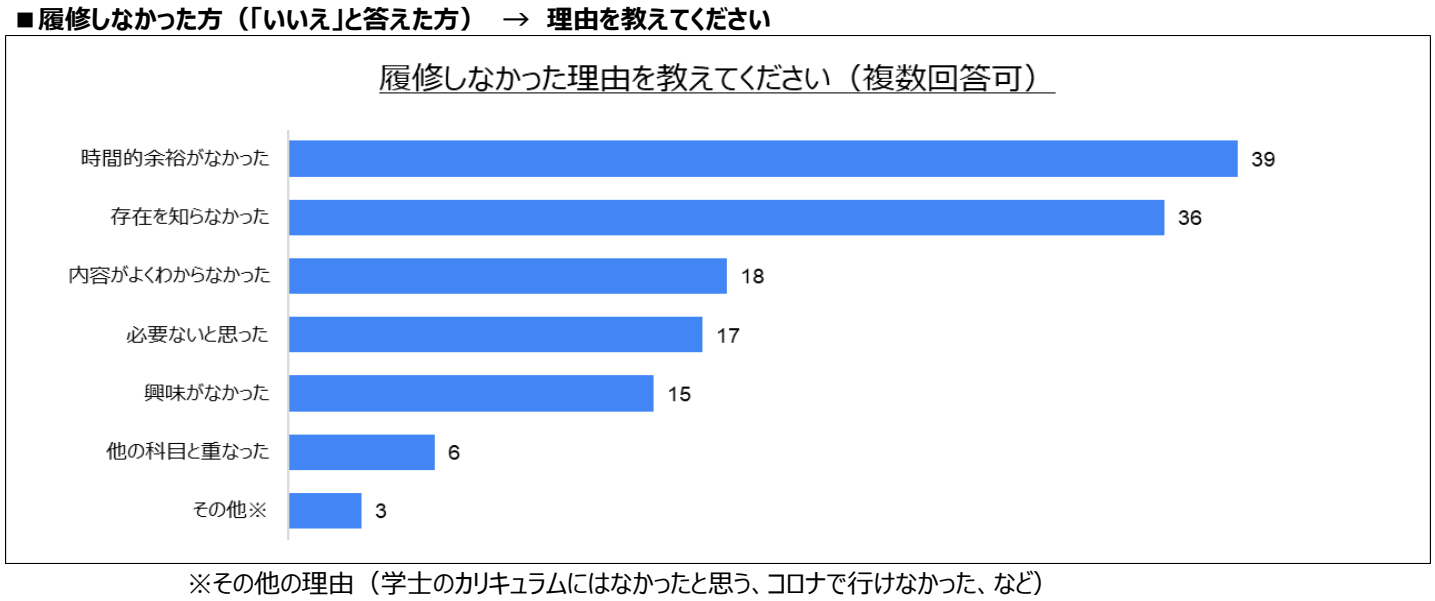
■履修した方（「はい」と答えた方）　→　満足度は？



満足度に対する理由

	満足度	理由
1	満足	関わっていただける施設の方ととても濃密した時間を過ごすことが出来たと、感じたため
2	やや満足	（コメントなし）

■履修しなかった方（「いいえ」と答えた方）　→　理由を教えてください



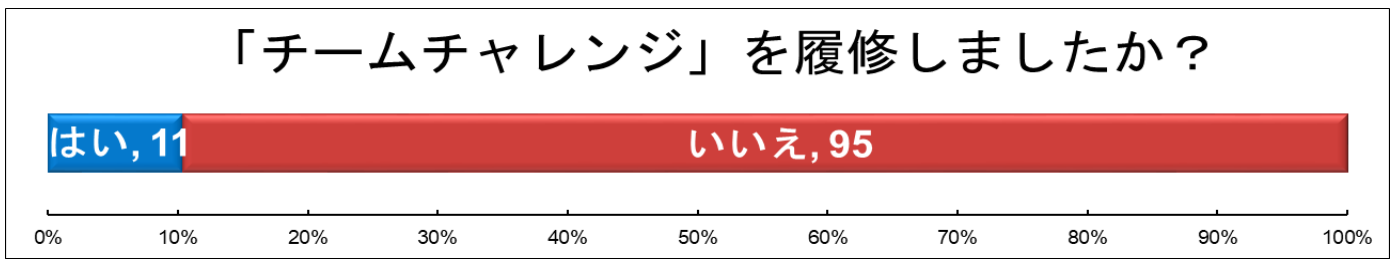
※その他の理由（学士のカリキュラムにはなかったと思う、コロナで行けなかった、など）

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

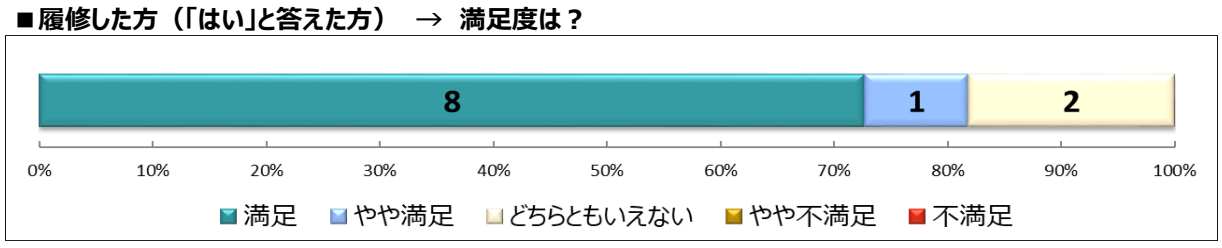
（n=106）

９．カリキュラム２０１５の新設科目に関する調査

（臨床に強い看護職の育成③）



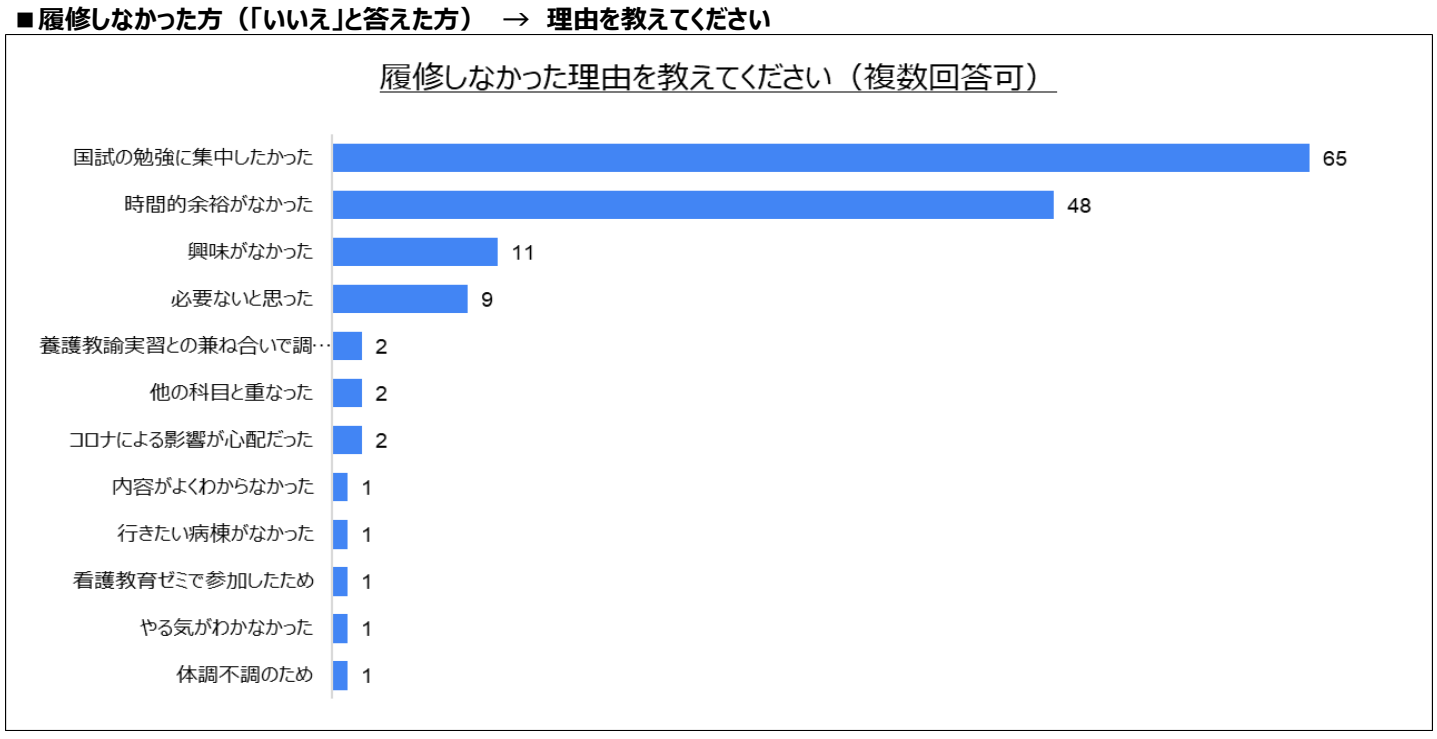
■履修した方（「はい」と答えた方）　→　満足度は？



満足度に対する理由

	満足度	理由
1	満足	1年間離れていた臨床に行けたことと、部署に学生一人での実習のためフィードバックが手厚い
2	満足	技術力が挙がったと感じたためです
3	満足	指導体制が手厚く、自分の課題や成長と深く向き合うことができた
4	満足	自分の興味のある領域で能動的に実習をすることができた。目標や記録を自分で作成することで学びをより深めることができた。また、シミュレーションであったが、複数受け持ちの体験をすることで優先順位を考えた看護を実践することができ、学びが深まった。
5	満足	春から現場に立つ上で課題となっていた点を実践を通して改善することができた。
6	満足	先生方のサポートが良く、来年度就職に自信を持つことが出来た。
7	満足	尊敬できる実習指導者や先生のもと、学生同士で支え合い、目標であるチームの一員として動くことができたと思うため。
8	満足	（コメントなし）
9	やや満足	実は体調不良でほとんど参加できませんでした。
10	どちらともいえない	内容そのものは先生方の手厚い支援を頂きながら深い学びが出来、非常に満足しています。しかし、実習先の決め方に関して、事前募集のなかったユニット系の部門に決まっている方が居るなど(それが可能なら私もユニットへの参加を強く希望していました)、不公平さを感じる部分があり意欲が削がれる思いがしました。
11	どちらともいえない	（コメントなし）

■履修しなかった方（「いいえ」と答えた方）　→　理由を教えてください

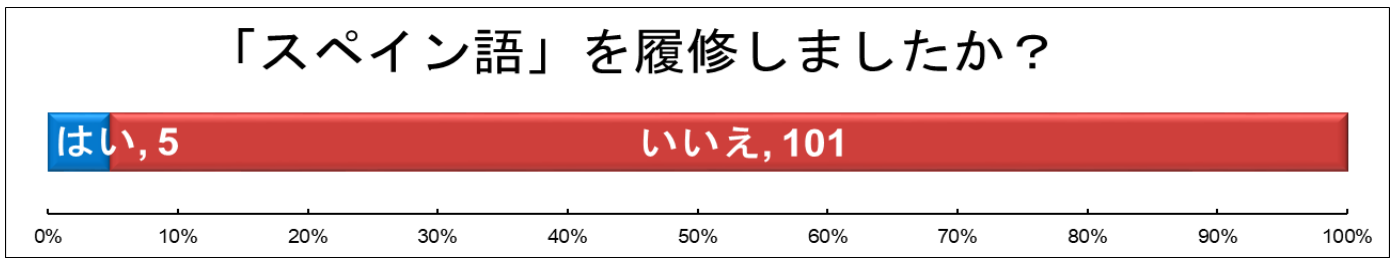


2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

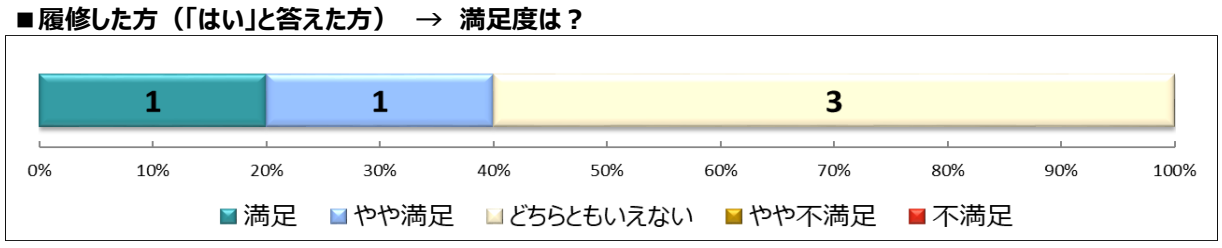
（n=106）

９．カリキュラム２０１５の新設科目に関する調査

（国際的視野の習得①）



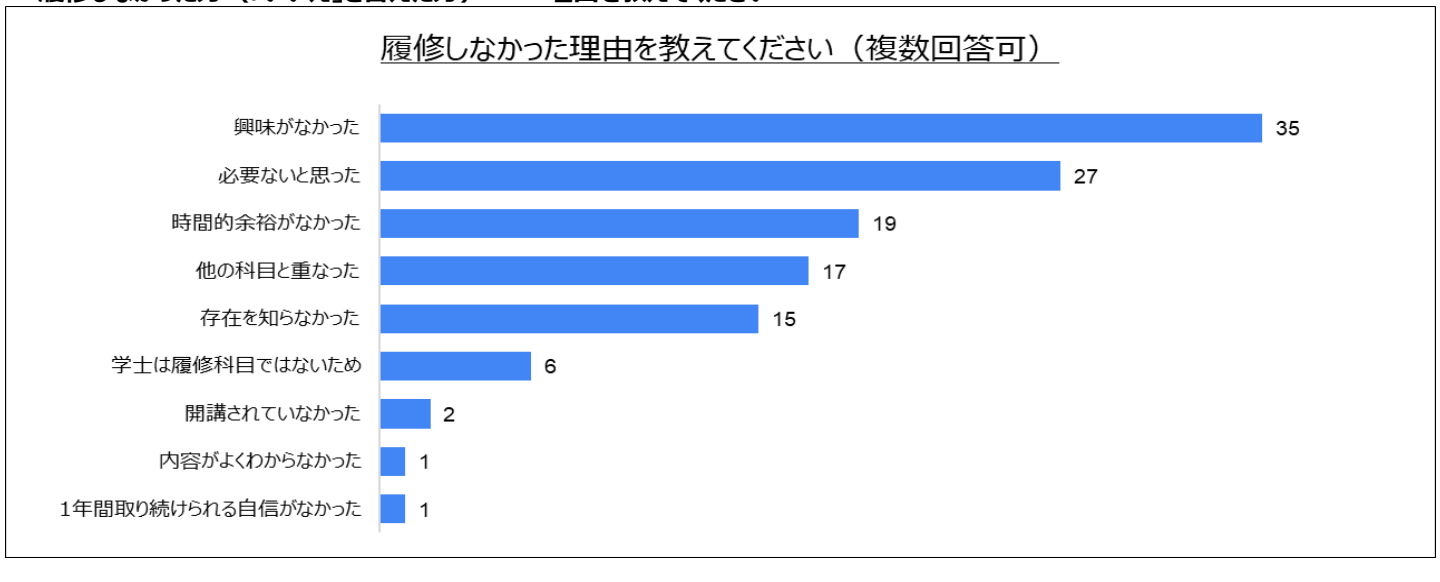
■履修した方（「はい」と答えた方）　→　満足度は？



満足度に対する理由

	満足度	理由
1	満足	看護や英語だけでなく、ほかの言葉も学べたので楽しかった
2	やや満足	当時はとても楽しく学ぶことはできたが、一年間でどれだけのことを学ぶことができたかと言われると今言語として習得できていない気がするため。
3	どちらともいえない	英語以外の語学、さらに使用されている頻度の高い語学を習得してみたいとの思いから履修したが、一年次に履修したことから、大学生活に馴染むことと、他の科目と両立させる必要があることなどから、語学習得に対する意欲を維持することができず、意欲的な学習に繋がらず、結果として習得につながらなかったため。クラスの内容自体は分かりやすく、スペイン語圏のことをよく知っている先生から学ぶことができたことで、語学に関連して色々な知識を得ることができた。
4	どちらともいえない	文化を知る機会にはなったが、他の科目の後回しにしてしまい日常生活に活かすことはできなかった
5	どちらともいえない	（コメントなし）

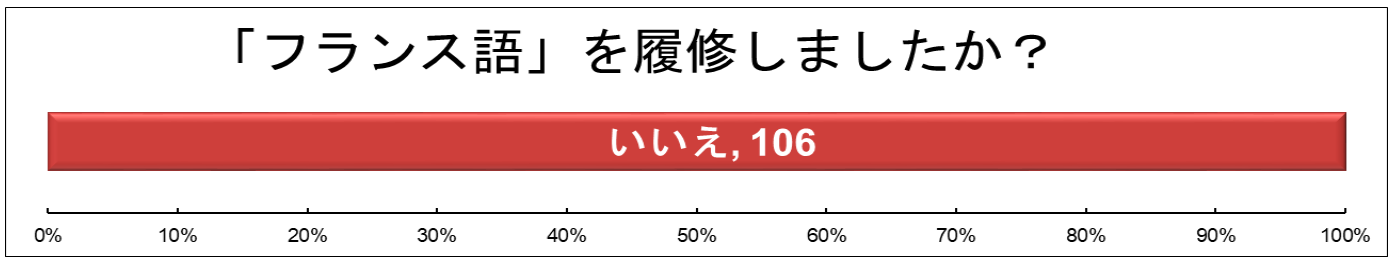
■履修しなかった方（「いいえ」と答えた方）　→　理由を教えてください



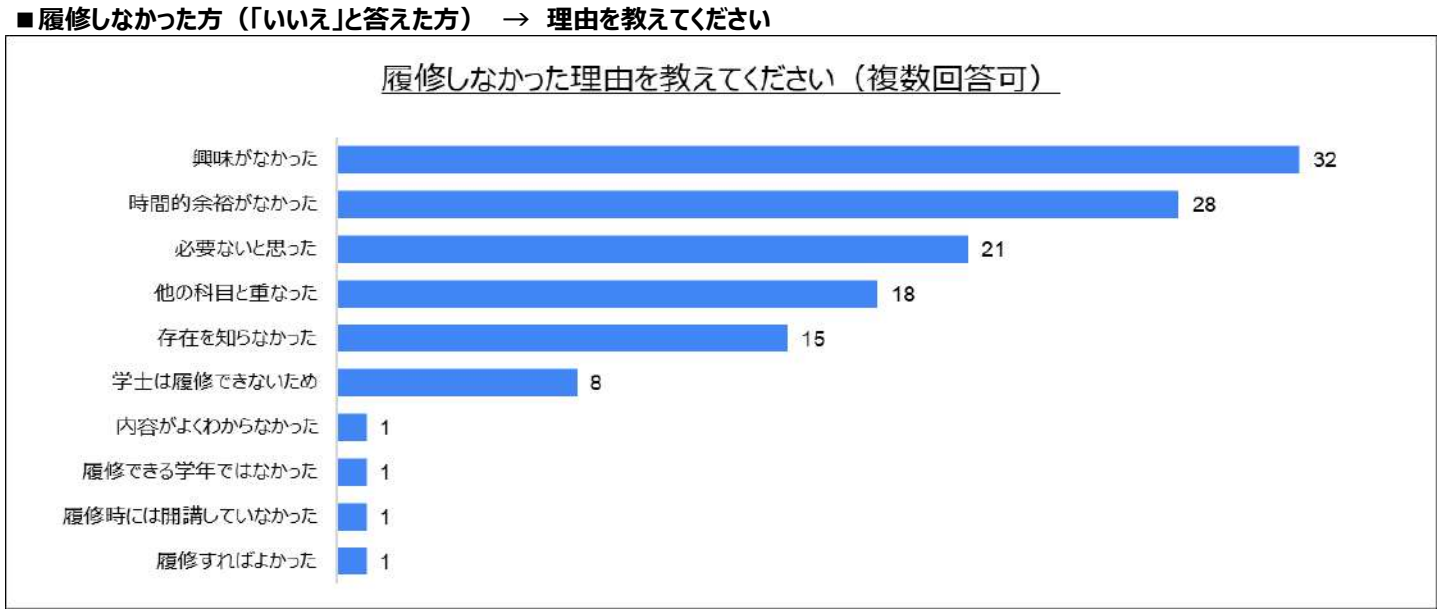
2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

９．カリキュラム２０１５の新設科目に関する調査
（国際的視野の習得②）



■履修しなかった方（「いいえ」と答えた方）　→　理由を教えてください



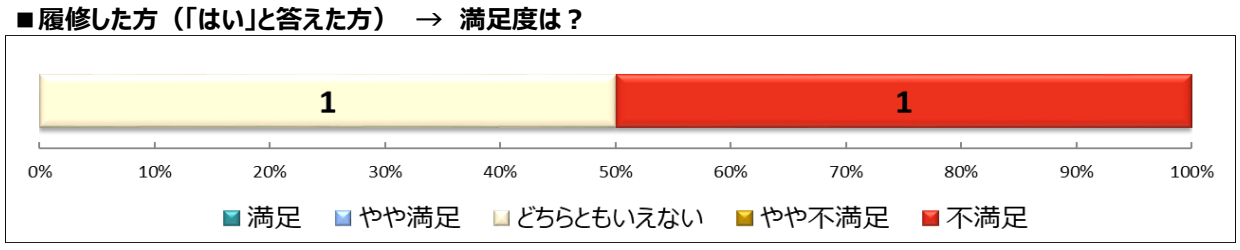
2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

９．カリキュラム２０１５の新設科目に関する調査

（国際的視野の習得③）

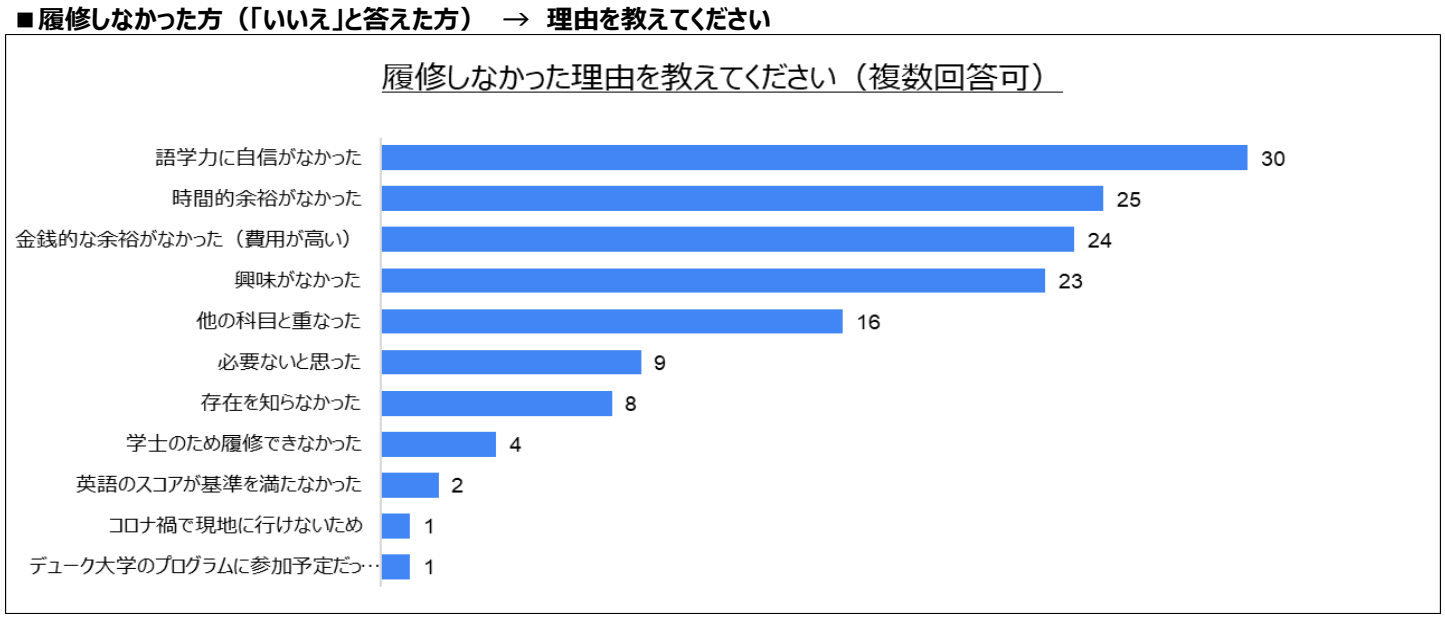
■履修した方（「はい」と答えた方）　→　満足度は？



満足度に対する理由

	満足度	理由
1	どちらともいえない	実習内容が変更になってしまったので。
2	不満足	コロナでイリノイに行けなかった。本当にショックでした。

■履修しなかった方（「いいえ」と答えた方）　→　理由を教えてください



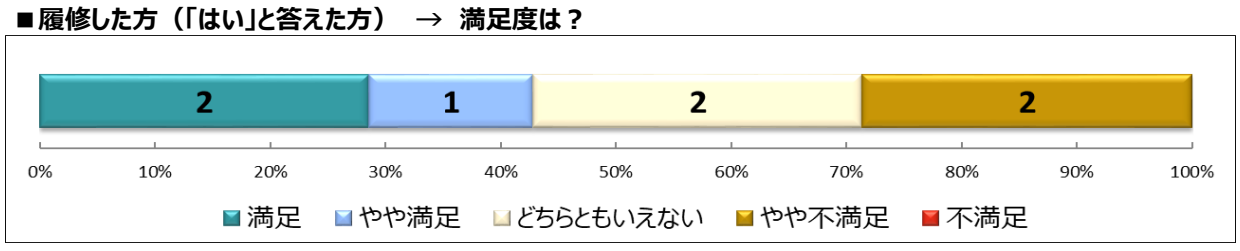
2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

９．カリキュラム２０１５の新設科目に関する調査

（教養科目の充実①）

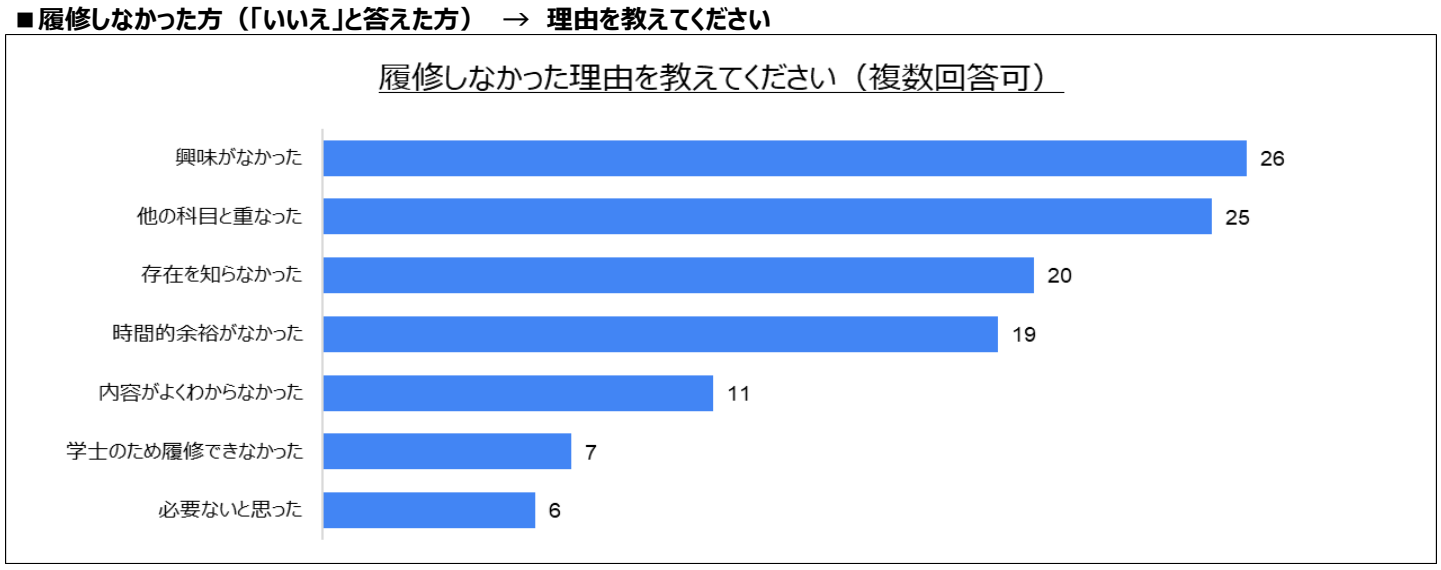
■履修した方（「はい」と答えた方）　→　満足度は？



満足度に対する理由

	満足度	理由
1	満足	授業内容が興味深くあらたな視点を得ることができた。
2	満足	新しい知見を得た。
3	やや満足	他の文化について先生の体験談を通して触れることができた。
4	どちらともいえない	（コメントなし）
5	どちらともいえない	（コメントなし）
6	やや不満足	科目自体は興味深いが、授業があまり面白くなかった。
7	やや不満足	授業内容が、文化人類学の学問の成り立ちなどに重点が置かれているものであったと思う。私は、様々な文化にいる人類について学ぶことができるものだと思って履修していたので、あまり文化人類学というものがなんなのかという学びを得ることができなかったため。

■履修しなかった方（「いいえ」と答えた方）　→　理由を教えてください

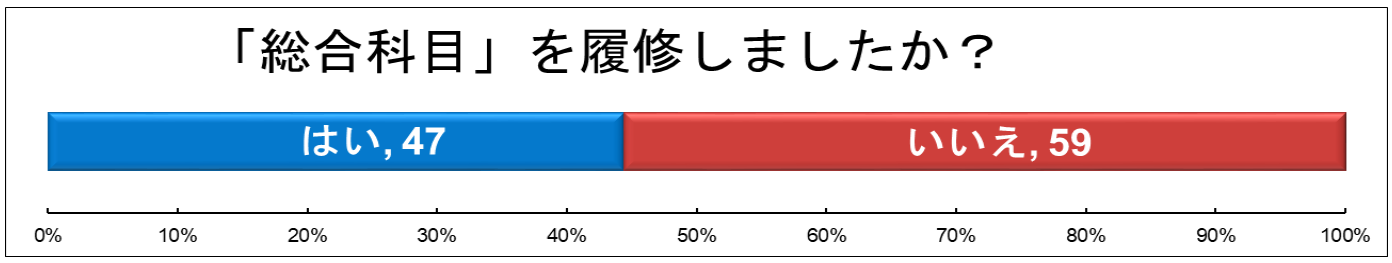


2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

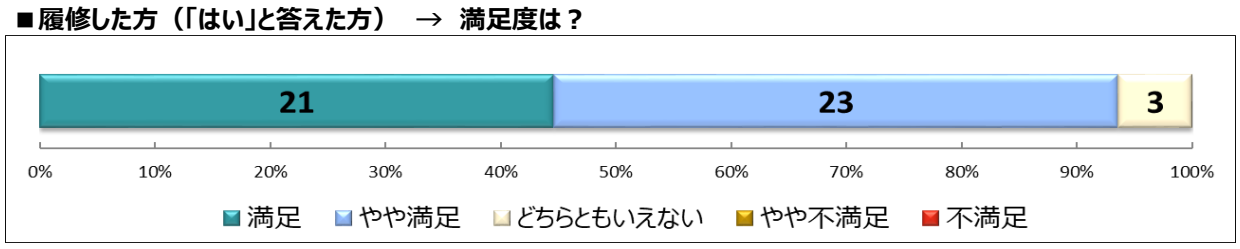
（n=106）

９．カリキュラム２０１５の新設科目に関する調査

（教養科目の充実②）



■履修した方（「はい」と答えた方）　→　満足度は？

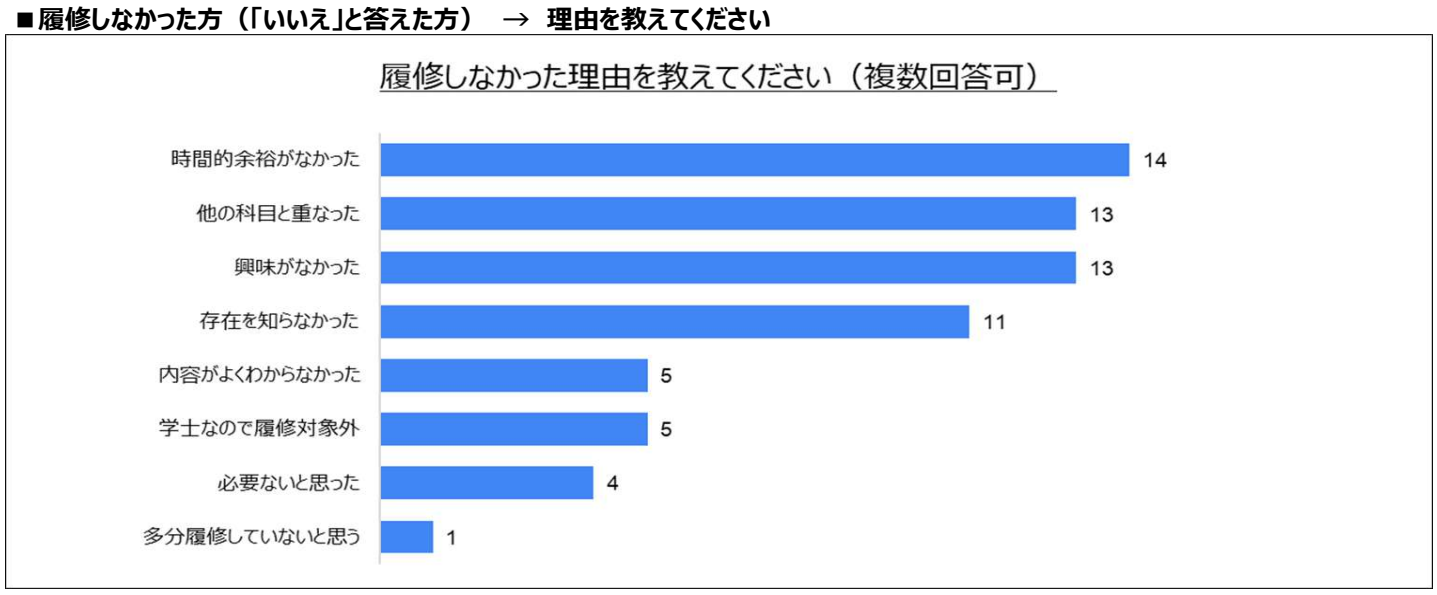


満足度に対する理由

	満足度	理由
1	満足	普段聞くことが出来ないような様々な分野のお話を直接聞くことができたから。内容がとても興味深かったから。
2	満足	さまざまな教科の先生方が来てくださり、違った視点をくださったから。また、先生からのフィードバックが個別であることもあり、やりがいがあった。
3	満足	さまざまな領域の話を聞くことができ、為になる経験をすることができた。
4	満足	たくさんの方のお話が聞けて楽しかったです。
5	満足	看護とは関係ない色んな立場の専門性のある話も聞けたから。
6	満足	看護師とは異なる視点を学び、視野を広げることができた。
7	満足	色々な分野の方のお話を聞くことができた。
8	満足	総合実習は自分の興味のある領域の実習を行うことができ、先生や友人と日々の学びを共有しながら行うことができとても充実していたから。
9	満足	多くの講師から学ぶことができたため。
10	満足	普段なかなか聞けないような貴重なお話ばかりでたいへん興味深かった。
11	満足	様々な領域で活躍される方の率直なお話を伺うことができたため。人数も少なかったため講師の方との距離が近く、良かった。
12	満足	様々な業界でご活躍されている方々のお話を伺える機会は貴重であった。
13	満足	様々な分野の方の話を聞けたから。
14	満足	面白かったです。
15	満足	コミサロフ喜美先生の異文化コミュニケーションという授業が、私の人生観に大きく影響しました。先生をはじめとしたいろいろな道のプロフェッショナルの方々の考えに触れる機会を学生のうちに与えられたことは大変貴重な機会だと感じております
16	満足	コロナ渦の中、リモートで素晴らしい実習が出来た
17	満足	（コメントなし）※複数
18	やや満足	単科の大学であるため、看護を濃密に学ぶことはできる。しかし、その分総合大学のような他学部をはじめとする客観的視点が不足するリスクもあり、そう言った意味で教養を柔軟に備えるには良いと思ったから。また、落語など特殊な回もあった点に興味関心をひかれた。
19	やや満足	様々な視点での物事のとらえ方を学ぶことができたため。自分にとって、内容が少し難しかった印象がある。
20	やや満足	様々な講師の方の講義を通して、より広い視野を身につけることが出来た為。
21	やや満足	様々な分野で活躍される方々のお話しを聴くことができたため。
22	やや満足	様々な分野の方からお話を聞くことができ、視野が広がった。
23	やや満足	様々な職の方の講義を聞く機会になった。
24	やや満足	様々な人の話を聞くことが出来た為。
25	やや満足	コミュニケーションの講義がほとんどで、もっと看護以外の世界を知る機会にしたかった。
26	やや満足	色々な分野で活躍されている方のお話を身近に聞くことができた。
27	やや満足	看護以外の分野の教養を深めることにつながったと思うから。
28	やや満足	医療以外の一流の人の貴重な話を聞けたから。
29	やや満足	いろんな人の話を聞けて面白かった。
30	やや満足	教職員によるサポートが手厚く良かった
31	やや満足	専門性以外に様々な分野についてふらることができたと考えるため。
32	やや満足	色々な話を聞けて興味深かったため。
33	やや満足	新しい知見を得た。
34	やや満足	（コメントなし）※複数
35	どちらともいえない	興味深いものとそうでないものがあった。
36	どちらともいえない	内容を忘れました。
37	どちらともいえない	（コメントなし）

※他の科目と
間違えている
可能性あり

■履修しなかった方（「いいえ」と答えた方）　→　理由を教えてください

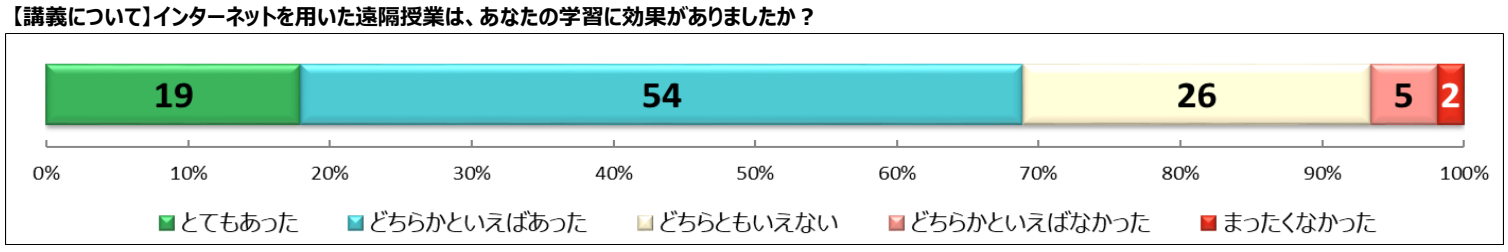


2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

１０．インターネットを用いた遠隔学習に関する質問

１）【講義について】インターネットを用いた遠隔授業は、あなたの学習に効果がありましたか？



→ その理由を教えてください

	効果ありましたか？	その理由は？
1	とてもあった	1人での学習よりも新たなことを知ることができたため
2	とてもあった	オンライン授業でも国試にも役立つ知識や臨床経験につながる思考を身につけることができたと感じるため。
3	とてもあった	スケジュールや提出物の管理能力が高まった。何度も動画を見返したり、停止することができ理解が深まった。
4	とてもあった	スケジュール管理が強化されていく中で、自らが今何をすべきなのかということが明確になったため。また、資料配布だけではなく、講義の動画をmanabaに配信してくださったことで、学びをさらに深めることができたため。
5	とてもあった	ツールの管理がしやすく、学習そのもの割く余力が生まれた。
6	とてもあった	好きな時間に勉強できるから。通学時間がいらないから。
7	とてもあった	時間と労力を削減でき、かつ効果的に学習できたので
8	とてもあった	自粛しなきゃいけないから
9	とてもあった	自宅にて自分のペースで集中して学習できた。
10	とてもあった	自分のライフスタイルに合わせて授業を受けることができた為。
11	とてもあった	新たな知識を講義を通して吸収させふことができたため
12	とてもあった	卒業ゼミとIP Eのみインターネットで受講
13	とてもあった	対面とあまり変わらなかったから。
14	とてもあった	動画を止めたりできるため、自分の学習スピードに合わせて学習できた
15	とてもあった	平常時と変わらず、リアルタイムでの講義や個人指導を受けることができたから。
16	どちらかといえばあった	インターネットだから効果があるというより、たとえインターネットであっても同じ質を保つように先生方たちのサポートがあった。
17	どちらかといえばあった	インターネットを通じてグループワークを行うことが多かったですが、限られた時間の中で作業することで、対面の時より積極的に活動できたと思います。
18	どちらかといえばあった	インターネットを用いると、聞き逃してしまった時も巻き戻してみることができ、声も聞き取りやすかったため。ただ、画面越しではホワイトボードに書かれた文字を見ることがデキなかった（反射して）。
19	どちらかといえばあった	このような経験は出来ることではないため。
20	どちらかといえばあった	リモートでも講義があるため、生活習慣を乱さず学習に取り組むことができたため。
21	どちらかといえばあった	リモートでも授業は、対面よりも集中することができたが、科目によっては不足の事態に対応できておらず、対面の方がいいものもあった。
22	どちらかといえばあった	レジュメだけの授業もあったが、文で読むより耳で理解することも多々あるため、遠隔であっても対話できる環境は必要であると感じたから
23	どちらかといえばあった	遠隔授業そのものに適応するのに労力が必要だった。
24	どちらかといえばあった	音声付きの資料が残るため先生方が言った一言を取り残さずに見直すことができる
25	どちらかといえばあった	看護のICTを用いた援助方法や今後の学習についていいきっかけとなると感じるため。
26	どちらかといえばあった	講義を何度でも見返すことが出来た。予習・復習に役立った。
27	どちらかといえばあった	講師の方々が直接出向く必要が無く、空いた時間で講義の収録ができるので、学生としては普段関われない方のお話を聞けたのが嬉しかったです。
28	どちらかといえばあった	座学だと周りの話し声によって集中できなかったりしたが、それが回避でき、かつ自分のペースで授業を進めやすかった。
29	どちらかといえばあった	紙媒体に書き込むことができないことや友人達と気軽に討論できないこと、先生方にすぐ質問できないこと、集中力が保ちづらいことで学習効果は低下すると感じた
30	どちらかといえばあった	資料だけ渡されて自己学習するより、内容への理解が深まるから。
31	どちらかといえばあった	自宅で一人で学習するよりは、インターネット上でも講義を受けた方が興味を持ちやすかったから。
32	どちらかといえばあった	自分で時間をうまく使って、やりたい時にまとめて学習できたことで、その後に生じた疑問を自ら解決しようと資料を読んだり調べたりしたことで理解が深まった
33	どちらかといえばあった	自分のペースでできる
34	どちらかといえばあった	自分のペースで学習できた。
35	どちらかといえばあった	自分のペースで学習を進めることができたため。
36	どちらかといえばあった	授業を受けて学ぶということに支障はありませんでしたが集団で同じ環境で授業を受けることも大切だと思いました。
37	どちらかといえばあった	新しい学びがあったから。特に不備なく学べたから。
38	どちらかといえばあった	真面目に取り組むことができた一方で以前のように友達とわからないことを共有する機会に乏しく学習を深めづらかった
39	どちらかといえばあった	先生と双方向コミュニケーションが取れた科目はとても意義がありました。(例　生命倫理)一方で、例年利用しているであろう資料を提示するだけ+申し訳程度の確認テストを実施するだけの講義(例　精神看護)もあり、先生方の講義に関する意欲やスキルの差が大きく、学習の学びの深さに関係したと感じます。
40	どちらかといえばあった	先生方が色々と工夫してくださったため。
41	どちらかといえばあった	対面での授業にはかないませんが、完全に独学で勉強するよりは先生方による指導を受けることができました
42	どちらかといえばあった	対面で質問し、その場で回答してもらうより、コメントを通して質問することで先生からも文面で丁寧に返答があった。1対1のコミュニケーションがしやすいと感じた。
43	どちらかといえばあった	対面で授業ができない状況において最も適した授業形態だったため、学習獲得が十分でなくても、できただけ良いと思ったから。
44	どちらかといえばあった	対面とさほど変わらず学ぶことができたから。
45	どちらかといえばあった	対面に比べると、効果的とはいえなかった。
46	どちらかといえばあった	対面の時とは異なる距離感で、教員やグループワークのメンバーとコミュニケーションをとることができたため。
47	どちらかといえばあった	対面授業と変わらないクオリティの講義を提供していただくこともありました
48	どちらかといえばあった	通学時間が長いのでその分勉強時間に当てられた。
49	どちらかといえばあった	通学時間の削減などで時間を有効に使えるようになった為。
50	どちらかといえばあった	登校にかかる時間がなく、自分の生活スタイルに合わせて学習できたから。
51	どちらかといえばあった	動画や双方向コミュニケーションありの授業はよかったが、スライドのみの授業は理解しにっかったため。
52	どちらかといえばあった	動画等を何度も見直すことも出来た為。
53	どちらかといえばあった	特にオンデマンドだと、自分のペースで学習を進めることが出来るため。
54	どちらかといえばあった	勉強にはなっているため、どちらかといえばあったにしている。まず、オンデマンド配信ならじっくり聞きたいところや聞き取りづらいところを繰り返し再生できる点が大きな魅力。リアルタイムのオンライン講義なら自分の好きな環境を選べる点が魅力(例えば広い机、私語のない静かな部屋など)。また、重い荷物を必ずしも持って通わなくて良い(肩こりと腰痛あり)。胃腸の状態が崩れやすいことなどから、対面より周りを気にせず休む・移動できるのも小さなメリットである。一方、これらのデメリットとして、通信の乱れや機器の不調、画面を長時間見続けることによる眼の疲労、画面越しにみる黒板やホワイトボードの不鮮明さ、グループワークの対面と比較した際のやりづらさ、などがある。遠隔も対面も一長一短である。
55	どちらかといえばあった	友人と協力しながら学習を深めることができた。また、授業時間以外でもオンラインで相談する時間を設けてくださりサポートしてくださった。
56	どちらともいえない	あまり知識が身についたような気はしないため。
57	どちらともいえない	テストも簡易的になってしまったりしたので本当に身に付いたのか確認できる場もなかったから。
58	どちらともいえない	遠隔授業は、コロナが始まってしまって仕方がないことだと思うので、それに対してネガティブな意見はありません。しかし、やはり対面の方が楽しかっただろう授業が多かったと思うので、どちらとも言えないを選びました。
59	どちらともいえない	遠隔授業は、通学の手間が省けるため時間的制約が無くなるなどのメリットがあったが、同時にグループワークがしづらいなどならデメリットもあったので、どちらとも言えない。
60	どちらともいえない	家だと課題の直前にやることが多かった。
61	どちらともいえない	教師の説明の分からないところなどを同じ授業を受けていた人同士で話し合ったりできなかった
62	どちらともいえない	繰り返し学習できる場合は学習しやすいと感じました。周産期のように、資料閲覧時間が短い場合は学習しにくいと感じました。
63	どちらともいえない	講義の動画や資料の配信の場合、だんだんと、期間内に見ればいい、というような考えになってしまったため。
64	どちらともいえない	今までの大学での授業では席が後ろの方に座っていたが、遠隔授業では先生の画面で近くで見ながら受けられるので先生との距離が近く感じ、講義も集中して受けることができた。

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

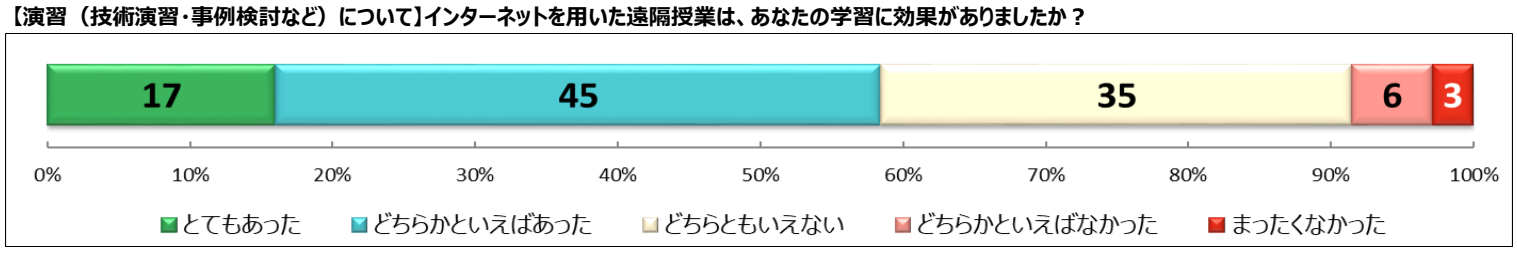
65	どちらともいえない	自分のペースで課題を出来ることと、外出しない安全面が確保されていることから安心感と身体的な余裕は感じた。しかし、余裕が生まれたから勉強にさらに積極性が伴ったかというわけではなく、グループワークや学校でみんなと学習することが心の支えになっていることに気づいたことから、勉強への意欲に波が生じることがあった。
66	どちらともいえない	集中を保つのが対面授業と比べ難しかった。
67	どちらともいえない	生の授業よりも理解が難しいことがあった。しかし、新たな学習方法を身につけられたのは良かったと思う。
68	どちらともいえない	対人での講義の方がエピソード記憶になり覚えやすかったため。また、資料配布のみで視覚的情報が多い講義もあった。見て聞いての講義の方が頭に入ってきやすかったため。
69	どちらともいえない	対人関係が希薄になるため。
70	どちらともいえない	対面と比べると質が落ちた気がする
71	どちらともいえない	対面講義に比べてモチベーションを保つのが難しかったため。
72	どちらともいえない	特に変化は感じられなかったから。
73	どちらかといえばなかった	オンラインだと勉強した感じがしなかった。
74	どちらかといえばなかった	レジュメを配信するだけでは授業とは言えないと思うから。
75	どちらかといえばなかった	資料を読むだけでは理解が深まらなかった
76	どちらかといえばなかった	前期の講義の中には講義と呼べるものではないものもあったため。スライドを配布して読むことで完結する講義は、教授との交流や他の学生との交流は全くなく、独学状態だった。そのような授業を受けるために大学に進学しているわけではなく、経験豊富な教授から教科書では得られないような実践的な知識を得たかった。教授や他の学生の考えなども知りながら学びたかったと思う。全ての講義で統一された形式をとってほしかった。
77	まったくなかった	インターネットの講義・授業では対面授業と比べて集中できず、意欲的に学習できたとは言えないから。

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

１０．インターネットを用いた遠隔学習に関する質問

２）【演習（技術演習・事例検討など）について】インターネットを用いた遠隔授業は、あなたの学習に効果がありましたか？



→ その理由を教えてください

	効果ありましたか？	その理由は？
1	とてもあった	ただ課題をこなすよりもより実践的な学習により身につく事が多いように感じた。
2	とてもあった	やりづらさはあるものの得られた学びがありました
3	とてもあった	事例について「思考すること」にあえて絞った学習ができ、思考の質が保持されたように思う。
4	とてもあった	事例検討では、グループの友人とgoogleのファイルを共有し画面と音声で共有しながら行った。友人と言葉を交わしながら画面上でも操作を見ることができ学習しやすかった。
5	とてもあった	事例検討では、わからないことについて先生方に質問しやすかった。
6	とてもあった	事例検討でも、リアルタイムでやり取りすることができ目標を達成することができたと感じているから。
7	とてもあった	自宅での学習の中で、臨床をイメージすることができたため
8	とてもあった	実際の患者さんには会うことが出来なかったが、事例設定が細かくなっていたので、実際に近い状況で演習できたと思ったため。
9	とてもあった	総合実習の先生がとても熱心に、毎日カンファレンスを開いて深い学習の手助けをしてくださった。
10	とてもあった	対面授業と比べデメリットが少なく不便さをあまり感じなかった。
11	とてもあった	好きな時間に勉強できるから。通学時間がいらないから。
12	とてもあった	臨地実習がない分、勉強ができた。
13	どちらかといえばあった	IPE(多職種連携)授業を通して他大学・他学部との事例検討を通して学びを深めることができた
14	どちらかといえばあった	アセスメント能力はかなり身についたと思っている。事例から状況を想像し、検査結果や記録からアセスメントする事が多かったため、国家試験の状況設定問題などの理解力がかなり高まっていた。
15	どちらかといえばあった	オンライン演習でも国試にも役立つ知識や技術獲得における基礎的な理解は得られたため。
16	どちらかといえばあった	オンライン上でのチームワークの難しさを学ぶと同時に効率よく進める方法を学べた。
17	どちらかといえばあった	グループワークがしづらいこともあったが、画面共有などいつもよりも便利なこともあった為。
18	どちらかといえばあった	その場で実践することが困難であったため。
19	どちらかといえばあった	ペーパーのペーシェントだったため具体的な背景などは生きた人間とは違いわからないこともあったが、表面的な実習の流れとしては理解することが十分にできた。
20	どちらかといえばあった	みんなで、同じ事例を使うので他の人の考え方が役に立ったから。
21	どちらかといえばあった	リアリティのあるシュミレーターを使っての演習によって、ケアの優先順位などを考えることができたため。
22	どちらかといえばあった	以前までは対面での演習であったため、慣れるまでは大変な部分もあったが、グループなどで役割分担を行ったり、タイムマネジメントしながらインターネットで演習をすすめるスキルを身につけることができたため。
23	どちらかといえばあった	遠隔でも事例検討を行うことはもちろんできるが、対面と比較すると時間的余裕や環境が制限されてしまい内容を深められなかったと感じた。
24	どちらかといえばあった	画面越しで、どのようにすると相手や対象者によりわかりやすく伝わるのかを考えることができた。
25	どちらかといえばあった	学習を深める機会になったが、対面でないグループワークにはやや難しさを感じたため。
26	どちらかといえばあった	根拠を丁寧に考える機会になった。
27	どちらかといえばあった	事例検討に関しては、通常授業では少ない授業時間の中で考える必要があったり、SOEを作成するのが大変であったため困難を感じることもあったが、在宅では事前に状況を把握できるように資料が配信されたり、症状を調べたりSOEをより展開する時間が増えたため、深く考える時間をとれたことは良かったと感じる。しかし、技術演習は、目の前で先生方の手本や指導を受けたわけではないので、本当にこれで合っているのかと不安も少々残った。
28	どちらかといえばあった	自宅で一人で学習するよりは、インターネット上でも、動画を見たり、事例検討をグループワークで実施する方が、理解を深めることができたから。
29	どちらかといえばあった	実際にオンラインで行うとなると、オンラインでは無いところではスムーズに行えるところがスムーズに行えない所もあったと感じたため
30	どちらかといえばあった	実際に行うよりは効果は少なかったかもしれないけど、ないよりはあったほうが学びになったと思う。
31	どちらかといえばあった	先生達のサポートが手厚かった。
32	どちらかといえばあった	先生方や他学生とのやり取りを通し、学習を深めることができたと感じるため。
33	どちらかといえばあった	他の学生と一緒にチームで取り組んだもの（総合実習や他大学との合同授業）はよかったが、個人で取り組んだエンドオブライフケア論などは理解の深まりがあまり感じられなかったため。
34	どちらかといえばあった	対面でのグループワークの方が良いと思ったため
35	どちらかといえばあった	対面での授業と同様に、様々な人の意見を聞くことが出来た為。
36	どちらかといえばあった	対面で交流する時と異なり、インターネットを通じて画面越しに交流する時には相手とどのように関わるべきかを考える機会が増えたから
37	どちらかといえばあった	対面と同じようにディスカッションできたため。
38	どちらかといえばあった	対面に比べたら、効果的とはいえなかった。
39	どちらかといえばあった	対面で授業ができない状況において最も適した授業形態だったため、学習獲得が十分でなくても、できただけ良いと思ったから。
40	どちらかといえばあった	勉強にはなっているため、どたらかといえばあったにしている。ただ、実践・技術という意味では、各家庭の人モノの資源が異なる分(包帯を巻くとき、一人暮らしは相手がいないなど)対面よりやりづらさはある。技術系は、知識中心の座学ほど遠隔授業に変換するのが容易でないと感じる。
41	どちらともいえない	zoomなどのオンラインではコミュニケーションが上手くとれずチームでの作業が難しい
42	どちらともいえない	あったともなかったとも言えない
43	どちらともいえない	インターネット以外を知らないのでなんともいえない。
44	どちらともいえない	すべての実習や演習を怠慢で行うことができたため、評価できない
45	どちらともいえない	ほとんど機会がなかった
46	どちらともいえない	わかりにくかった。
47	どちらともいえない	演習に関しては対面の方が圧倒的にやりやすい。しかしオンラインでの演習を行う上でメンバーと協議し工夫した点は、協調性や主体性の向上に繋がったと感じる。
48	どちらともいえない	演習の遠隔授業は受けていません
49	どちらともいえない	演習はやっていないが、事例検討なら遠隔授業でも対面でもそんなに変わらないと思うので、どちらともいえないにしました。
50	どちらともいえない	演習は大学で行った方が学びにつながったと感じたから。
51	どちらともいえない	遠隔の演習では技術を身につける機会がほとんどなかったためです
52	どちらともいえない	現場に行きたかった
53	どちらともいえない	視覚的な情報ない場合は学習しやすいと感じました。
54	どちらともいえない	事例検討は効果があったと思いますが、技術演習は対面の演習と比べてやはり遠隔では限界があると感じたためです。
55	どちらともいえない	自己学習などの時間はたくさんあったが、グループワークなどで他の学生とmeetなどでワークするとき、会話のしづらさを感じ、達成感をあまり感じられなかった。
56	どちらともいえない	実際の技術演習と比べれば習得度は低いから
57	どちらともいえない	正直臨床で経験したかった
58	どちらともいえない	特に演習が行なっていない
59	どちらともいえない	特に変化は感じられなかったから。
60	どちらともいえない	包帯を自分に巻いて包帯法を学ぶことがあったが、自分自身に撒くことができない箇所もあり対人はやることの学びにつながりづらかった。一方事例検討では、小グループ分けされグループワークをすることもできたため学びにつながった。
61	どちらともいえない	毎日パソコンに向き合っていると、孤独感が増したため。
62	どちらかといえばなかった	オンラインでディスカッションできる点は対面講義とまではいかないが、自身の学びを深められた。しかし、学生の参画意欲の差が大きく、共同で成果物を求められる講義などは「不真面目な人が得をする」状況が生じていた
63	どちらかといえばなかった	グループワークでは、相手側の機器トラブルで何を言っているのか聞き取れなかったり、同時に発言すると全く聞き取れなかったり、さらに発言する時に実際に会うよりも緊張してしまうことがあった。四年生ということでグループワークの頻度が少なく、オンラインでの議論などに慣れることができなかったことも影響していると思う。
64	どちらかといえばなかった	個々でインターネット環境が違い、演習に関しては対面でないと難しいと感じた為。
65	どちらかといえばなかった	実際にやらなければ分からないから。

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

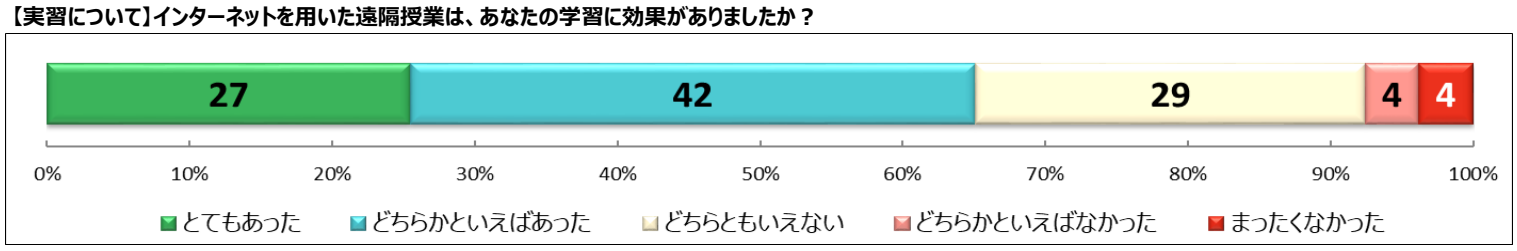
66	どちらかといえばなかった	実践の場に出られなかったという事実が今後の実践能力に影響するのではないかと不安になった
67	どちらかといえばなかった	討論・議論が難しかったので、グループワークはあまり活発にできなかった。
68	まったくなかった	インターネットの講義・授業では対面授業と比べて集中できず、意欲的に学習できたとは言えないから。
69	まったくなかった	単位取得済のため受講なし

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

１０．インターネットを用いた遠隔学習に関する質問

３）【実習について】インターネットを用いた遠隔授業は、あなたの学習に効果がありましたか？



→ その理由を教えてください

	効果ありましたか？	その理由は？
1	とてもあった	オンライン実習でも国試にも役立つ知識や臨床経験につながる思考を身につけることができたと感じるため。
2	とてもあった	オンライン上での講義を実践出来たことは貴重な経験となった。今後も活かせる経験ができた。
3	とてもあった	これからの時代に必要なスキルを学ぶことが出来た
4	とてもあった	ズームでの健康教育を行った。現地に集わなくても他者と交流し、分かりやすく人に伝えるというスキルを獲得できるいい機会だった。分かりやすいスライド作成方法や機器を介したコミュニケーションで工夫する点など学ぶことができ、あらゆる形式で看護師として活躍するためのスキルを養えたと考える。
5	とてもあった	はじめは慣れないことで戸惑いもあったが、要領を得てくると実際に現地に行くことができなくても同じように学び深い実習となった。
6	とてもあった	映像の活用など工夫していただき、学びがありました
7	とてもあった	遠隔授業では、臨地実習にあるような場所の移動や時間の微調整がなかった分、事例を理解することに時間をかけたり、集中することができ、事例について深く探求することができた。
8	とてもあった	患者を受け持つイメージができたため
9	とてもあった	個別にフィードバックをいただけた
10	とてもあった	時間調節により時間的余裕をもち深く事例を検討することも、短時間で事例を把握する練習にもなった。通学時間がない分を睡眠や学習に充てられた。
11	とてもあった	実際に実習に行けなかったが、先生が患者さんや看護師の様子をビデオで撮影してくださりイメージを持つことができた。わからないことがあったらweb上のコメント欄に残し、先生がすぐに返信していただけたので一つ一つ疑問を解決し納得しながら学ぶことができた。
12	とてもあった	実際の患者を相手にした時の学習効果とは異なると思うが、リアルタイムでの討議や事例検討を学生だけでなく教員とも普段の実習に比べて深く行うことができ、学びが深まったと感じているから。
13	とてもあった	実習も事例検討だったので、上記と同様で、実際に実習に行かなくとも、どのような事をするのか理解できた。また、提出物がマナバ上であることは、教員から添削していただいた後の修正がしやすかったように思ったため。
14	とてもあった	人との関わり方、看護の実践が対面でない場合の新しい形態として行うことが出来たのは良かったと思う。
15	とてもあった	先生方が工夫してくださり、実習はいけないないからこそ深められた学習もあったから。
16	とてもあった	総合実習の先生がとても熱心に、毎日カンファレンスを開いて深い学習の手助けをしてくださった。
17	とてもあった	総合実習は健康教育を計画する基礎看護領域だったので、スライドを共有し、電話をしながら資料をつくることにも慣れており、遠隔で全く問題がなかったから。
18	とてもあった	他の学生と同じ患者さんを受け持つことで理解が深まった。
19	とてもあった	電車での移動などの時間が全くなくずっと自宅で取り組んでいたため、1日のほぼすべての時間を自己学習や事例検討を考える時間に充てることができたため。
20	とてもあった	与えられたペーパーペイシェントの情報から何が起きているのかを推測していくことをじっくり行うことができた。
21	とてもあった	様々な人たちの話を聞くことが出来た為。
22	どちらかといえばあった	あったとは思いますが、看護計画を立てても、実践する機会がないのが残念なところだと思います。
23	どちらかといえばあった	グループワークがメインとなったので、様々な意見を聞くことができ刺激になったと思うから。
24	どちらかといえばあった	ペーパーのペーシェントだったため具体的な背景などは生きた人間とは違いわからないこともあったが、看護の流れを理解することが十分にできた。
25	どちらかといえばあった	遠隔授業ならではの実習を行えた。しかし、臨地実習を行えなかったことは非常に残念でした。
26	どちらかといえばあった	遠隔授業の中に意見交換の時間が含まれており、対面での話し合いと同様に、学びを深めることが出来た為。
27	どちらかといえばあった	画面越しで、どのようにすると相手や対象者によりわかりやすく伝わるのかを考えることができた。
28	どちらかといえばあった	患者さんとそのご家族、また現場で働く医療者と接することは不可能であったが、担当教員や実習メンバーと学びを共有していく中で学びを深めていくことができたため。
29	どちらかといえばあった	看護技術については実際に対面で行った方がより良いと思うが、実習の内容が『看護教育』であったため、インターネットで教育を行う機会は少なくないであろうと感じた。そのため、ズームを介した看護教育では今までと全く視点が異なり、教育の対象と自分たちとの関わりの難しさを痛感したため。
30	どちらかといえばあった	教員と1対1でやりとりできたので細かい指導がもらえた
31	どちらかといえばあった	個別指導で細やかに見ていただけた
32	どちらかといえばあった	自己学習の時間を十分に確保できたが、病棟での実習と比べて知識や技術の実践の場が少なかったため。
33	どちらかといえばあった	自分たちなりにインターネットを活用し、実習を楽しく行うことができたため。
34	どちらかといえばあった	実際に実習を行うよりは効果は少なかったかもしれないが、時間的な余裕はあったため、より深く物事を探究することができたと思うから。
35	どちらかといえばあった	実際に臨地実習ができた方がよいと思うが、先生方の工夫により、インターネット上での実習でも、対象者の理解や看護の実践能力を高めることができたと感じているため。
36	どちらかといえばあった	実習としての目的は制覇できていた
37	どちらかといえばあった	実習担当の先生とじっくり関われたから
38	どちらかといえばあった	新たな知識を講義を通して吸収させふことができたため
39	どちらかといえばあった	図書館の利用をした方が学びが深まると思う。
40	どちらかといえばあった	先生方が実習と近い形で事例を考えてくださったため、実習を想像しながら挑むことができました。
41	どちらかといえばあった	先生方の工夫により、臨地実習が難しい中でも学びが深まったため。
42	どちらかといえばあった	総合実習がオンラインでも充実していた
43	どちらかといえばあった	他の学生の記録も閲覧してコメントし合うことで学びを得ることができた。しかし、現場に行くことができなかったため臨床での看護技術や関係性の構築に関する学びを得ることは難しかった。
44	どちらかといえばあった	動画み映像の資料を繰り返し見ることができる場合は学習しやすいと感じました。
45	どちらかといえばあった	同じ事例を使ったので、より看護計画は深められた。
46	どちらかといえばあった	勉強にはなっているため、どちらかといえばあったにしている。ただ、遠隔での学習のしやすさでいうと座学＞演習＞実習の順であるように思う。つまり、この中では実習が最も遠隔に課題がある。遠隔だからこそ、相手が映す場面や取り上げる情報・事例に重要性がある、という視点で学ぶこともできる。また、遠方への移動の必要がないことから、移動時間を記録や文献探し等に割ける(かつ睡眠時間の確保)、或いはその移動での体質面の心配をしなくて良い(環境適応におけるストレス増加や交通機関での貧血？)点が個人的にメリットである。一方、対面の実習はある種インターンも兼ねることもあるほか、生身の人間が対象となること、文字面だけではない五感的な学習が可能になることが挙げられる。実際、(自分の体調が崩れやすいいうリスクはあるが)自分がその仕事をできそうかという感触や、病棟で出会った患者の記憶が国試の勉強と結びつくこともあったように感じる。
47	どちらかといえばあった	本当は海外に渡航する予定であったので、それができずに本来の学習と異なってしまったのは残念だったが、それに代わる素敵な環境で他の国の文化を学ぶことができたため。
48	どちらかといえばあった	理解やアセスメントに時間をかけることができ、丁寧に取り組むことができたと感じる一方で、実際に実技やコミュニケーションを経験できていないことに不安が残るため。
49	どちらかといえばあった	臨地実習だとその時そこにいる患者さんから受け持ち候補を選ぶため、自分が身につけたいことを必ずしもできる訳ではありません。しかし今回はオンラインで先生がシナリオを作ってくださっての実習だったので、自分がやりたいことや足りないと思っているところをピンポイントで経験できる実習になり、有意義だったと思います。
50	どちらかといえばあった	臨地実習に行けることは大変貴重ですが、その分、実習先へ行くこと自体に体力や気力を奪われる面もあります。また、教員との距離も遠くなります。しかしオンラインでは、受け持ち患者様に体力や気力を十分に注ぐことができ、また指導教員との距離感も近いために、私の個別性にあった指導を受けられたという点で満足できたからです。
51	どちらともいえない	アセスメント能力は身についたが、その反面で看護技術や患者とその家族への接し方などは不安がある。
52	どちらともいえない	インターネットでの実習を実施していない。養護教諭の免許課程を取り、実際に学校は聞き学ぶことができた。
53	どちらともいえない	インターネット以外を知らないのでなんともいえない。
54	どちらともいえない	オンラインだと質問がしづらかったり、実際に実習に行けないので学びが少なかったと感じたから。
55	どちらともいえない	オンラインにすることで通学などの時間がなくなり、自己学習が多く確保できた。そのため知識やアセスメント力に磨きをかけることが出来たと感じる。しかし人を対象とする看護の実習では、やはり対面が一番学習量が多い。
56	どちらともいえない	すべての実習や演習を怠慢で行うことができたため、評価できない
57	どちらともいえない	やっていない
58	どちらともいえない	わからないところがそのままになることもあったが、通学時間が減ってその分を効率的に課題などに使えたのでストレスは比較的少なかった
59	どちらともいえない	遠隔の実習では職員同士や患者と看護師が作り出す空間が全く分からなかったです
60	どちらともいえない	遠隔実習なし。
61	どちらともいえない	遠隔実習は、通学の手間が省けるため時間的制約が無くなるなどのメリットがあったが、同時にグループワークがしづらいなどならデメリットもあったので、どちらとも言えない。
62	どちらともいえない	個々でインターネット環境が違い、演習に関しては対面でないと難しいと感じた為。

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

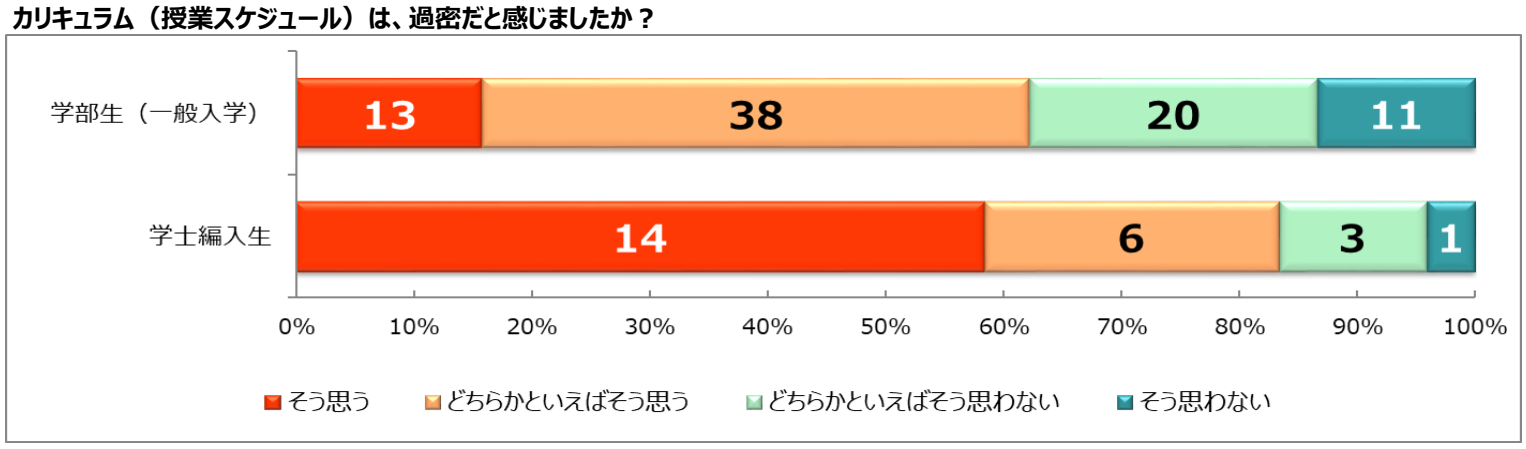
63	どちらともいえない	実際の現場とはかなり異なる演習のため。
64	どちらともいえない	実際の現場や対象者の動きは、日々変化するため、それらを紙面の情報から想像して看護計画をたてることが困難だと感じることがあった。
65	どちらともいえない	実習に行かなかったため、技術に不安がある。
66	どちらともいえない	実習はオンラインで行わなかった
67	どちらともいえない	実習はやはり現地に赴き実際に患者さんや利用者さんと直に接することでしか学べないことがあると感じたので
68	どちらともいえない	実習は養護教諭だったため対面実施でした
69	どちらともいえない	実習をオンラインでやっていないから。
70	どちらともいえない	実習を遠隔で行っていません。
71	どちらともいえない	先生から個別に指導をいただきながら看護や疾患についてじっくり考えられる濃い時間を設けられた点は良かったが、やはり臨地実習のような他者(看護師や患者)とのコミュニケーションは決定的に不足していたし、時間のメリハリもつきづらい為、心身ともに負担が大きく体調を崩しがちだった。
72	どちらかといえばなかった	実習した感じがしなかった。自己学習でもできそうな内容だった。
73	どちらかといえばなかった	臨床で役立つとはあまり思えなかった。
74	まったくなかった	インターネットの講義・授業では対面授業と比べて集中できず、意欲的に学習できたとは言えないから。
75	まったくなかった	インターネットを用いた遠隔実習を行なっていない。
76	まったくなかった	単位取得済のため受講なし

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

１１．最後の質問です

１） カリキュラム（授業スケジュール）は、過密だと感じましたか？



その理由を教えてください（学部生）

	過密だと感じたか？	その理由は？
1	そう思う	2年の頃が一番忙しく、テスト勉強も大変でかなり勉強に追われていた記憶があるから。
2	そう思う	2年生は授業が少なく時間的余裕がかなりあるのに3年前期に授業が詰め込まれていた。テストが同時期に一度にやってきて理解よりも暗記に走ってしまいもったいなかった。慢性看護学や老年看護学1などを2年後期に回したほうがゆとりをもって深めることができると思う。
3	そう思う	3年生前期のスケジュールが過密だと感じた。
4	そう思う	3年生前期の負担が多かった。
5	そう思う	ずっと勉強、自習だったから。でもそれでいいと思う。それが学生だと思う。
6	そう思う	身体的にも精神的にも、きつかった。他の大学の人と比べても、聖路加は忙しいと一般に聖路加生にも、他大の人にも言われている。根拠はわかりません。だけれどそれだけ深い学びができているということでもあると考えることができると思います。
7	そう思う	特に一二年生は一限から五限までが、毎日というスケジュールをこなしてきたため。
8	そう思う	忙しい日々を送っていたため
9	そう思う	本当に過密だったときは、各授業の課題の提出期限が立て続けにあったり同じ日に何個も重なっていたりして、かなり苦労した。
10	そう思う	養護教諭の授業を選択したから。
20	どちらかといえばそう思う	1.2年次は学習や演習で精一杯だったが、3年の前期は座学が多いように感じ、そのバランスに上手く対応出来ずに色々といっぱいいっぱいに感じていた。しかし充実しているという面もあり友人と多く関われたのは良かったと思う。
21	どちらかといえばそう思う	1年、2年の前期が特に忙しいように感じた。 英語のクラス分けによっては、水曜日は1～6限まで授業が全て入っていたという話を聞いたため。
22	どちらかといえばそう思う	1年次は遠いところから通っていたこともあり、時間的拘束が大きかった。そのため健康管理は難しかったように感じる。しかし4年間でこれ以上ないと言えるほど学習に励み深められた経験は私にとってすごく大事なものとなりました。
23	どちらかといえばそう思う	2年生は暇だったが3年生は前期も後期も忙しかった
24	どちらかといえばそう思う	3年の前期に集中的に専門科目の講義が入っており、集中していたことで得られるメリットもあったのかも知れないが、1、2年の頃から余裕を持って長期的に学習するという方法もあっていいのではないかと思った。集中的に行わらると、知識をテストに向けて詰め込んでいくような感覚であり、今後の看護師人生に向けて定着させるというような感覚ではなかった。
25	どちらかといえばそう思う	3年生の前期が必修授業が多く忙しかった。よく友人と「3年前期の授業のいくらかを2年や1年など比較的時間に余裕がある時期に回した方がいい」と話していた。
26	どちらかといえばそう思う	3年前期に集中していて、忙しかったため。
27	どちらかといえばそう思う	いつも課題など、何かに追われていた気がしたので
28	どちらかといえばそう思う	コロナでの遠隔授業は全く過密と思わなかった。しかしそれ以前の、三年生の前期のカリキュラムは詰込みのように感じた。
29	どちらかといえばそう思う	スケジュールそのものは適切だったと感じるが、それらに対する課題がとても多かったため大変だったから。
30	どちらかといえばそう思う	ずっと過密というわけではなく、3年前期で専門科目の座学が増えるために演習や課題など授業準備のために時間が足りないという体感があった。
31	どちらかといえばそう思う	でもしょうがないのかなと思いました。
32	どちらかといえばそう思う	課題や実技練習なども相まって、自由な時間が少なかったように思うから。
33	どちらかといえばそう思う	過密だが、全てが必要不可欠である
34	どちらかといえばそう思う	看護を学ぶ上で必要なものだから、忙しくて当たり前だと思いますが、授業と課題で忙しいと感じたことは多々あります。
35	どちらかといえばそう思う	私が元々要領が悪いという理由も大きい。また、睡眠不足が当たり前となっていたから(実習や課題で徹夜することも多々)。
36	どちらかといえばそう思う	実習はかなり詰まってて体力的にきつかったから。
37	どちらかといえばそう思う	授業以外にもアーツルームで練習したりと忙しかった
38	どちらかといえばそう思う	常に何かしらの課題がある中では、特に2.3年生は大変でしたが、看護師になったらマルチタスク処理の能力も必要なので、大学生活から鍛えることも必要なのかなと感じています。
39	どちらかといえばそう思う	総合したカリキュラムの数は過密ではないと思うが、授業スケジュールに余裕がある（平日に休みがある等）ときと、1時限～5時限まで過密であるときの差はあると思う。
40	どちらかといえばそう思う	他大学と比較すると授業量が多く感じたため
41	どちらかといえばそう思う	特に1～2年時は教養科目、3年前期は専門科目が多かったため。しかし、スケジュールを管理していく中で、アルバイト等自身のやりたいことはできたと感じる。
42	どちらかといえばそう思う	特に学部3年では負担と感じる時が多かったように感じるため。
43	どちらかといえばそう思う	入学前から忙しさを予想してはいたものの、特に3年次は講義・実習ともに日々課題でいっぱいいっぱいだったため。
44	どちらかといえばそう思う	偏りがすごかった気がする
45	どちらかといえばそう思う	養護教諭の科目も取っていたこともあってか、二年生の後期が異常に忙しく感じた。毎日着実に課題を終わらせても、それの倍課題が毎日降ってきていた感覚だった。スケジュール管理が大切だと改めて感じ、普段のスケジュール帳とは別に、課題用の手作りのスケジュールを持ち歩いていた。
46	どちらかといえばそう思う	養護教諭の科目を含めると5日間ほぼ全ての枠に授業が入り、技術の自主学習をする時間を確保することが難しかったため
50	どちらかといえばそう思わない	１，２年時は過密であったが、それによって３，４年時に実習や卒業研究、国家試験勉強に集中できたため。
51	どちらかといえばそう思わない	3年の前期はきつかったが、他は適切だと思った
52	どちらかといえばそう思わない	アルバイトやプライベートを時間を確保できたため
53	どちらかといえばそう思わない	しんどい時もあったが、乗り切れない量ではないと感じた為。
54	どちらかといえばそう思わない	バイトやサークル、大学からお知らせがきた講演会に参加でき、ちょうどよかったから。
55	どちらかといえばそう思わない	バイトをしなければ忙しくないと感じたから。
56	どちらかといえばそう思わない	過密だと思う時もあったが、他の予定と両立出来ていたため。
57	どちらかといえばそう思わない	過密な学期とそうでない学期があり、過密な時期は限られた時間の中で効率よく課題をこなす力が鍛えられ、メリハリがあったので良かった
58	どちらかといえばそう思わない	学年によってまちまち
59	どちらかといえばそう思わない	最適な学習量を確保することが出来た為。
60	どちらかといえばそう思わない	四年生は特に暇でした。四年生でも教養科目など興味がある科目がもっと柔軟に取れると楽しそうだと思いました。
61	どちらかといえばそう思わない	自己学習の時間を十分に取れたため。
62	どちらかといえばそう思わない	他の大学の方からお聞きするよりも、ゆったりとしていて、十分に自己学習できる時間はあったと思うため。
63	どちらかといえばそう思わない	遊びやアルバイトとの両立ができたから
64	どちらかといえばそう思わない	養護教諭の過程や、興味のある科目をとっていたため忙しく感じた。しかし、結果的にとても良かった。
68	そう思わない	2.3年で頑張った分、知識になったから。
69	そう思わない	アルバイトや友人との時間を多く持つことができたから。
70	そう思わない	バイトや遊びなど授業以外の時間もしっかり取れたから。
71	そう思わない	移動時間を考えることなく履修できたから
72	そう思わない	学ぶことが多ければ、それなりに授業も増えると思うので、忙しくて当たり前だと思っていますし、過密だと思いませんでした。
73	そう思わない	取り組んでいる渦中は過密なように感じていたが、終わってみると適切なタイミングで適切な学びができていたように感じる。 看護師は臨床に出てからも仕事と並行して自分で勉強をする必要があり、ある程度負荷を感じるくらいが適切だと思う。

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

74	そう思わない	他の大学と比較すると4年にもなって必修授業があることは驚かれることがあったが、レポートをやる時間やアルバイト、サークル活動など両立できる時間はあったため。
75	そう思わない	他学部の学生と比べると忙しいとは思うが、看護学生として学ぶためにどれも必要な授業であったと感じるため。
76	そう思わない	妥当だと思います。1.2年生は余裕がありますし、アルバイトやサークルなどの活動をする時間もあると思いました。
77	そう思わない	忙しい時期もあったが、充実していたと振り返ることができるため。

その理由を教えてください（学士編入生）

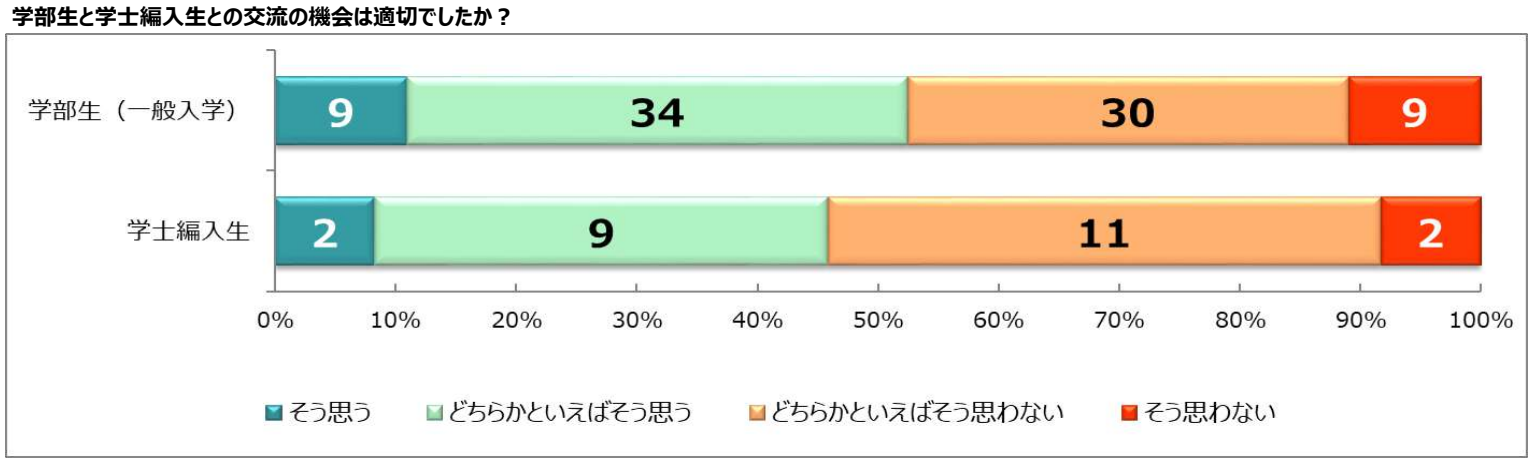
	過密だと感じたか？	その理由は？
1	そう思う	2年間で専門科目を学ばなくてはならないため。
2	そう思う	2年間開講中は休日返上で勉強し休む暇がなかったから。
3	そう思う	リフレッシュする時間を持つことが難しかった。
4	そう思う	学士編入なので仕方ないと思う
5	そう思う	試験やレポート課題等が短期間に多くあったり、課題提示から提出締切日までが短期間だったりし、体調不良などで計画通りに取り組めないと取り返しがつかないスケジュールになっていたと感じるため。
6	そう思う	試験や課題の提出日が重なることが多く、演習試験の自己練習の時間がとりにくい場合があったためです。
7	そう思う	早い段階から国試勉強をしたかったが、日々の課題に追われなかなか時間を確保することが難しかったから。
8	そう思う	短い期間でのカリキュラムであるため仕方ないが、いつも何かに追われている感じだった。
9	そう思う	同じスケジュールとシチュエーションで、2年間過ごしてみてほしいです。でないと、なかなか理解していただける気がしません。
10	どちらかといえばそう思う	２年間でぎっしりと詰まっていたからです
11	どちらかといえばそう思う	過密ではあったが、学士編入における2年間のカリキュラムなので覚悟はしていた。
12	どちらかといえばそう思う	膨大なインプットが求められる中で、即座に暗記・理解力が求められることから、勉強についていけなくなる不安は常に抱えていた。また、睡眠時間がないほどの勉強が必要だということが、入学前の想像以上に心身の負担になっていた。
13	どちらかといえばそう思わない	自己学習の機会も大きく、自分の時間も沢山持てたと思います。
14	どちらかといえばそう思わない	初年度の前半はかなりハードスケジュールで 1限から5限まで同じ教室で同じ授業というのもざらだったが、それを乗り越えてからは比較的スムーズに自分で時間を見つけて趣味にも取り組めたし、友達と出かけたりも出来ていたので、最初さえ乗り越えればそこまでハードではなかったように感じます。
15	どちらかといえばそう思わない	先生方が過密にならないように、期限を設定していただけた。
16	そう思わない	そのように思わなかったから。

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

１１．最後の質問です

２） 学部生と学士編入生との交流の機会は適切でしたか？



その理由を教えてください（学部生）

	適切でしたか？	その理由は？
1	そう思う	一年時のオリエンテーションや、アドバイザー制度などがあり学士編入の方たちと交流する機会があったのはよかったと思ったため。もっと交流する機会があっても良いと思う。
2	そう思う	学士の方々の意見は学部生からは出てこないものばかりで、とても勉強になったため。
3	そう思う	学部生と学士編入生合同の授業において、一度社会人を経験された学士編入生ならではの意見を伺うことで、自らの学びをさらに深めていくことができたと感じるため。
4	そう思う	最初関わる機会があったので、それで十分かなと思います。
5	どちらかといえばそう思う	１年のオリエンテーション合宿の際に仲良くなった学士編入の方とは今でも継続して交流を持っている。一方で学士編入の方は２年で卒業してしまうため、４年時に一緒の合同授業を受けた学士編入の方とは講義内での関わりでしか一緒になることはなかった。特に昨年は遠隔授業であったため数回のグループワークのみでしか顔を見て話せなかった。初めましての状態であるのでお互い戸惑いや遠慮があったように感じる。
6	どちらかといえばそう思う	4年になってからGWやチームチャレンジで関わる機会が増えたがそれまではほとんど学部生での絆が多かった
7	どちらかといえばそう思う	アドバイザーで仲良くなることができ、通常なら関わらないような人と知り合うことができたため。
8	どちらかといえばそう思う	アドバイザー制度や、看護政策論の授業など、交流する機会はあり、時に情報共有などができたと思うため。
9	どちらかといえばそう思う	オリゼミで関わる機会があったが、授業でより関わって学士の方ならではの視点も知りたかった
10	どちらかといえばそう思う	グループワークでの意見交換が有意義であった。
11	どちらかといえばそう思う	グループワークで学士編入の方と交流する機会があったため。
12	どちらかといえばそう思う	グループワークなどで意見の交流をすることができて、勉強になったから
13	どちらかといえばそう思う	グループワークなどで時々、関わることで刺激がもらえた為。
14	どちらかといえばそう思う	グループワークなどを通して、自然な形で交流を持つことができたと感じるため。
15	どちらかといえばそう思う	グループワークや実習で経験を共有できたのが良かった。
16	どちらかといえばそう思う	一緒に入った方と始めの1泊2日のものでしか交流しなかったため。授業で関わる学士さんの意見はとても面白かった。
17	どちらかといえばそう思う	学士さんと合同の授業もあったが、ただ一緒に座って授業を受けるだけのものも多かった。
18	どちらかといえばそう思う	学士の方によるが、学部生だけのグループの方が討論が活発になるとは思う。
19	どちらかといえばそう思う	関わる機会は少なかったが、グループワーク等を通して交流を深めることができた。
20	どちらかといえばそう思う	交流の機会はほぼないが、支障はなかった。
21	どちらかといえばそう思う	合同授業のグループワークなどで話す機会が設けられていた
22	どちらかといえばそう思う	少し緊張することもあったが、ディスカッションなど、多様な経歴経験をもつ人たちと関わることは視野を広げることにつながったから。一方で、(編入生は大きな転機のもとに入学している人も多い分)学部と学士編入で真剣さに温度差があることもあり、一部の学部生の私語等が学習の妨げとなっていそうなときは、何だか申し訳なく思った。もちろん、学部生にも真剣な人はたくさんいるが。
23	どちらかといえばそう思う	体育でーなどで関わることができた。
24	どちらかといえばそう思う	特にグループワークなどで親密に関わることができたが、その他の状況で関わる機会はほとんどなかった。
25	どちらかといえばそう思う	特に問題なくグループワークなどできたから。
26	どちらかといえばそう思わない	あまり、合同の授業がなかったため。
27	どちらかといえばそう思わない	あまり学士さんとお話することがなかったので
28	どちらかといえばそう思わない	あまり関わる機会がなかったため
29	どちらかといえばそう思わない	あまり交流がなく、突然グループワークをやる機会などがあり、もっと交流して深めたかったなとは思います。
30	どちらかといえばそう思わない	あまり交流はなかった
31	どちらかといえばそう思わない	いろんなバックグラウンドを持った学士さんとの交流がもっとあっても良いと思います。
32	どちらかといえばそう思わない	そこまで交わることはなかったから
33	どちらかといえばそう思わない	ほとんど交流する機会はなかったと思う。
34	どちらかといえばそう思わない	もうちょっとあってもいいのかなとも思う。
35	どちらかといえばそう思わない	もっと一緒にグループワークをする機会があるほうが良いと思う。（学士さんとの交流は自分と違う背景の年上の方とお話しするいい機会になる。講義授業のみ時々一緒なだけだと、教室が狭くなるのが嫌で親しみをもつことは難しい。）
36	どちらかといえばそう思わない	一緒に授業を受けることはあったが、交流する機会はあまりなかったため。
37	どちらかといえばそう思わない	会話するような機会があったわけでもなく、一度社会人を経験していたり、とても短い期間で多くを学べている学士の方たちと突然一緒にグループワークとかをやることになるのでいつもは発言とかしている人も萎縮しているように見えていたから。
38	どちらかといえばそう思わない	学士編入生との交流が少なかったように思う為。
39	どちらかといえばそう思わない	学士編入生と学部生では知識のレベルが全く異なり、私は、グループワークの時などに学士編入生の話についていくことができなかった。交流の機会といっても、四年生の政策論でのグループワーク以外交流する機会はほとんどなかったと思う。
40	どちらかといえばそう思わない	急にグループワークをやることになっても面識がないためやりにくかったから。
41	どちらかといえばそう思わない	教室の座席が足りず、狭すぎた
42	どちらかといえばそう思わない	交流の機会が少なかった。
43	どちらかといえばそう思わない	交流の機会はあまりなかった
44	どちらかといえばそう思わない	講義以外ではほとんど関わる機会がなかったため。
45	どちらかといえばそう思わない	合同授業はありましたがコミュニケーションをとる機会が少なかったです。
46	どちらかといえばそう思わない	授業で一緒になる以外に交流したことがなく、結局よくわからない。
47	どちらかといえばそう思わない	授業以外で学士編入生と関わる機会はなく、授業もあまり多くなかったため。
48	どちらかといえばそう思わない	特に関わった記憶がありません
49	どちらかといえばそう思わない	特に今年は交流の機会がほとんどなかったため
50	どちらかといえばそう思わない	突然一緒にグループワークをしたりする機会がでてきたりしたが、学習の進行具合が違うからか、あまりうまくグループワークを進められなかった印象があったから。
51	そう思わない	ほとんどなかったため
52	そう思わない	ほとんど交流がなかったため、お互いの顔や名前を認識することができていない。以前の3年間の学士編入時の時に交流があった時はグループワークなども一緒に行なっていたと聞いたことがあり、その方がよいと思った。なぜなら社会人経験を経ている人もいる学士編入生と学部生が関わることによって双方に学びがあるのではないかと感じるため。
53	そう思わない	学士編入の方との交流は合同の授業を除いてほぼ無かったため。
54	そう思わない	限られた人しか学士さんと関わらない、お互いに遠慮し合っている感じがある。学士さんは、看護を自分たちより学んでいる歳下の私たちに遠慮し、私たちは大学をでて社会人経験がある学士さんたちに遠慮している。遠慮するというか、意見を言ったら申し訳ないかな、のようなところがある。もちろん、そんなの関係なくアサーティブ？にTBLや共通の課題に取り組むことができる人もいる。
55	そう思わない	交流していないから
56	そう思わない	交流の機会はほとんどなかった
57	そう思わない	普段の交流は全くなく、突然何かの授業を合同で行うことためにに教室が一緒になるというようなことが本当に多かったように思う。学士の方が席を陣取っていたりなどの行動が気になってしまった。

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

その理由を教えてください（学士編入生）

	適切でしたか？	その理由は？
1	そう思う	多様な考え方を学び、自分の価値観を見直すことができた。
2	どちらかといえばそう思う	いろいろな授業でグループワークで交流できた。
3	どちらかといえばそう思う	たまに授業内のグループワーク等で交流を持ち、学部生の考えなどを知ることができ、適切な距離感であったと思うから。
4	どちらかといえばそう思う	ほとんどの授業は別々に行われているため、そこまで交流が無かったと思います
5	どちらかといえばそう思う	自分の勉強のことで必死なので学部生との交流は最低限であるほうがありがたいから。(学部生との合同グループワークは結構ストレス)
6	どちらかといえばそう思う	授業やゼミで時々ご一緒すると、学部生からとても刺激をいただくことができました。程よく一緒になる機会があって、楽しかったですし、勉強になりました。
7	どちらかといえばそう思う	授業等で関わる頻度が丁度よい
8	どちらかといえばそう思う	週一二回程度の交流が丁度良いと思いました。
9	どちらかといえばそう思う	適度に合同授業があったため。
10	どちらかといえばそう思わない	あまり交流ができた記憶がないため。
11	どちらかといえばそう思わない	オリゼミや合同授業はあるが、交流する機会が少ないため。
12	どちらかといえばそう思わない	オリゼミ以外に交流はなかった。
13	どちらかといえばそう思わない	グループワークで一緒に勉強する機会があっても、長期的に何かをともに取り組むことはなかったため、あまり交流した感覚はなかった。
14	どちらかといえばそう思わない	授業で低学年の学部と合同になると、お喋りや遅刻、意見を言わないなどこちらの学習に支障をきたすため。 まだ、高校を卒業したばかりな人や、大学の授業より楽しい事を見つけてる年代の人たちとはやはり、学習に対する意欲が異なると感じる。 学部生との交流は意欲がある人が参加する形式がよいと感じた。
15	どちらかといえばそう思わない	正直あまり交流はしなかった。グループワークをした学部生とは挨拶をするくらいで、それ以上の関係は構築しなかったし、グループワークもメンバーによっては学士だからと仕切りや発表を必然的に任される事もあったため、何とも言えない。
16	そう思わない	グループワークでは、交流の機会がありましたが、生化学等の講義は別々がいいと思います。なぜなら、一部の学部生は講義中に私語が多く、先生の講義が聞こえにくい時が多くありました。また、講義中、一部の学部生はカップラーメンやお菓子を食べる人もいて、講義に集中しにくい時が多くあったためです。
17	そう思わない	なくて良い。合同授業の際、学部生があまりに騒がしく、教員および学士が注意しても一向に改善されず講義が止まることが多々見られた。双方が関わることで学びが深まったと思える状況ではなかった。

2020年度卒業時カリキュラムについてのアンケート

（n=106）

１２．看護学部の教育全般に対して、ご意見・ご要望があればご自由にお書きください。

	ご意見・ご要望等
1	関連した内容はまとめて教えていただくなど、工夫されていたので、理解が深まり、学習しやすいと感じました。 カリキュラムが過密なため、試験や課題提出日ができるだけ重ならないと、それぞれの学習に力を入れて取り組みやすいと感じました。 先生方の中には、熱心なご指導のためか、やや高圧的な言葉や態度の方がいらして、学生には精神的にきつく、体調を崩した学生もいました。 看護管理など、様々な領域の高度な専門的知識や技術を学ぶことができました。２年間どうもありがとうございました。
2	3年前期の専門科目詰め込み時間割をどうにかしてあげてほしいです。
3	4年間お世話になりました。聖路加の雰囲気や倫理観、授業内容など、尊敬することばかりで、感謝でいっぱいです。聖路加で4年間学べたことが誇らしいです。本当にありがとうございました。
4	ありがとうございました！
5	オンラインにするなら学費はもう少し安くくるべきだと思います。最後の一年なんのために大学に所属していたのかよくわかりません。
6	この４年間、非常に多くのことを学びました。尽力してくださった皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。 意見としてあえて申し上げるなら、(看護では当たり前となっておりますが)やはり睡眠不足の学生が多いことでしょうか。また、ここで書くべきではないかもしれませんが、このコロナ禍における学費に関する検討もその都度お願いしたいと思っております。これらのことを、皆様の頭の片隅に少しでも入れておいていただけると幸いです。
7	コロナ禍で対面授業が難しい状況となってしまった中、工夫を凝らしインターネットで授業を行なってくださったおかげで充実した学びを得ることができたと思います。 本当にありがとうございました。
8	セクシャルヘルスなど聖路加しかないような科目は参考になった。実習はオンラインだったが、担当教員によって面談に差が出たと思う。
9	とても学びのある4年間でした。ありがとうございました。
10	とても素晴らしい環境で講義を受けられたこと、誇りに思います。特に看護政策論などは、臨床で終わらず、その先を見据えた学習であり、聖路加ならではのものではないかと思います。ありがとうございました。
11	もっと看護以外の勉学に触れる機会が4年間を通してほしいと思いました。
12	英語の授業は単なる語学力だけでなく、英語での看護コミュニケーションを学ぶことができる。そのため、スコアによる単位免除制度は無くすべきだと思う。 私自身、免除できるスコアを持っていたが、英語の授業はほとんどすべて受講し、多くの学びがあった。 全員必須の授業に戻した方が良いと思っています。
13	学ぶ楽しさや看護の魅力に気づき、さらに看護を学びたいと思うことができる授業・実習ばかりでした。 遠隔学習では異なる状況かもしれませんが、授業資料を2日前ぐらいまでにマナバで公開していただけると、予習もでき、また、パソコン・印刷機が混雑せず、余裕をもって準備できるのではないかと感じていました。
14	学士のカリキュラムや学生生活の支援は、さすがにもう少しなんとかしたほうがいいと思います。文句ではなく、後輩が可哀想だと思うからです。毎年見直してくださっているのでしょうが、もっと見直してほしいです。アメリカは1年半でナースを育てるカリキュラムがあるんだから日本でもできるはず、などと仰っていた先生がいましたが、システムだけ輸入しても、最適化をしなければ無理が生じるに決まっています。そのしわ寄せを、黙って学士編入生は耐えています。学士カリキュラムの経験者にしかわからない苦労が多いので、直近で卒業した学士の先輩が、在学中の学士をチューターのように支援するのもいいのではないかと思います。学士担当の教員だとか、従順で頼みやすいルカの若手ナースとかではなく、ある種の批判的な姿勢を持っている、直近の学士卒業生なんかの方が、課題のやっつけ方や就活との兼ね合いなど、実利的なアドバイスができる気がします。しかし辛いことはたくさんあっても、この学士編入学制度は貴重ですし、言葉では表せないほど感謝しています。だからこそこの制度が、より良い形でなんとか存続してほしいと切に願っています。
15	看護についてとても深く学ぶことができました。要望としては、インターネット授業を行う上で、慣れない上で行っていただいたことにはとても感謝しておりますが、対面とは異なり課題ばかりだった気がして、もっと違う学ぶ方法もあったのかなと感じました。
16	看護の提供の場はほとんどが病院などである方から、疾患を持つ人への看護の学習が中心となるのは当然だと思うが、今は健康的な人々の今ある健康をどのように維持向上させるのかなど、ヘルスプロモーションの視点からの看護についてより深く学ぶ機会がもっとあってもいいのではないかと思った。健康教育を2度ほど実施する機会を通して、看護の対象は疾患を持つ人だけではないということも学んだ。生活習慣予防や健康寿命を伸ばすことが重要視されている今日であるから、人々の生活の視点や一次予防的な観点からみた看護の役割や支援の方法などをより深く学ぶ機会があればより幅広い分野で自律的に働くことができる看護師育成につながるのではないかと思った。
17	看護技術や疾病知識に関しては不安が残りますが、看護の考え方は十分学ぶことができました。
18	看護師国家試験の対策についての講義やアプローチがあまりないことや教員採用試験に関わるアプローチが全然ないことは、それに向かって進路を進めようとする学生にとっては辛いところがあったと思います。またアドバイザー制度もありますが、グループによって利用頻度に差があり、何も質問など出来ないまま学生生活を終えてしまう子もいたと聞きました。アドバイザー制度を行うのであれば、集まったタイミングで必ず次の実施日を決めるなどの対応をすることが大切ではないかと思います。
19	教科書の購入を必須とするのであれば、授業内でもっと有効に使っていただきたいです🙍♀(「一回しか使わない」や「勝手に読んでてね」などというスタンスは少し乱暴かなと感じました💦💦)
20	今まで4年間ありがとございました。 楽しく成長できたと思います。
21	今までありがとうございました！
22	四年生に国試の授業あったらありがたいです。あたたかい先生方と職員の方々に囲まれた、幸せな４年間でした。ありがとうございました。
23	実習先に香水をつけて来て臭いを病室に充満させる教員、指導看護師さんとの約束に遅刻して看護師さんのスケジュールに影響を与える教員など、社会人としての認識を疑わざるを得ない方がいました。また、前述の通り、指導くださる事にとても投げやりな様子が見られる教員もいます。素晴しい先生は本当に尊敬出来、この大学で学べたことをとても嬉しく感じる一方で、やはり研究者であって、指導者では無いのかな…と悲しくなる場面が多くありました。
24	授業で使用しない教科書を買わせないでほしいです。必要性を感じた教科書のみを購入したかったです。
25	充実した2年間でした！看護師として働く上で新人として使い物になるレベルに最短で到達できたと感じています。
26	常に学生が楽しい、学びを深めていけるような学習方法を考え、学習の場を提供してくださり誠にありがとうございます。温かく愛のあるご指導を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。
27	聖路加で学べて良かったです。ありがとうございました。
28	聖路加国際大学に編入してこころから良かったと思っています。コロナの状況下でも対応が早く、web授業にいち早く切り替え、学生の声を聞きながらその都度修正しながら学習環境を整えていただき感激しました。学生ファーストの環境と、先生方の熱い想いが溢れた教育に感謝しています。ありがとうございました。
29	先生方に質問等をさせて頂きやすい環境であり、とても恵まれていると思います。また、高い知識や看護職として必要な技術を身につけることが出来るようなカリキュラムであると思います。
30	全般ではなくて申し訳ないのですが、 基礎看護技術論の際、技術を学ぶのに丸善のビデオを視聴し手順書を作成し自己学習をするというのが中心になっていました。先生方の技術を直接見て授業内で演習することはもちろあり大変感謝しておりますが、さらにそのような教員に直接指導していただける演習の機会を増やしていただきたいです。 手順書を作成するというのも重要ですが、手順書を作成することに時間が大幅に取られる、かつ手順書の作成自体が目的になってしまっている面があります。 同輩とそのように話しておりました。 国内最高峰の看護教育を受けさせていただけたことは私の誇りであり今後の糧となります。ありがとうございました。
31	卒業論文をみんなにさせるのではなく、選択制にしたらいいなと思いました。例えば、その分、必要な単位数を増やすとか。
32	単科大学であるため、より他学部と交流する時間があれば嬉しい
33	特にありません。
34	特にありません。4年間お世話になりました。
35	特にないです、ありがとうございました。
36	本館エレベーターの増設または速度を上げる

卒業時カリキュラム評価アンケート調査

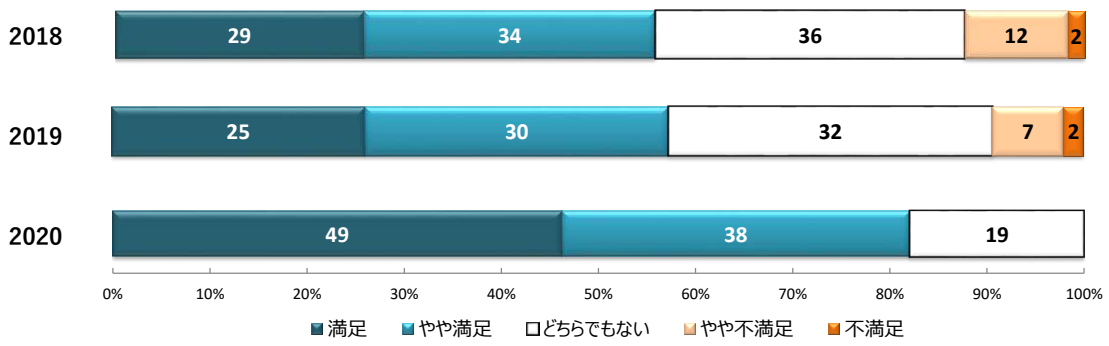
（2018～2020年度 データ比較）

実施年度	対象者数	全体回答数(n)	全体回答率	備考
2018年度	119	113	95.0%	学部一般　77/78 学士2年次編入　12/13 学士3年次編入　24/28
2019年度	116	96	82.8%	学部一般　72/86 学士3年次編入　24/30
2020年度	127	106	83.5%	学部一般　82/97 学士3年次編入　24/30

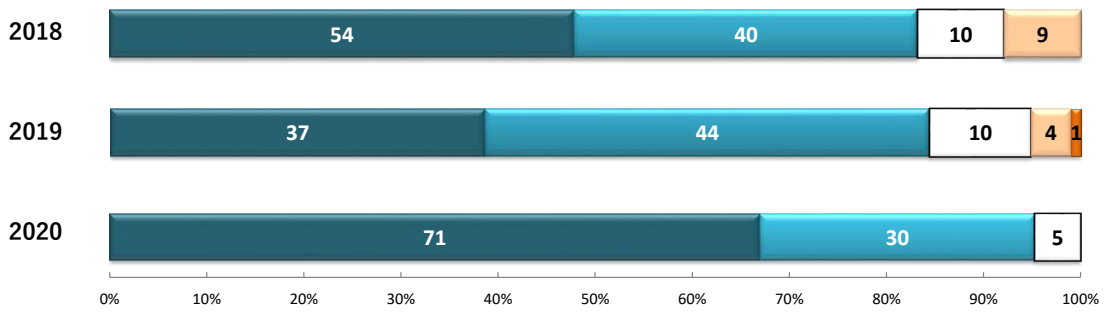
４．次の内容について、現在のあなたがもつ満足度に最も近いものを選んでください。

１） 学習内容について

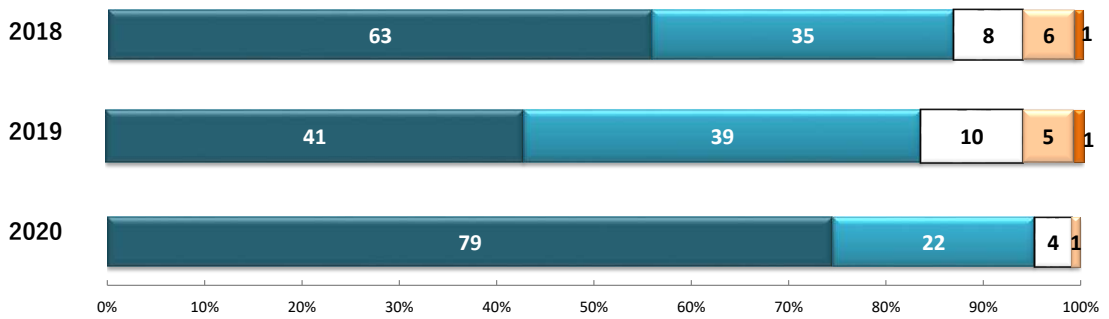
① 教養科目



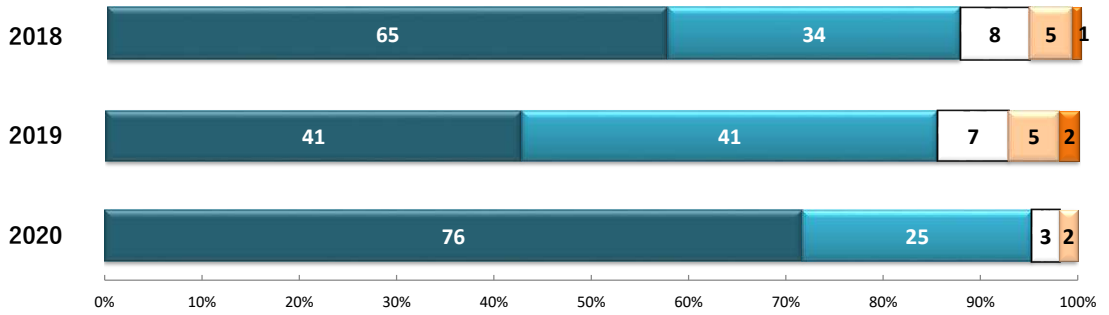
② 基礎科目



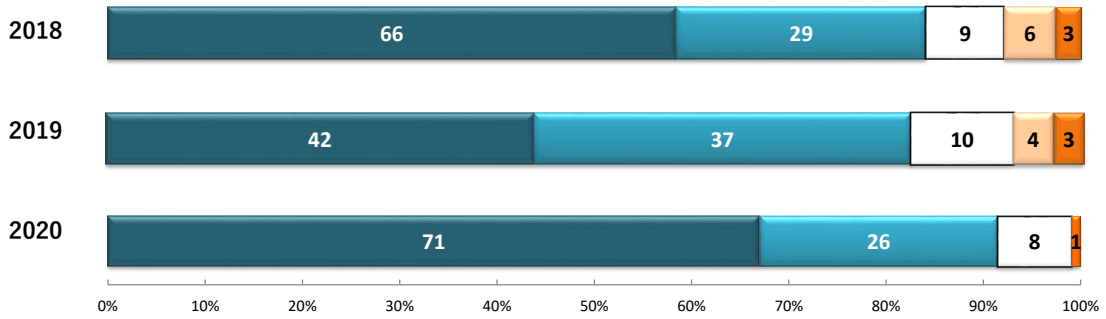
③ 専門科目



④ 実習科目



⑤ 卒業研究（総合看護・看護研究Ⅱ）

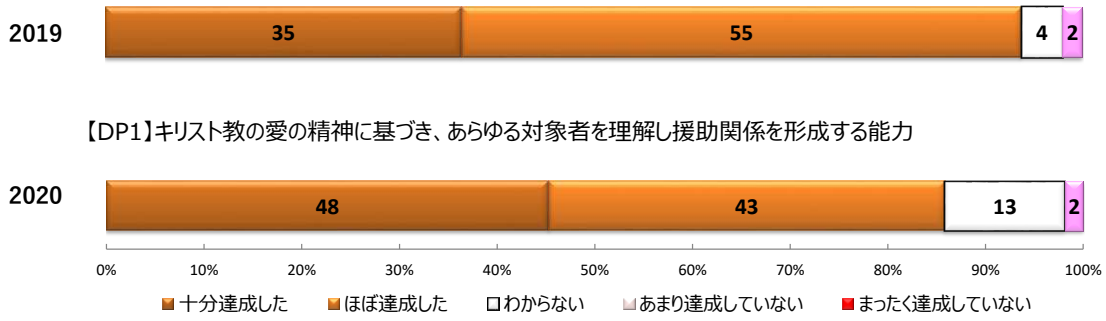


5．看護学部で育成する人材像（ディプロマポリシー：DP）の達成度調査

※昨年度の教育目標（EG：Educational Gaol）達成度との結果比較

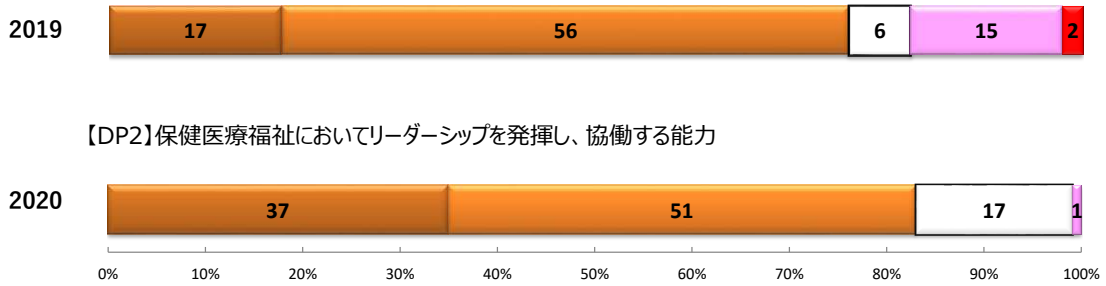
【EG1】キリスト教の愛の精神に基づき、あらゆる文化背景の人々を理解し、共感を持って接することができる態度を持つ

【DP1】キリスト教の愛の精神に基づき、あらゆる対象者を理解し援助関係を形成する能力



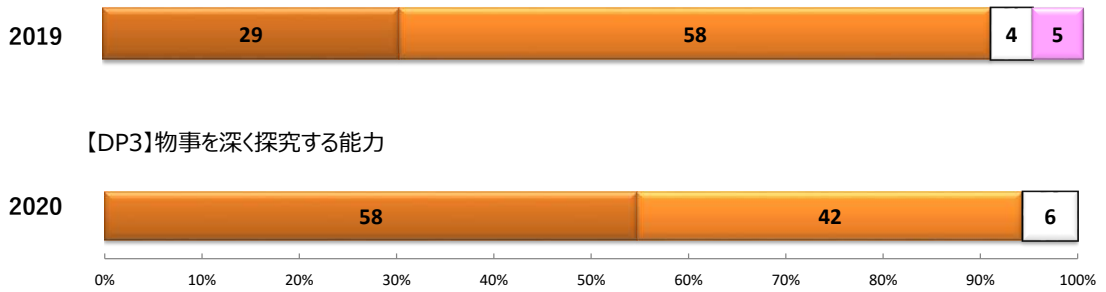
【EG2】看護専門職としてリーダーシップを発揮し、協働により責務を遂行する能力を持つ。

【DP2】保健医療福祉においてリーダーシップを発揮し、協働する能力

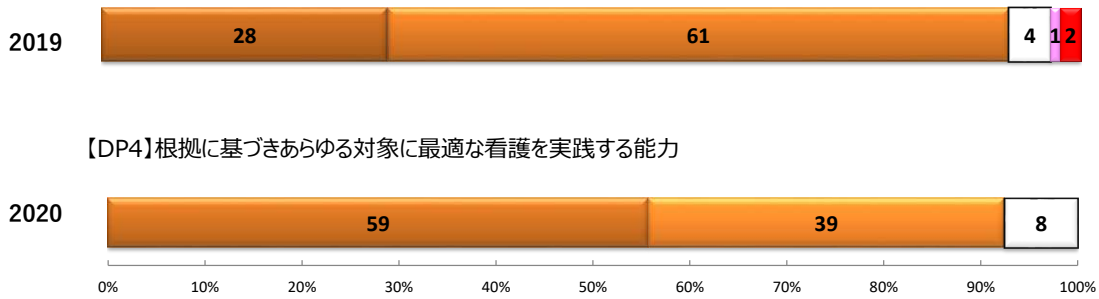


【EG3】事象への関心を深め、幅広く学問を探求し、深く多角的に思考する力を持つ

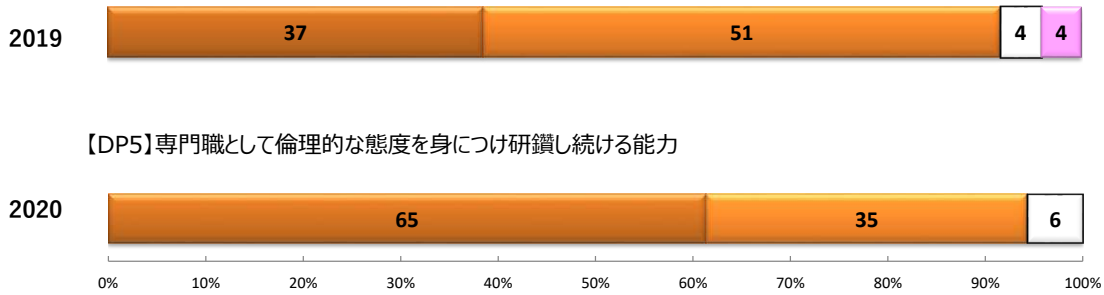
【DP3】物事を深く探究する能力



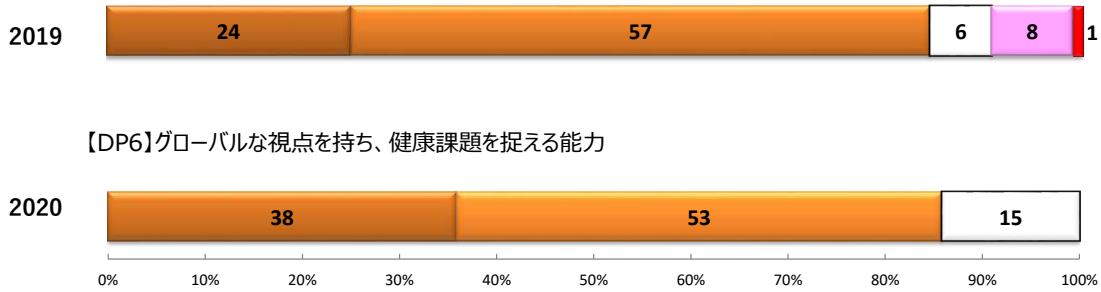
【EG4】看護を必要としている個人・家族・地域社会に対して、看護実践できる基本的知識と技術及び態度を持つ



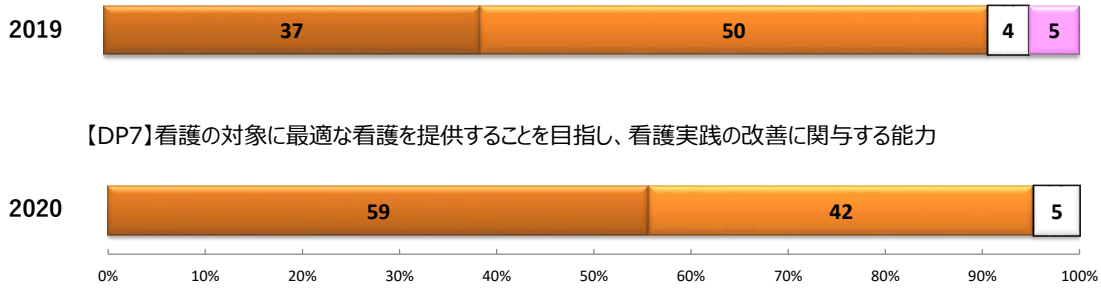
【EG5】生涯にわたって自己の人間形成をはかりつつ、自律的、倫理的に行動する態度を持つ



【EG6】国際的な視点を養い、すべての人が等しく健康を享受できるような社会の実現に貢献する姿勢を持つ



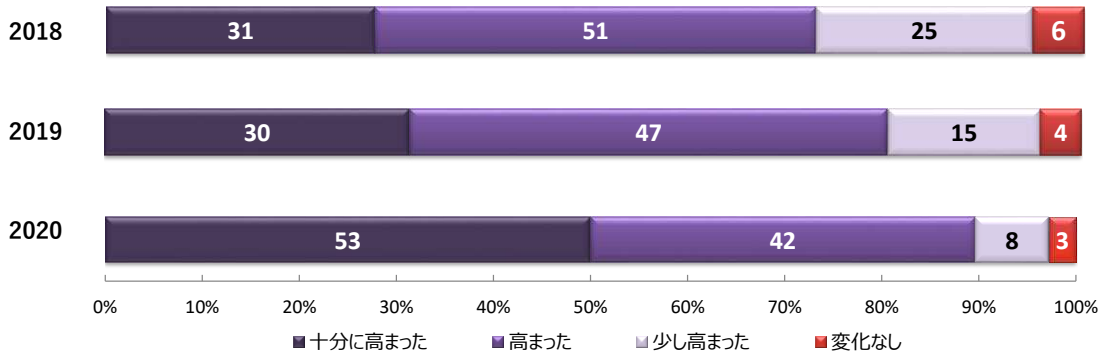
【EG7】看護の専門職性および看護学の発展に寄与しようとする意欲を持つ



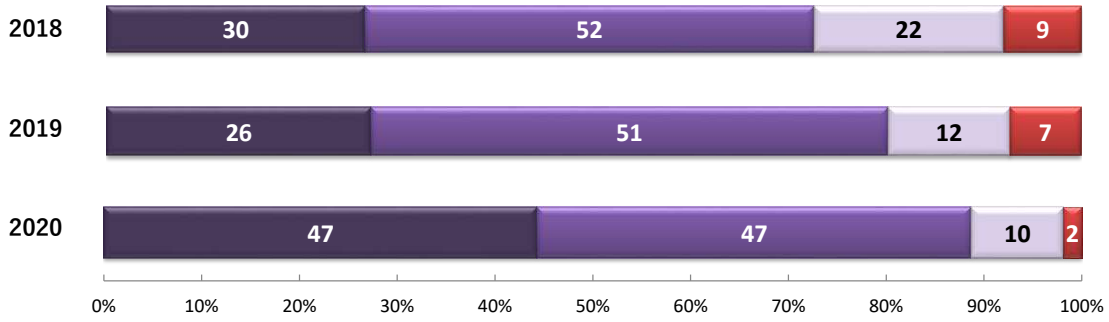
6．卒業時の学士力に関する調査

Ⅰ群　知識･理解

① 多文化･異文化に関する知識の理解

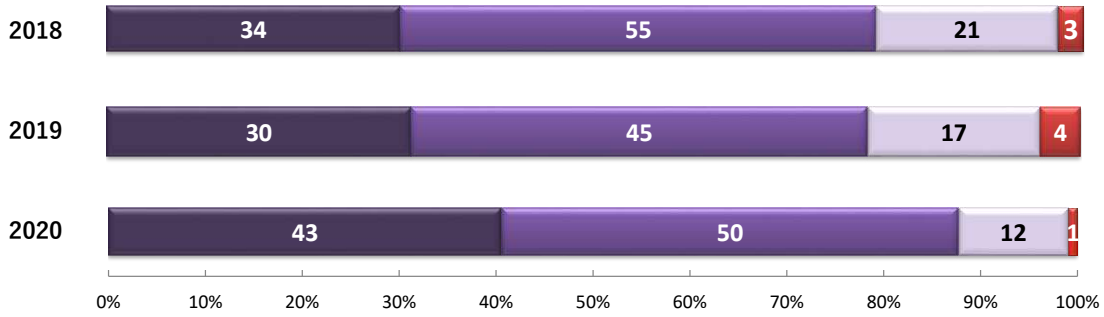


② 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

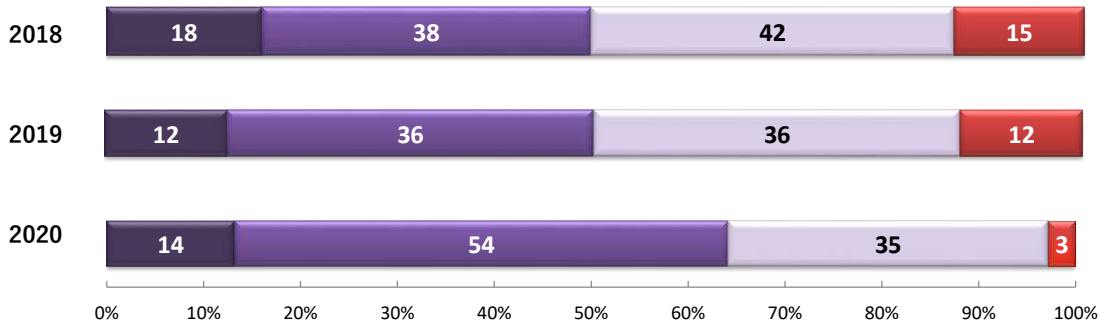


Ⅱ群　汎用的技能

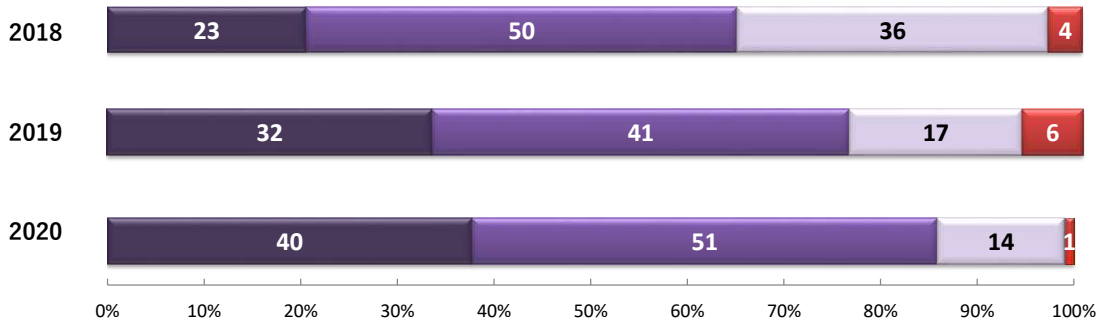
① コミュニケーション･スキル



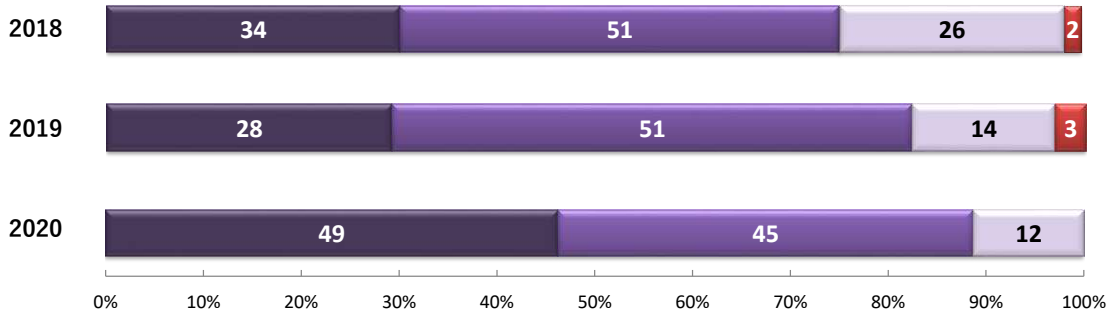
② 数量的スキル



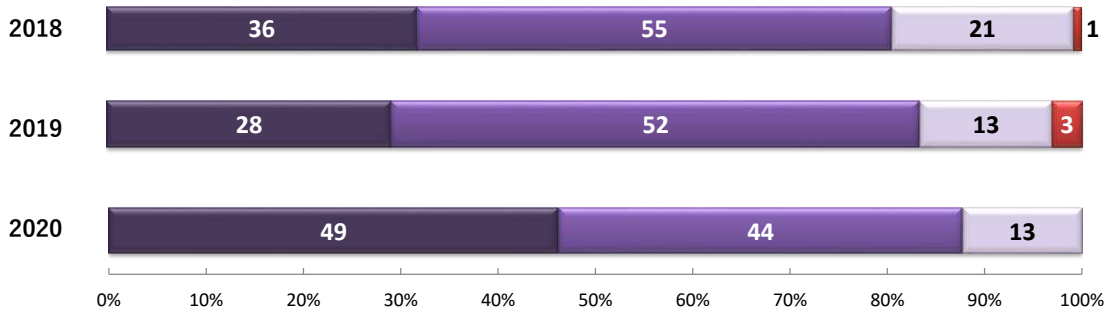
③ 情報リテラシー



④ 論理的思考力

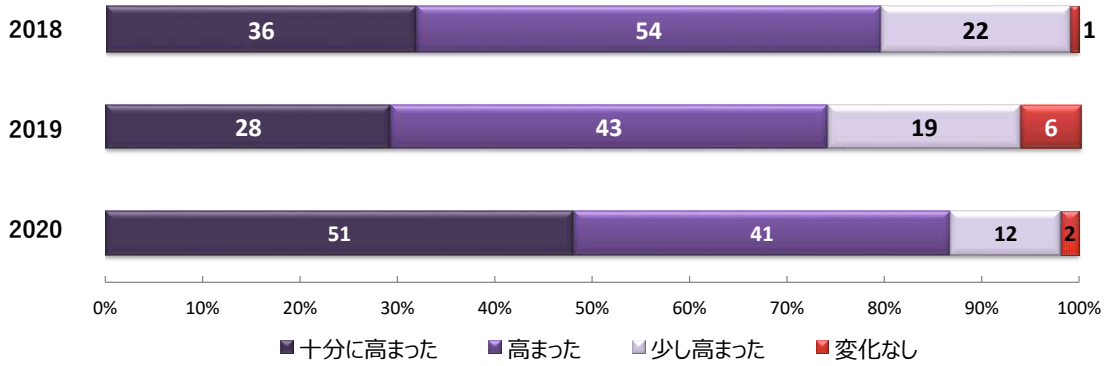


⑤ 問題解決力

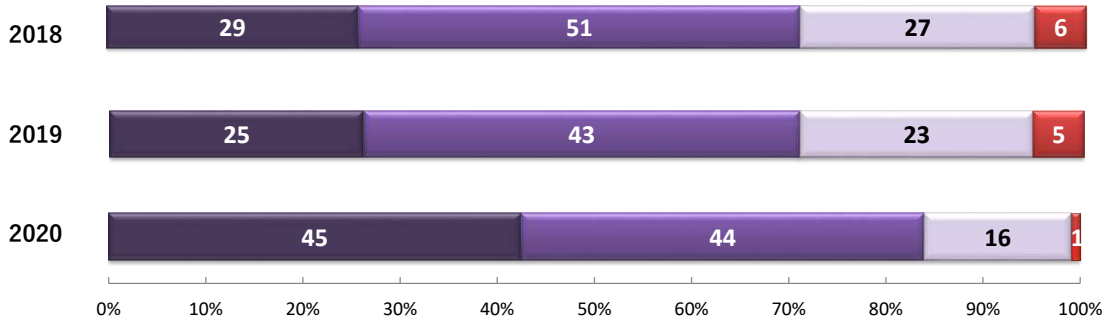


Ⅲ群　態度・志向性

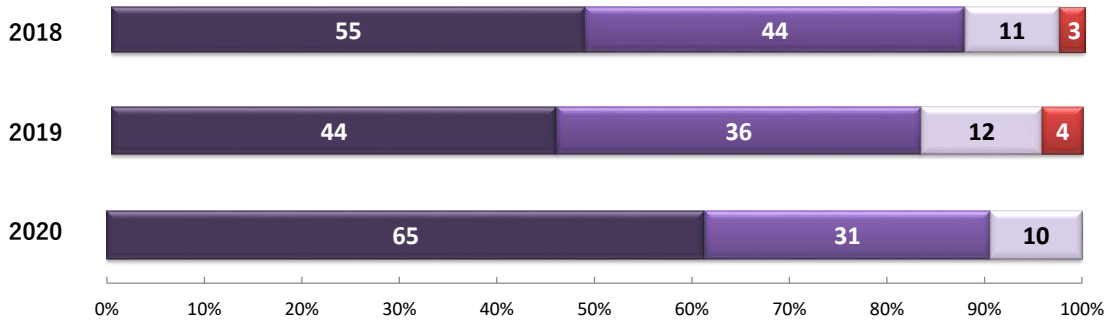
① 自己管理力



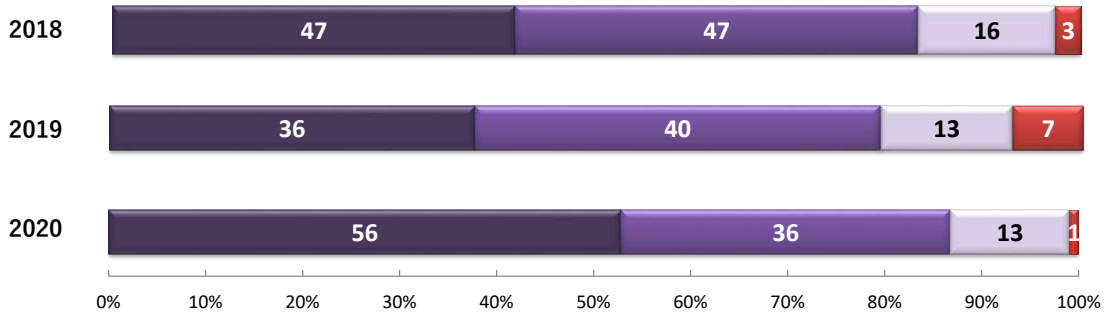
② チームワーク、リーダーシップ



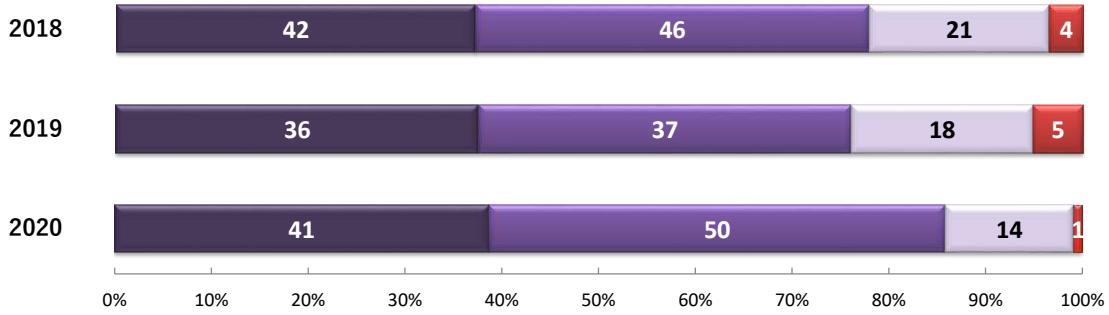
③ 倫理観



④ 生涯学習力



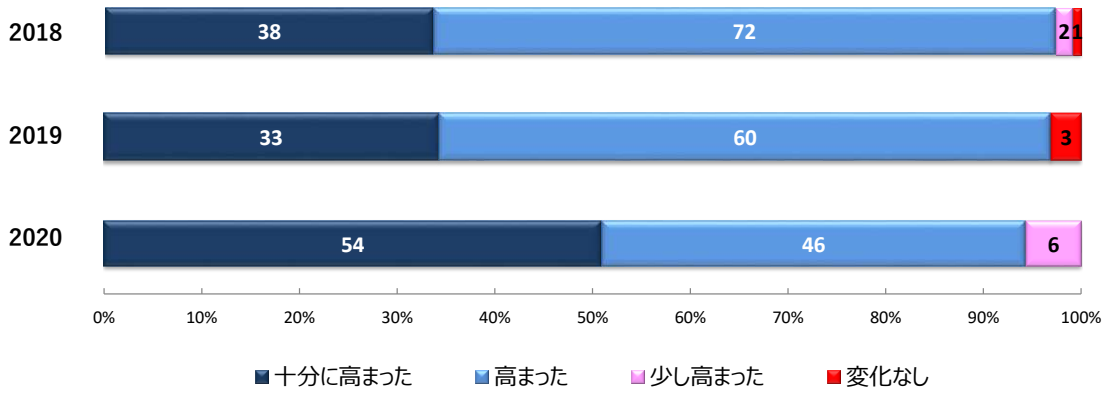
⑤ 市民としての社会的責任



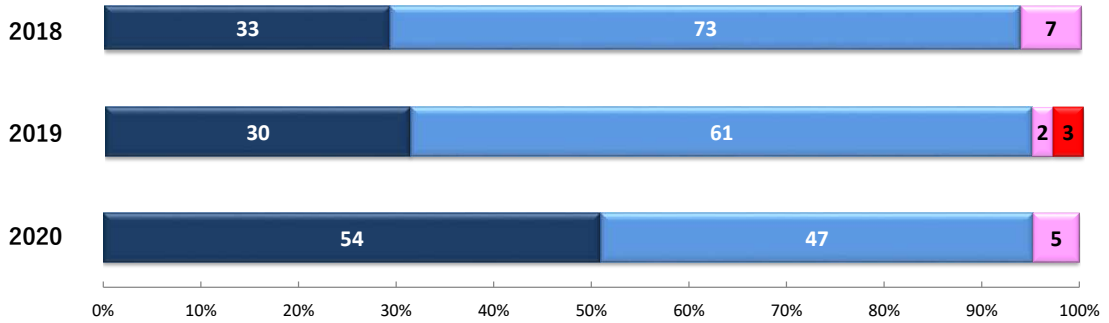
7．卒業時の実践能力に関する調査（2018-2019）

Ⅰ群　対象となる人を全人的に捉える基本能力

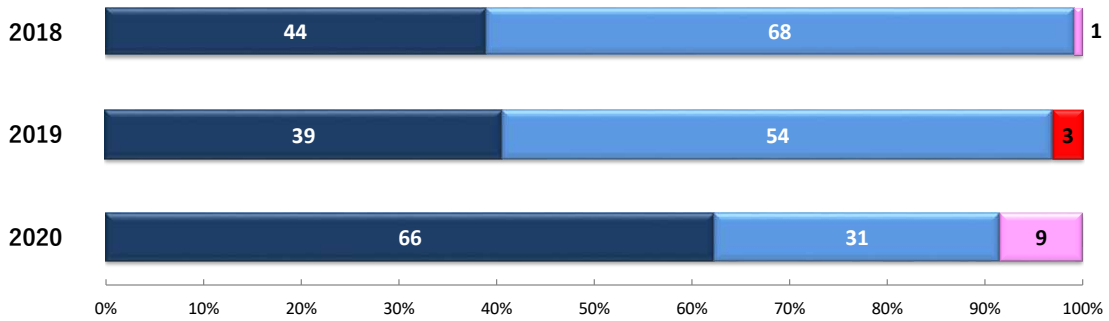
① 看護の対象となる人と健康を包括的に理解する基本能力



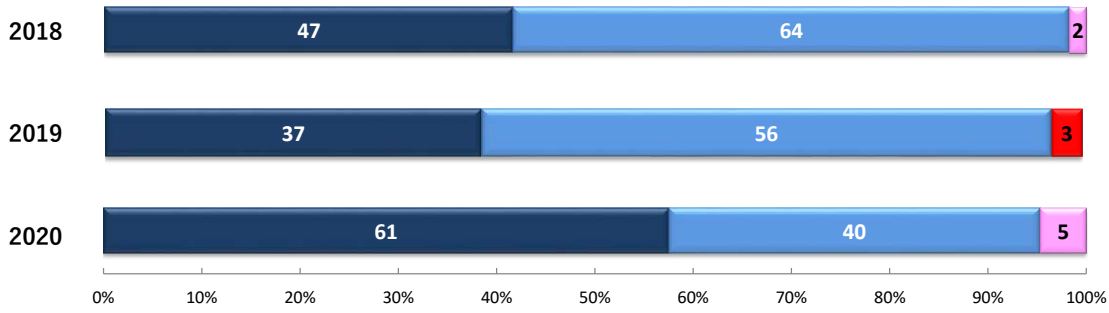
② 人間を生物学的に理解し、アセスメントに活かす基本能力



③ 人間を生活者として理解しアセスメントに活かす基本能力

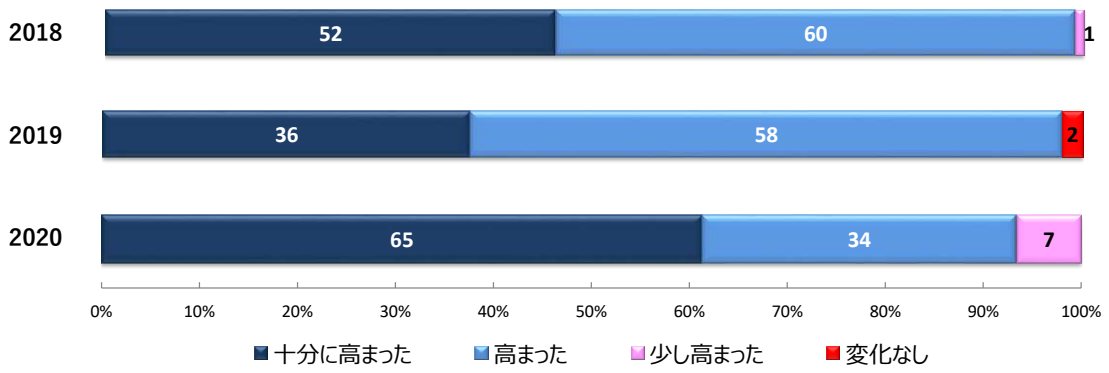


④ 人間を取り巻く環境について理解しアセスメントに活かす基本能力

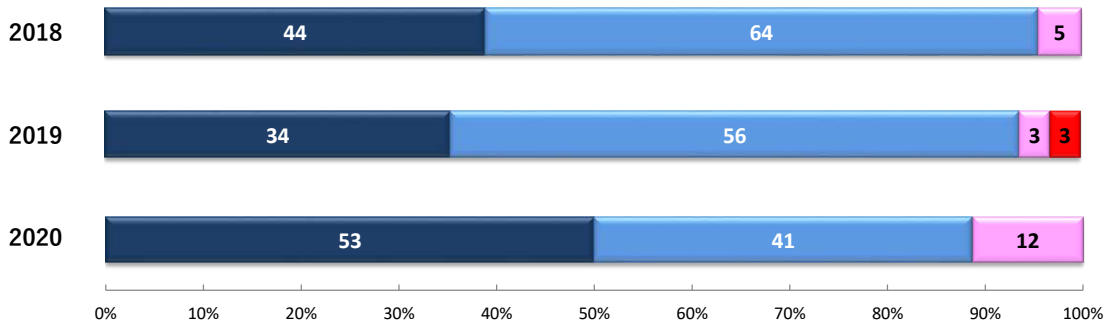


Ⅱ群　ヒューマンケアの基本に関する実践能力

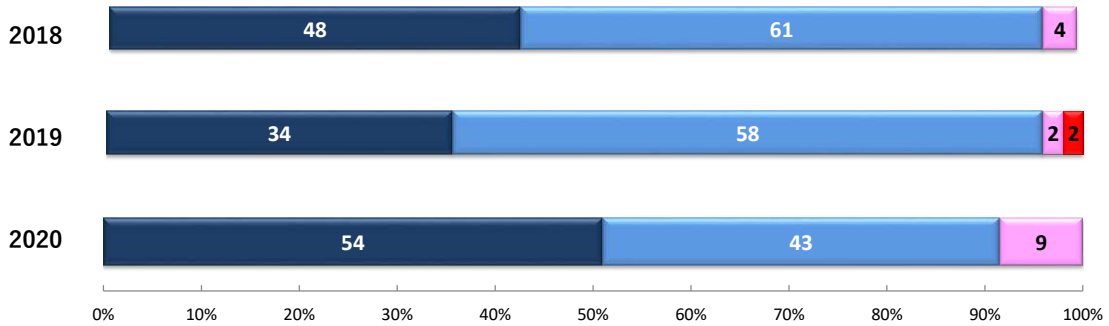
① 看護の対象となる人々の尊厳と権利を擁護する能力



② 実施する看護を説明し意思決定を支援する能力

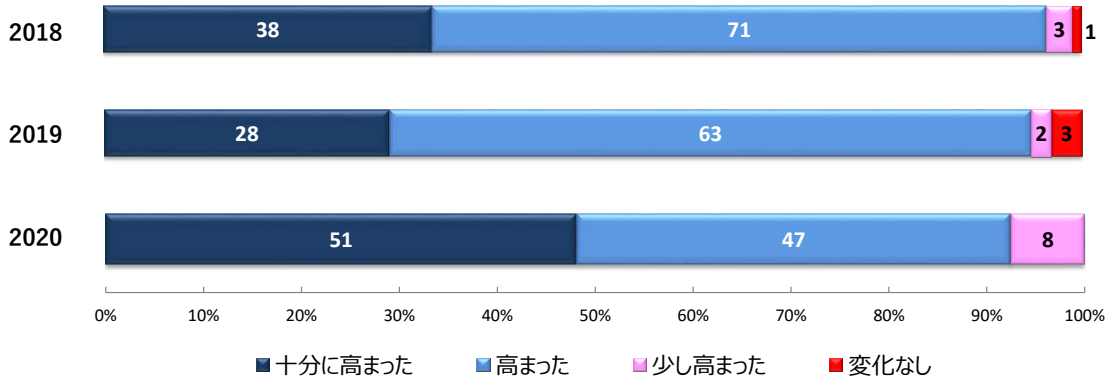


③ 援助的関係を形成する能力

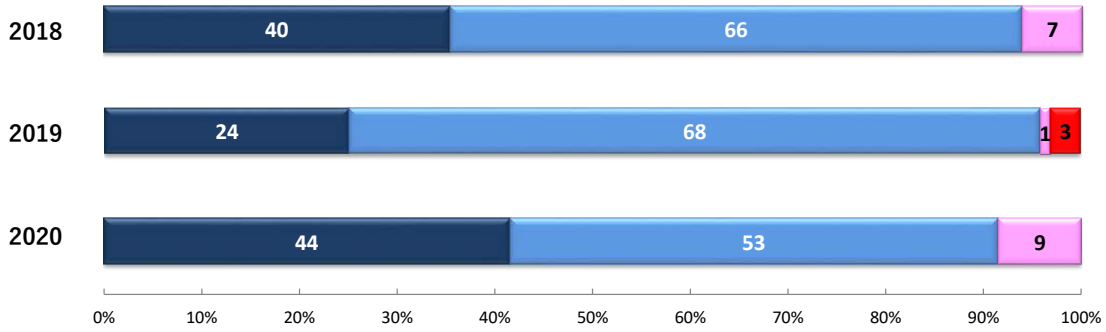


Ⅲ群　根拠に基づき看護を計画的に実践する能力

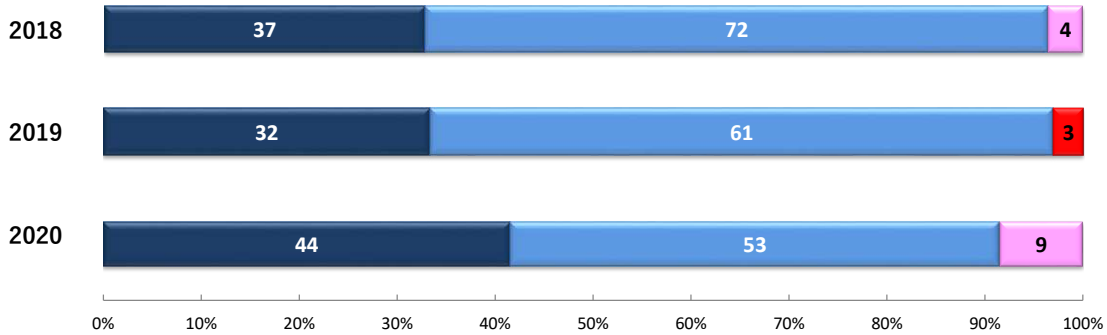
① 根拠に基づいた看護を提供する能力



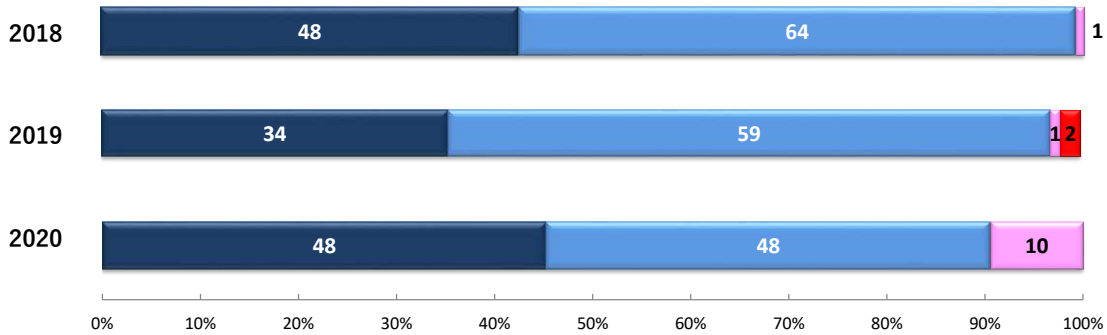
② 計画的に看護を実践する能力



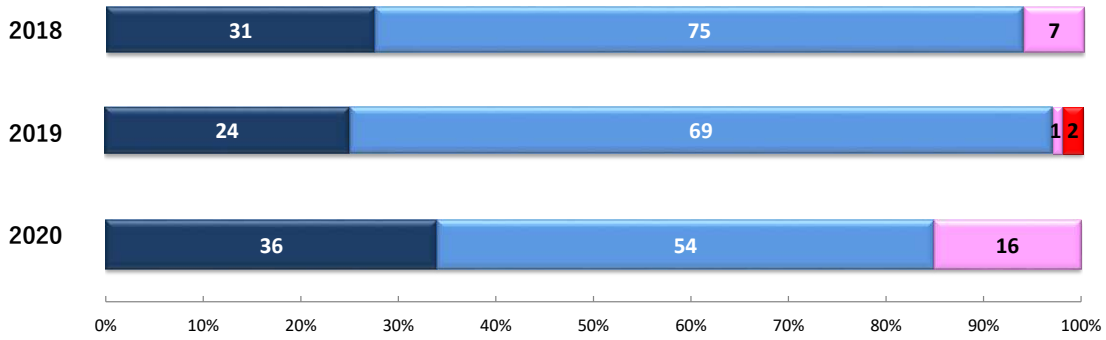
③ 健康レベルを成長発達に応じて査定（Assessment）する能力



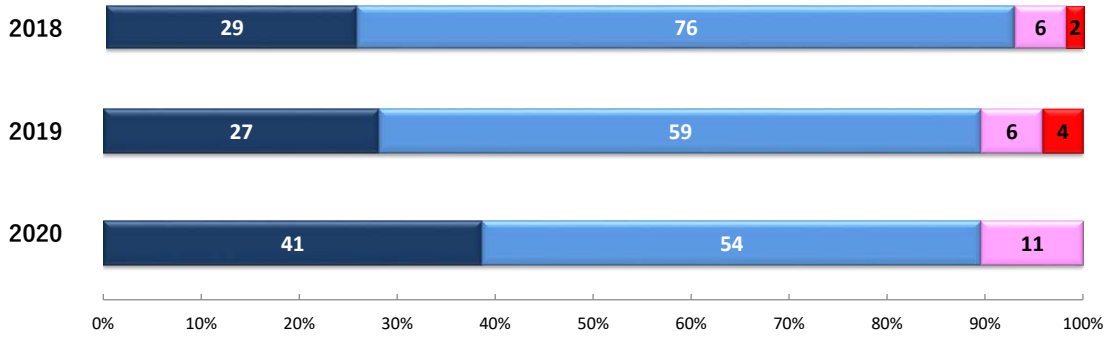
④ 個人と家族の生活を査定（Assessment）する能力



⑤ 地域の特性と健康課題を査定（Assessment）する能力

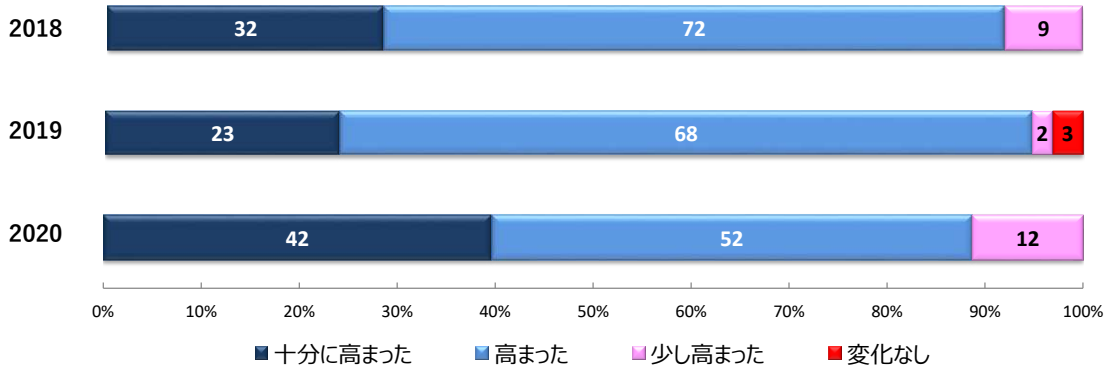


⑥ 看護援助技術を適切に実施する能力

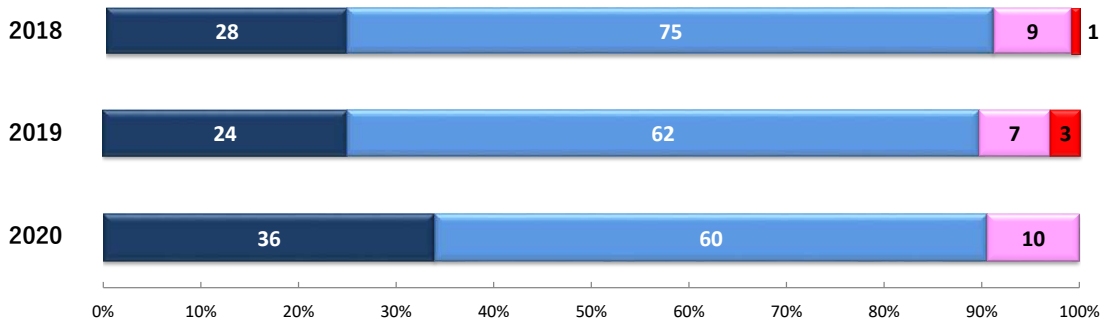


Ⅳ群　特定の健康課題に対応する実践能力

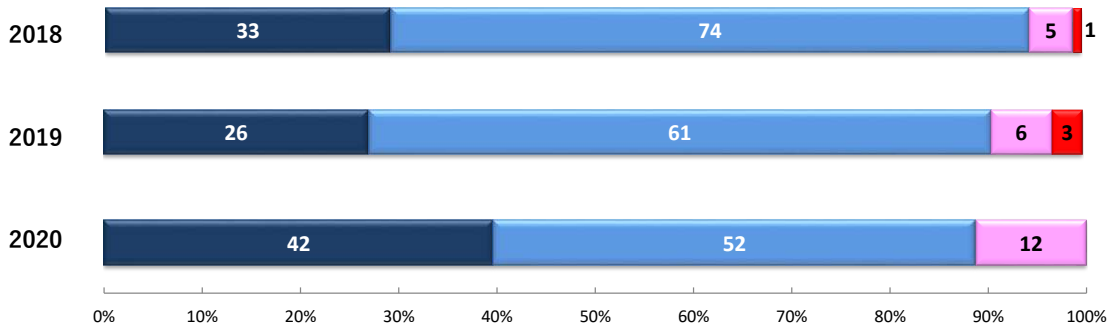
① 健康の保持増進と疾病を予防する能力



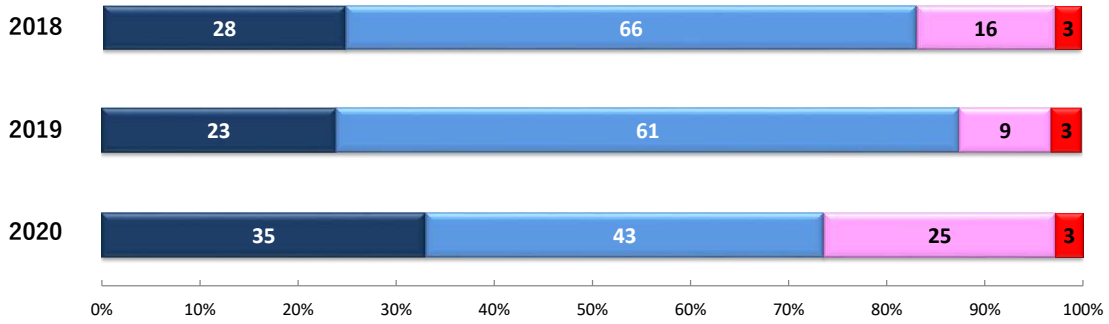
② 急激な健康破綻と回復過程にある人を援助する能力



③ 慢性・不可逆的健康課題を有する人を援助する能力

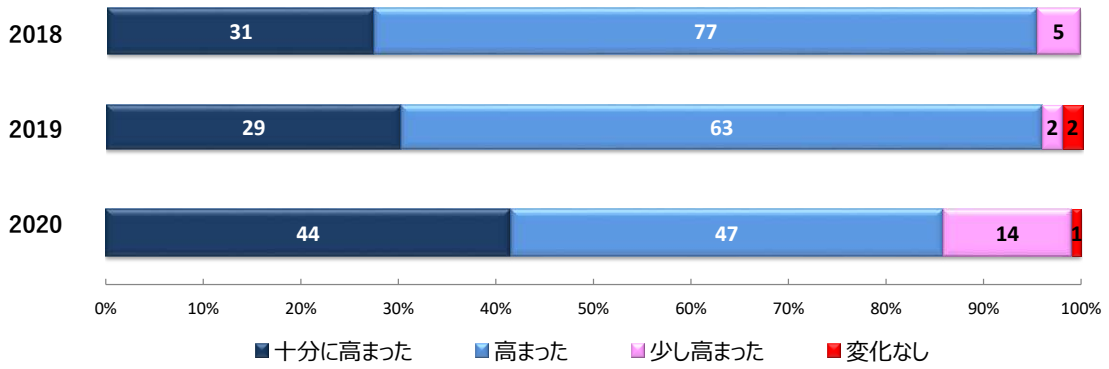


④ エンドオブライフにある人と家族を援助する能力

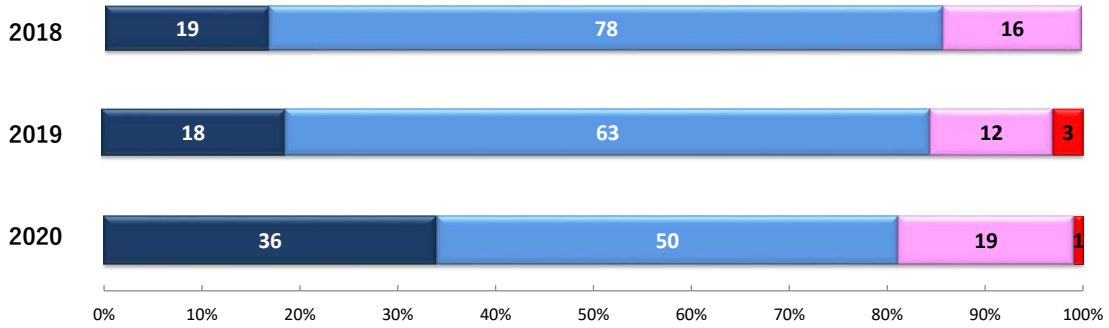


Ⅴ群　多様なケア環境とチーム体制に関する実践能力

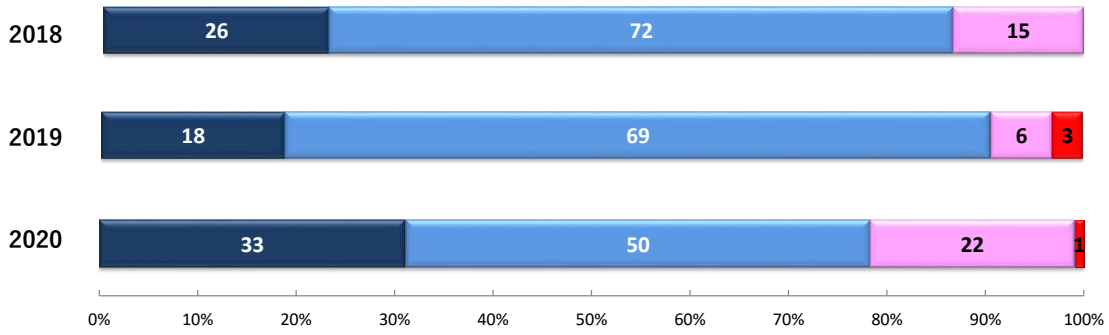
① 地域で生活しながら療養する人と家族を支援する能力



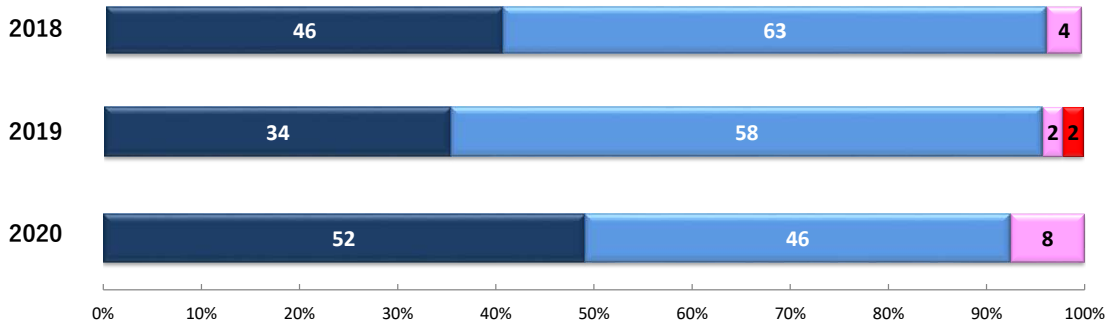
② 保健医療福祉における看護の質を改善する能力



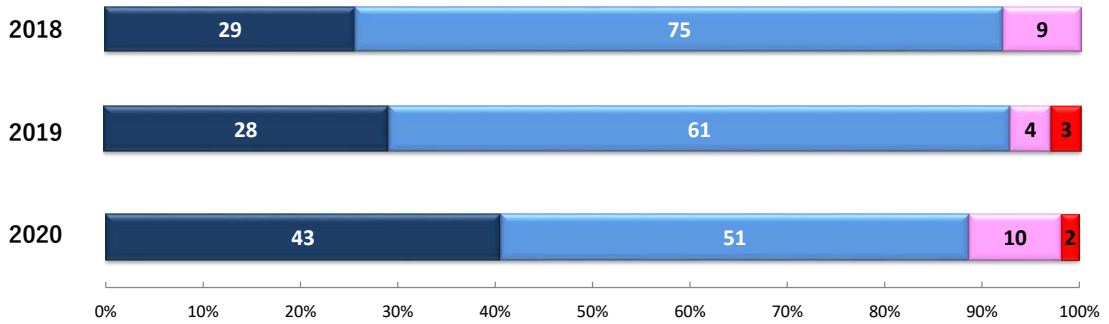
③ 地域ケア体制の構築と看護機能の充実を図る能力



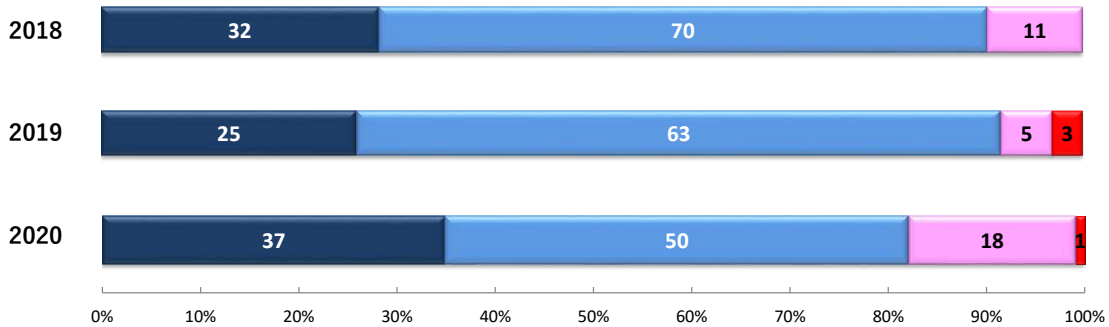
④ 安全なケア環境を提供する能力



⑤ 保健医療福祉チームの一員として協働し連携する能力

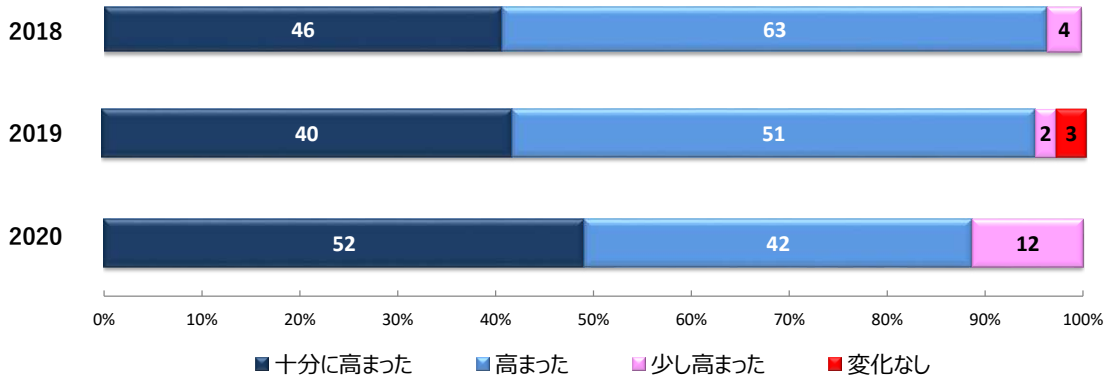


⑥ 社会の動向と科学技術の発展を踏まえて看護を創造するための基礎となる能力

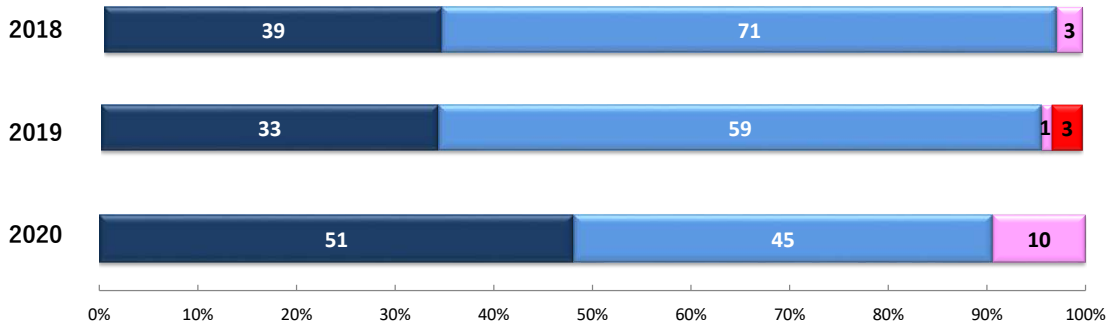


VI群　専門職者として研鑽し続ける基本能力

① 生涯にわたり継続して専門的能力を向上させる能力



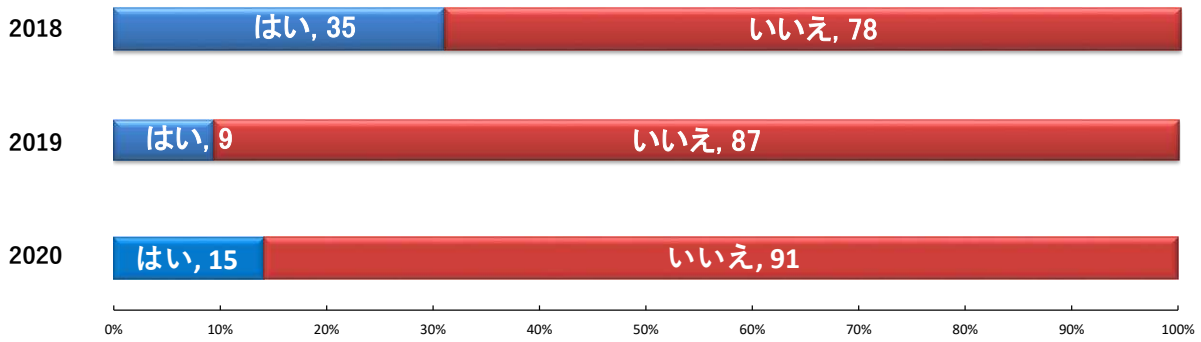
② 看護専門職としての価値と専門性を発展させる能力



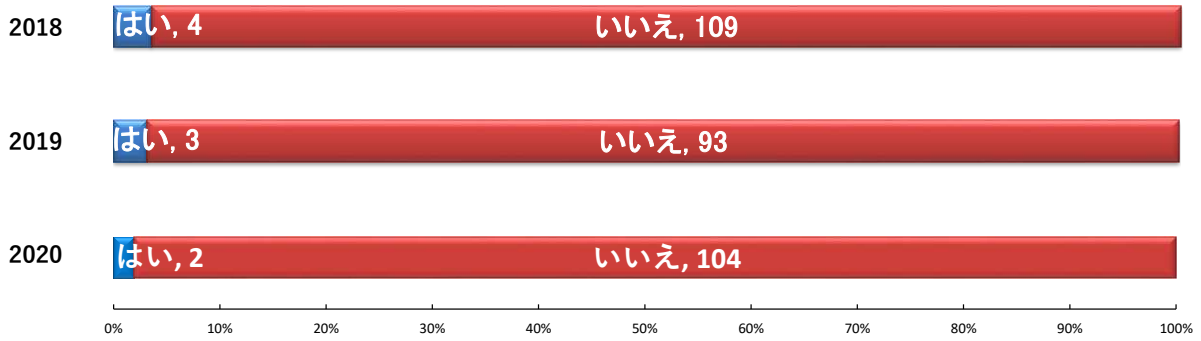
９．カリキュラム2015の新設科目に関する調査

＜臨床に強い看護職の育成＞

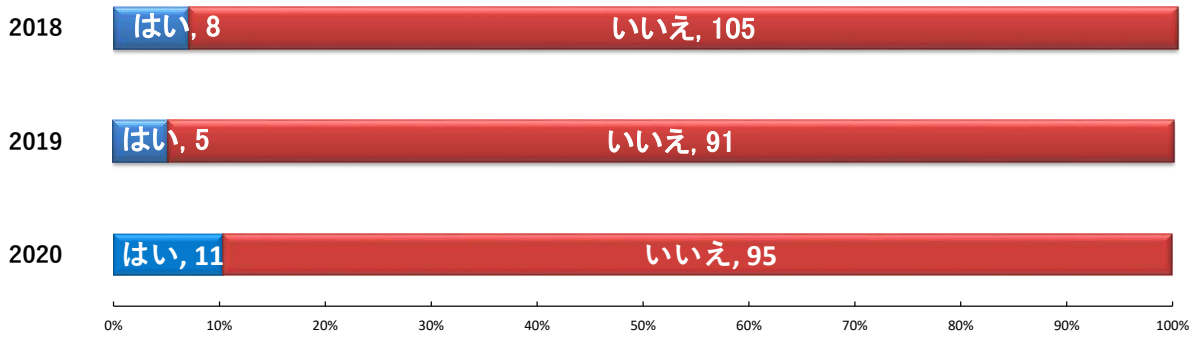
「サービスラーニング」を履修しましたか？



「課題探究実習」を履修しましたか？

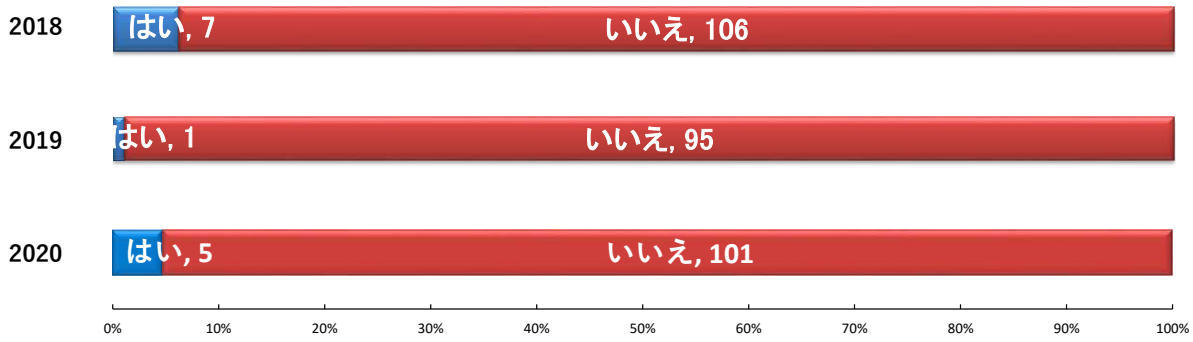


「卒業実習チームチャレンジ」を履修しましたか？

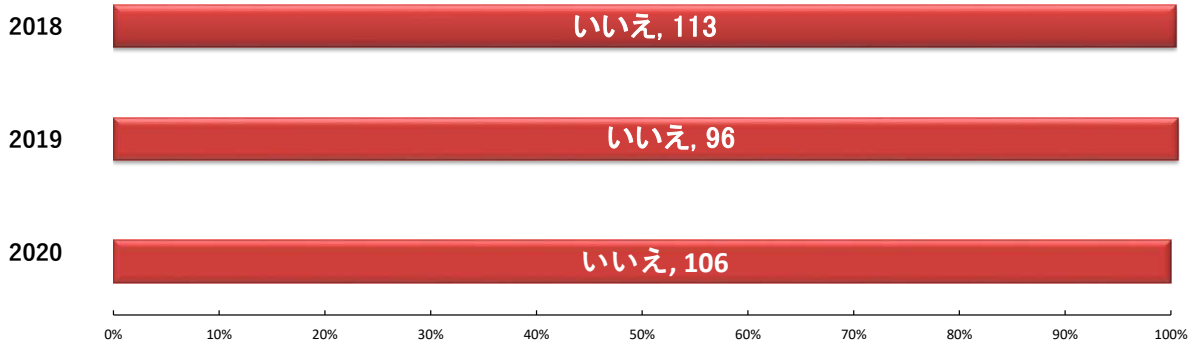


＜国際的視野の習得＞

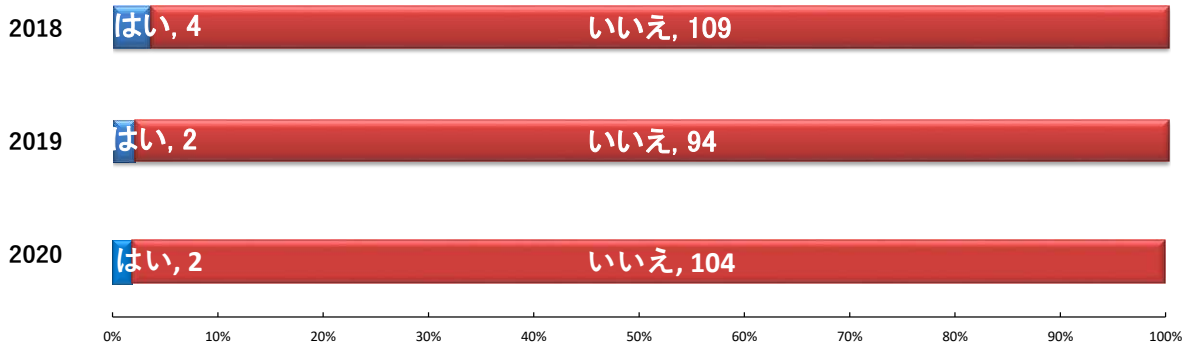
「スペイン語」を履修しましたか？



「フランス語」を履修しましたか？

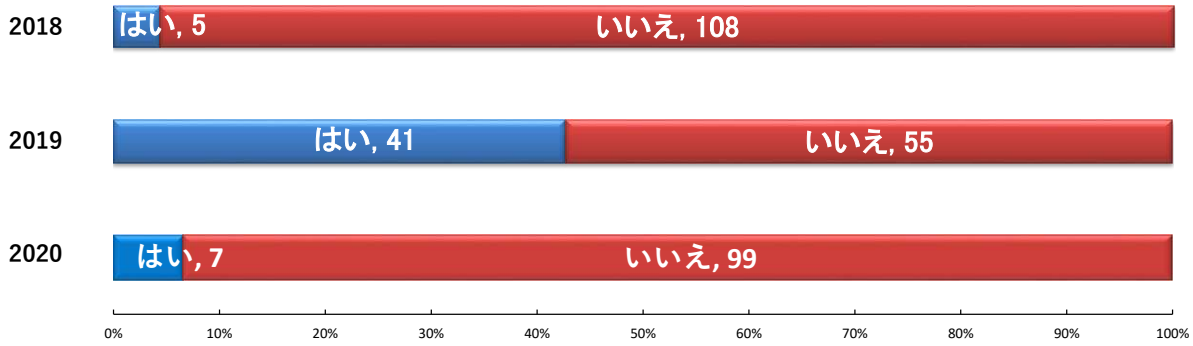
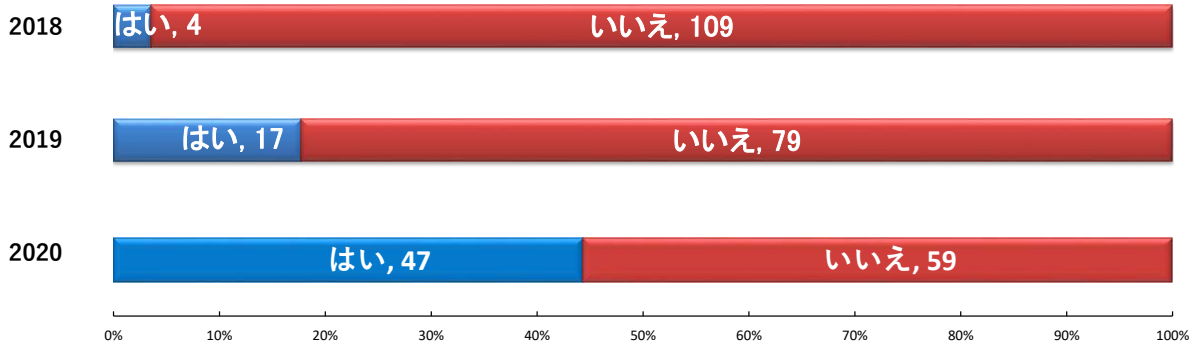


「総合実習（イリノイ大学シカゴ校看護学部派遣留学）」を履修しましたか？



＜教養科目の充実＞

「文化人類学」を履修しましたか？



「総合科目」を履修しましたか？